

葛城市高齢者の生活と介護に関する調査  
【結果報告書】

平成 27 年3月

葛城市



# 目次

I. 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	2
2. 調査概要 .....	2
3. 報告書の見方 .....	3
II. 一般高齢者調査結果 .....	4
1. 調査対象者自身や家族について .....	5
2. 要介護リスクについて .....	12
3. 外出について .....	33
4. 口腔・栄養について .....	35
5. 社会参加の状況 .....	38
6. 健康状態について .....	46
7. 介護・高齢者福祉について .....	50
8. その他 .....	53
III. 軽度認定者調査結果 .....	55
1. 調査対象者自身や家族について .....	57
2. 健康について .....	60
3. 認知症についてお答えください .....	63
4. 介護保険サービスの利用状況 .....	64
5. 家族介護者について .....	75
6. 介護保険制度について .....	77
7. その他 .....	79
IV. 調査間比較 .....	80
自由回答・その他回答まとめ .....	82



## I . 調査の概要

---

# 1. 調査の目的

本調査は、葛城市の高齢者における要介護リスクの状況、社会参加の状況、高齢者福祉にかかわる意識・ニーズ、介護サービスの利用状況等を明らかにすることを通じて、高齢者保健福祉計画および第6期介護保険事業計画策定に向けた基礎データを得ることを目的として実施されました。

調査項目については、一般高齢者調査では、国が示した「日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目に加え、本市の独自設問を若干加えています。軽度認定者調査では、生活状況や介護保険サービスの利用状況等についての設問が中心となっています。なお、調査票については巻末に掲載しています。

# 2. 調査概要

●調査地域:葛城市全域

●調査対象者:平成 26 年6月1日時点における以下の対象者を無作為に抽出

一般高齢者調査…市内在住の 65 歳以上の高齢者 1,000 人

軽度認定者調査…市内在住の要支援1～2または要介護1～2認定者 500 人

●調査期間:平成 26 年7月4日(金)～平成 26 年7月 31 日(木)

●調査方法:調査票による本人記入方式(本人が記入できない場合は家族または施設職員等による代筆可)

郵送配布・郵送回収による郵送調査

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
一般高齢者調査	1,000	643	64.3%
軽度認定者調査	500	312	62.4%

### 3. 報告書の見方

- 回答結果の比率（％）は、全回答者数（無回答・不明を含む）に対する、それぞれの選択肢の回答比率を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値がちょうど100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢からあてはまるすべての選択肢を選ぶことのできる方式）の設問の場合、一人の回答者が複数の選択肢を回答している場合があるため、選択肢ごとの回答率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答・不明」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（回答者限定設問の場合は限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

## II. 一般高齡者調查結果

---

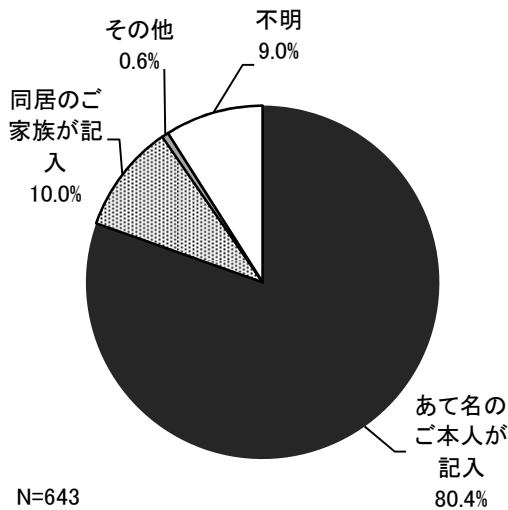


# 1. 調査対象者自身や家族について

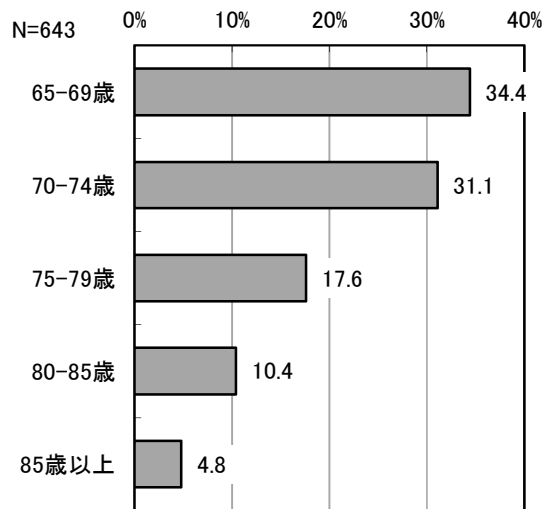
## (1) 調査票の記入者と調査対象者の年齢・性別・居住する小学校区(問1)

調査票の回答については、80.4%が調査対象者本人の記入、10.0%は同居の家族の記入となっています。調査対象者の年齢は、「65～69歳」が34.4%で最も多く、次いで「70～74歳」が31.1%となっています。75歳以上の回答者は全体の32.8%となっています。調査対象者の性別は、女性が50.9%とやや多くなっています。居住小学校区は、磐城が27.7%で最も多く、次いで新庄が26.7%となっています。

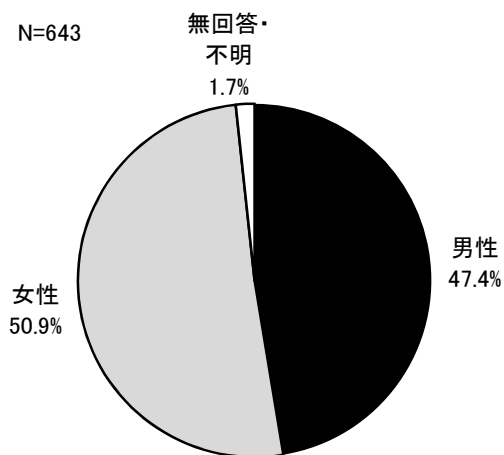
### 調査票を記入した人



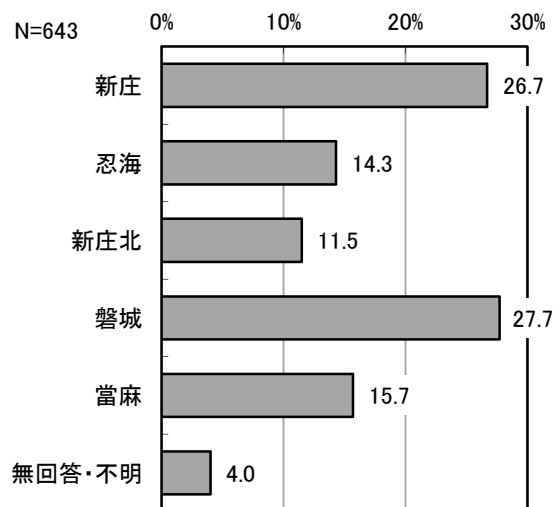
### 年齢



### 性別

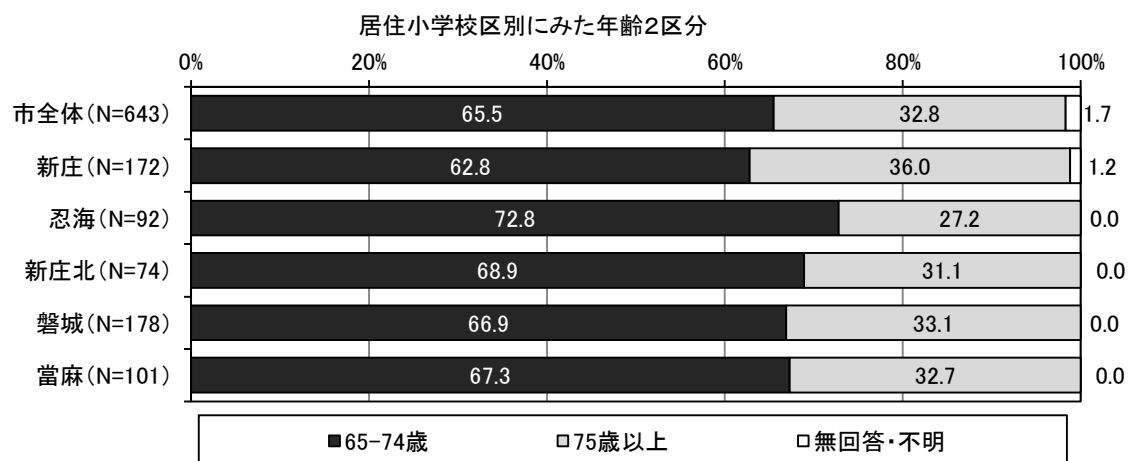


### 居住小学校区



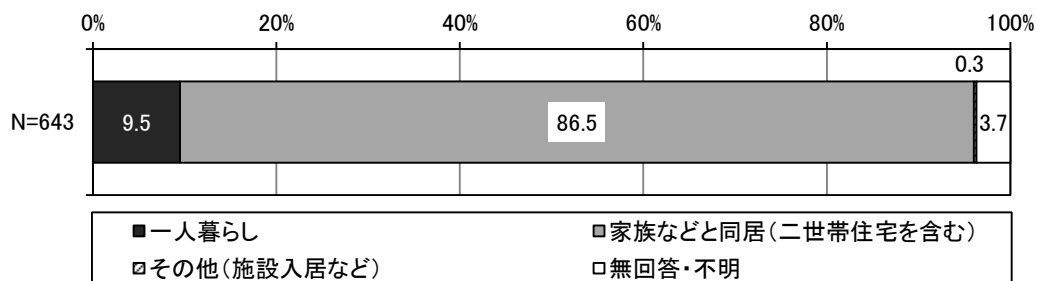
## ■クロス集計

本報告書では、特に要介護リスク等の分析において、男女別・年齢別の分析や、居住小学校区別の分析を行います。そのための参考資料として、居住小学校区別にみた年齢構成を以下に示しています。地域によって年齢構成が大きく異なっていると、要介護リスク等の状況も当然異なってくるため、地域的な要因なのか年齢による要因なのかの判断が難しくなりますが、今回の調査においては、地域間での年齢構成の差はそれほど大きくありません。ただ、調査対象者に占める75歳以上の後期高齢者の比率は、新庄でやや多く、忍海でやや少なくなっているため、地域ごとの分析を検討する際には、この点に留意する必要があります。



## (2) 家族構成(問2)

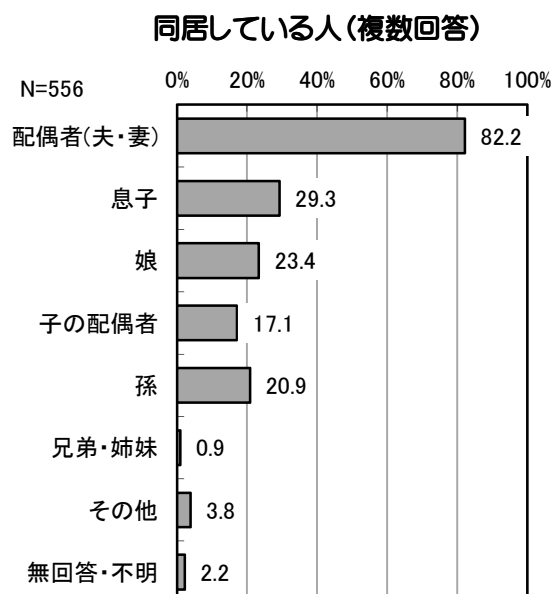
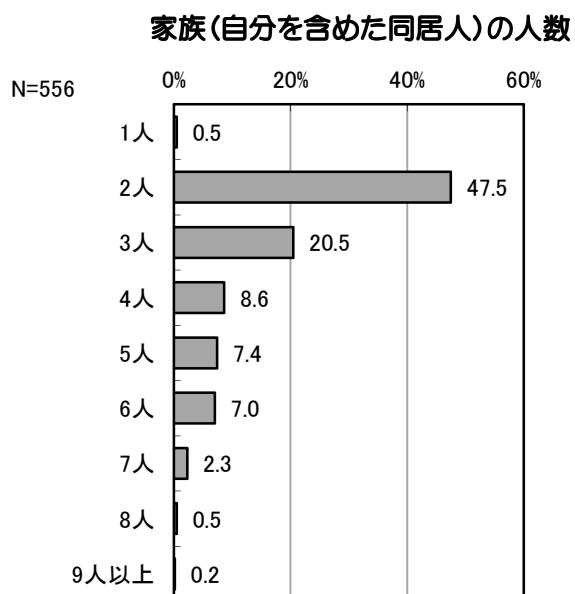
調査対象者の家族構成については、「家族など同居」が 86.5%で最も多く、「一人暮らし」は 9.5%となっています。



### 【家族など同居している回答者のみ】

#### ① 家族の人数と同居している人(問3)

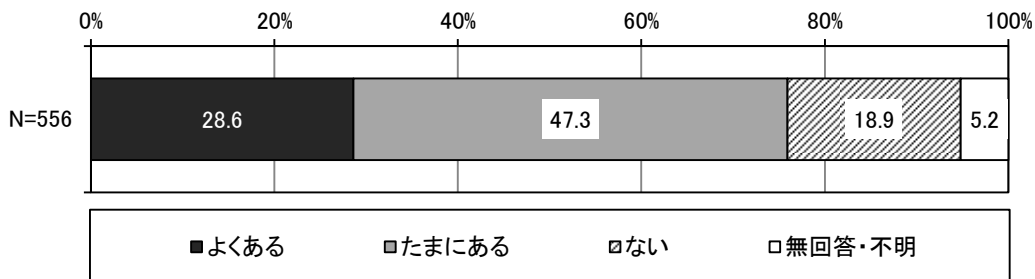
家族など同居している人の家族の人数は「2人」が 47.5%で最も多く、次いで「3人」が 20.5%となっています。同居している人については、「配偶者」が 82.2%で最も多くなっており、「孫」との同居は 20.9%となっています。



**【家族などと同居している回答者のみ】**

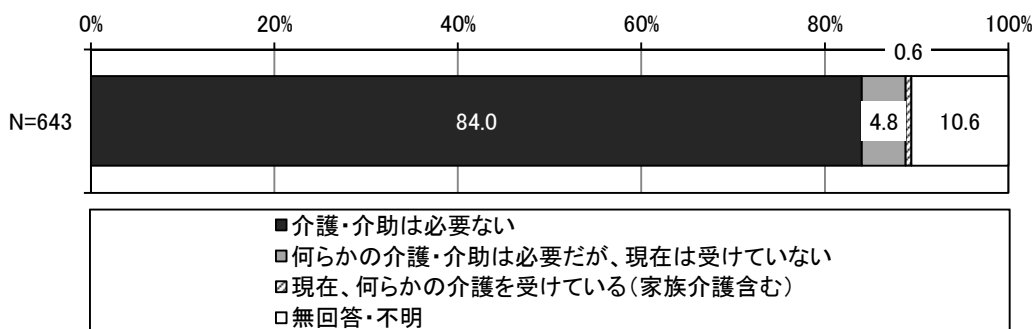
**②日中に一人になる頻度(問4)**

家族などと同居している回答者が日中一人になる頻度をみると、「よくある」が 28.6%、「たまにある」が 47.3%となっています。



**(3)介護・介助を必要としているか(問5)**

介護・介助の必要性をみると、「介護・介助は必要ない」が 84.0%、何らかの介護・介助が必要、または受けているという回答は、合計で 5.4%となっています。



**【介護・介助が必要な回答者のみ】**

**①介護・介助が必要になった主な原因(複数回答)(問6)**

介護・介助が必要になった主な原因としては、「骨折・転倒」、「がん(悪性新生物)」等が多くなっています。

	N=35	
	件数	(全体)%
骨折・転倒	7	20.0
がん(悪性新生物)	6	17.1
糖尿病	5	14.3
高齢による衰弱	5	14.3
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4	11.4
関節の病気(リウマチ等)	4	11.4
心臓病	3	8.6
視覚・聴覚障害	3	8.6
脊椎損傷	3	8.6
呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	2	5.7
パーキンソン病	2	5.7
認知症(アルツハイマー病等)	1	2.9
その他	4	11.4
無回答・不明	10	28.6

**【介護・介助が必要な回答者のみ】**

**②主な介護・介助者とその年齢(問7・8)**

実際に介護・介助を受けている回答者は少ないですが、主な介護・介助者の年齢については 65 歳以上が多くなっています。

**主な介護・介助者**

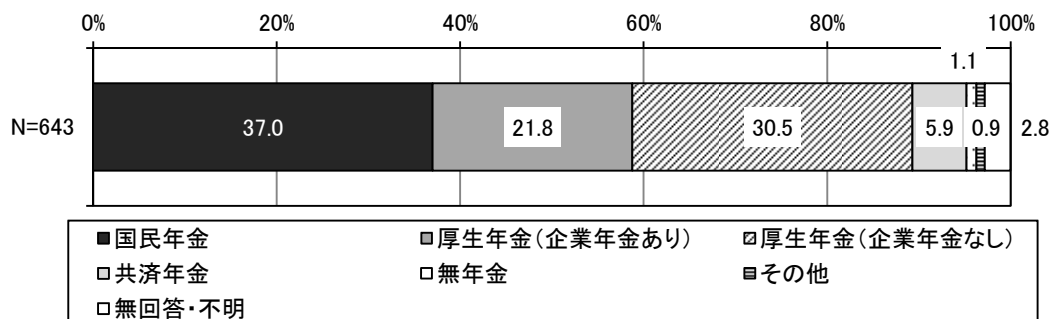
	N=4	
	件数	(全体)%
配偶者(夫・妻)	2	50.0
娘	2	50.0
息子	0	0.0
子の配偶者	0	0.0
孫	0	0.0
兄弟・姉妹	0	0.0
介護サービスのヘルパー	0	0.0
その他	0	0.0
無回答・不明	0	0.0

**主な介護・介助者の年齢**

	N=4	
	件数	(全体)%
64歳以下	25.0	1
65～74歳	25.0	1
75～84歳	50.0	2
85歳以上	0.0	0
無回答・不明	0.0	0

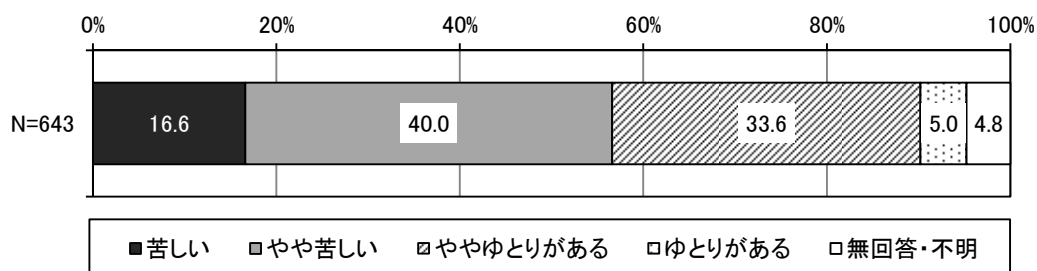
#### (4) 年金の種類(問9)

年金の種類については、「国民年金」が 37.0%で最も多く、次いで「厚生年金(企業年金なし)」が 30.5%となっています。



#### (5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じるか(問 10)

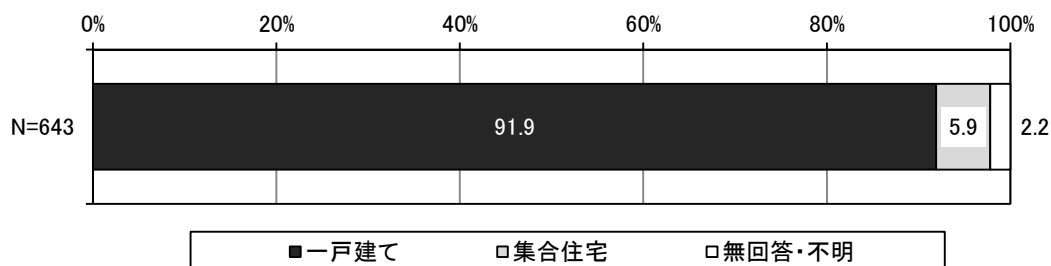
現在の暮らしの状況については、「苦しい」が 16.6%、「やや苦しい」と合わせると 56.6%が苦しさを感じています。一方、「ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計は 38.6%となっています。



#### (6) 住まいの状況

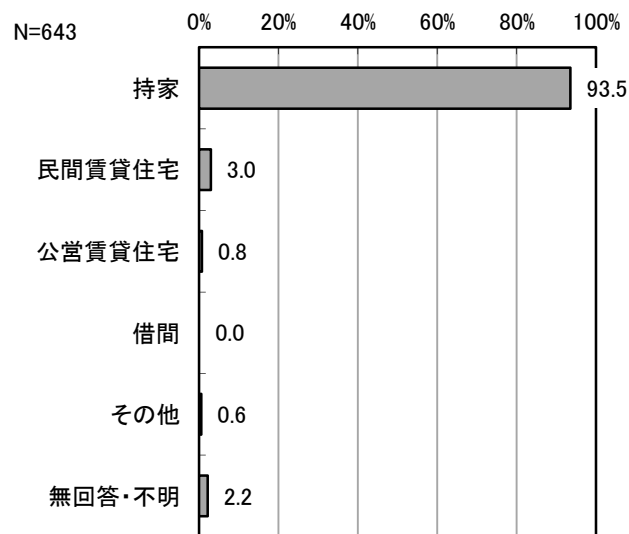
##### ①一戸建てか集合住宅か(問 11)

住まいについては、91.9%が「一戸建て」と回答しています。



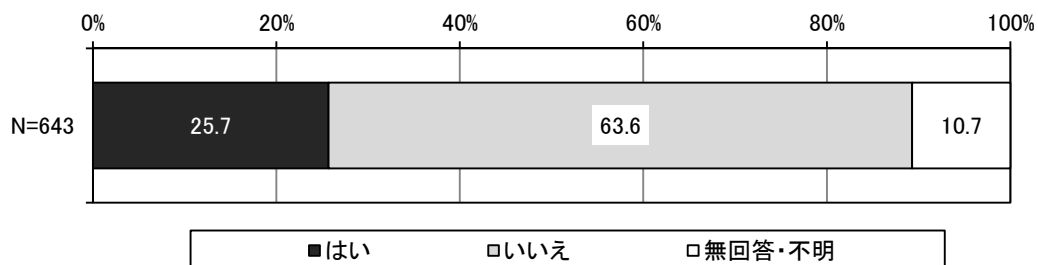
## ②持家が賃貸住宅か(問 12)

持家が 93.5%となっており、賃貸・借間は合計で 3.8%となっています。



## ③住まい(主に生活する部屋)は2階以上にあるかどうか(問 13)

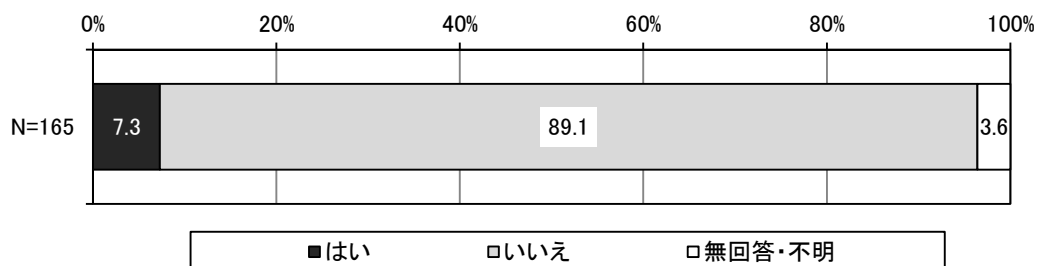
住まい(主に生活する部屋)が2階以上にあるかどうかについては「はい」が 25.7%、「いいえ」が 63.6 となっています。



### 【2階以上に居住している回答者のみ】

## ④住まいにエレベーターが設置されているか(問 14)

住まい(主に生活する部屋)が2階以上にある回答者のうち、エレベーターが設置されているのは 7.3%となっています。



## 2. 要介護リスクについて

### (1) 生活機能判定基本チェックリストによる二次予防事業対象者について

#### ①生活機能判定基本チェックリストと二次予防事業対象者の判定方法

生活機能判定基本チェックリストの設問項目と、二次予防事業対象者の判定方法については、以下の通りとなっています。

#### 基本チェックリスト項目

No.	問番号	設問	該当する回答
1	問 32(1)	バスや電車で1人で外出していますか	2. できるけどしていない 3. できない
2	問 32(2)	日用品の買物をしていますか	2. できるけどしていない 3. できない
3	問 32(7)	預貯金の出し入れをしていますか	2. できるけどしていない 3. できない
4	問 33(5)	友人の家を訪ねていますか	2. いいえ
5	問 33(6)	家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ
6	問 15(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	2. いいえ
7	問 15(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	2. いいえ
8	問 15(3)	15分位続けて歩いていますか	2. いいえ
9	問 21(1)	この1年間に転んだことがありますか	1. はい
10	問 21(2)	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい
11	問 22(1)	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい
12	問 22(7)	身長 cm、体重 kg (BMI= )	BMI<18.5
13	問 22(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
14	問 22(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
15	問 22(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい
16	問 15(5)	週に1回以上は外出していますか	2. いいえ
17	問 15(6)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい
18	問 29(1)	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい
19	問 29(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ
20	問 29(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
21	問 47(1)	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい
22	問 47(2)	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい
23	問 47(3)	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい
24	問 47(4)	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい
25	問 47(5)	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい



#### 二次予防事業対象者の基準

- ① No.1～20 までの 20 項目のうち 10 項目以上に該当する者(虚弱)
- ② No.6～10 までの5項目のうち3項目以上に該当する者(運動器の機能向上)
- ③ No.11 及び No.12 の2項目すべてに該当する者(栄養改善)
- ④ No.13～15 までの3項目のうち2項目以上に該当する者(口腔機能の向上)

※なお、上記に該当する者のうち、基本チェックリストのNo.16 に該当する者、No.18～20 のいずれかに該当する者、No.21～25 までの項目のうち2 項目以上に該当する者については、それぞれ閉じこもり、認知機能の低下、うつ予防や支援にも考慮する必要がある。

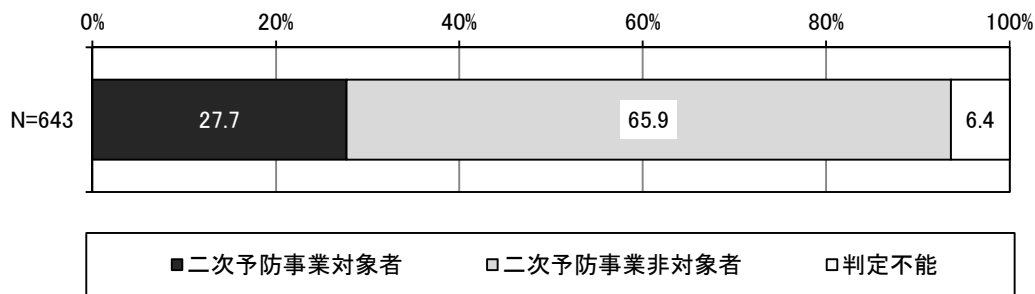
## ②基本チェックリスト設問の回答状況(全体)

基本チェックリスト設問の回答状況を見ると、「該当する回答」の回答率が高いものとして「転倒に対する不安は大きいですか」の問に対して「はい」が 38.7%、「友人の家を訪ねていますか」の問に対して「いいえ」が 33.7%、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」の問に対して「いいえ」が 31.4%となっています。

問番号	設問	回答率(%) (N=643)		
		該当する回答	該当しない回答	無回答・不明
問 32(1)	バスや電車で1人で外出していますか	13.1	85.1	1.9
問 32(2)	日用品の買物をしていますか	14.4	83.4	2.2
問 32(7)	預貯金の出し入れをしていますか	20.4	77.9	1.7
問 33(5)	友人の家を訪ねていますか	33.7	64.5	1.7
問 33(6)	家族や友人の相談にのっていますか	13.7	84.1	2.2
問 15(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	31.4	65.6	3.0
問 15(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	12.1	85.8	2.0
問 15(3)	15分位続けて歩いていますか	14.6	83.2	2.2
問 21(1)	この1年間に転んだことがありますか	19.9	75.4	4.7
問 21(2)	転倒に対する不安は大きいですか	38.7	55.8	5.4
問 22(1)	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	15.2	80.9	3.9
問 22(7)	BMI指数 18.5 未満	5.3	89.4	5.3
問 22(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	25.8	70.8	3.4
問 22(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	18.4	77.6	4.0
問 22(4)	口の渇きが気になりますか	23.3	71.9	4.8
問 15(5)	週に1回以上は外出していますか	6.1	91.6	2.3
問 15(6)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	29.7	68.1	2.2
問 29(1)	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	15.7	81.0	3.3
問 29(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	10.0	88.6	1.4
問 29(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	17.9	80.4	1.7
問 47(1)	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	15.2	75.6	9.2
問 47(2)	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	12.3	78.2	9.5
問 47(3)	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	25.5	66.9	7.6
問 47(4)	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	13.8	77.1	9.0
問 47(5)	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	25.0	67.3	7.6

### ③二次予防事業対象者(総数)

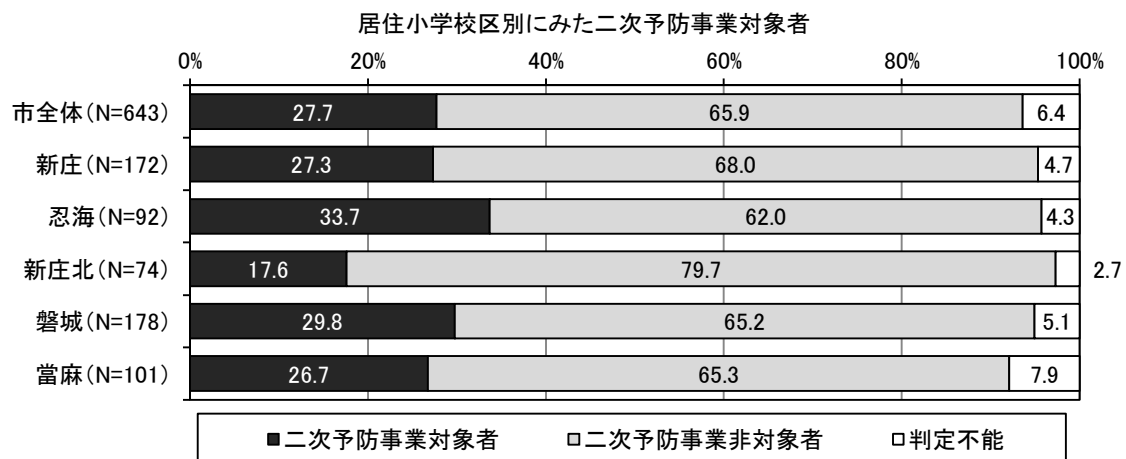
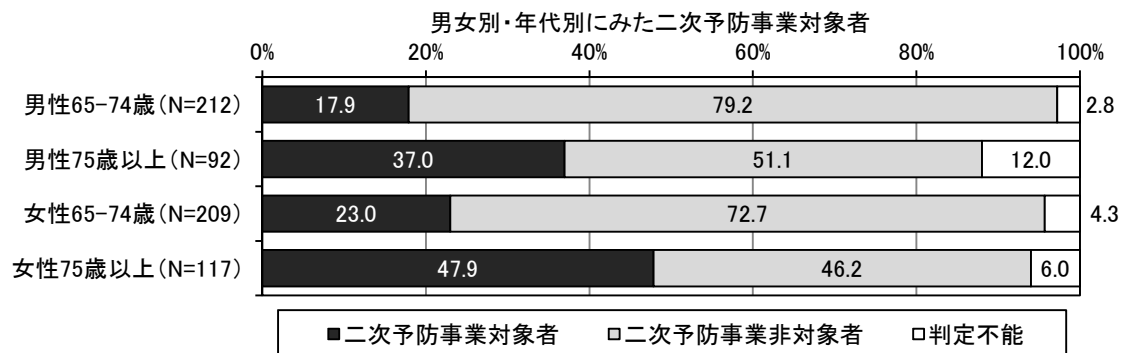
上記の判定方法により、二次予防事業対象者を抽出したところ、全体の27.7%が対象者と判定されています。



### ■クロス集計

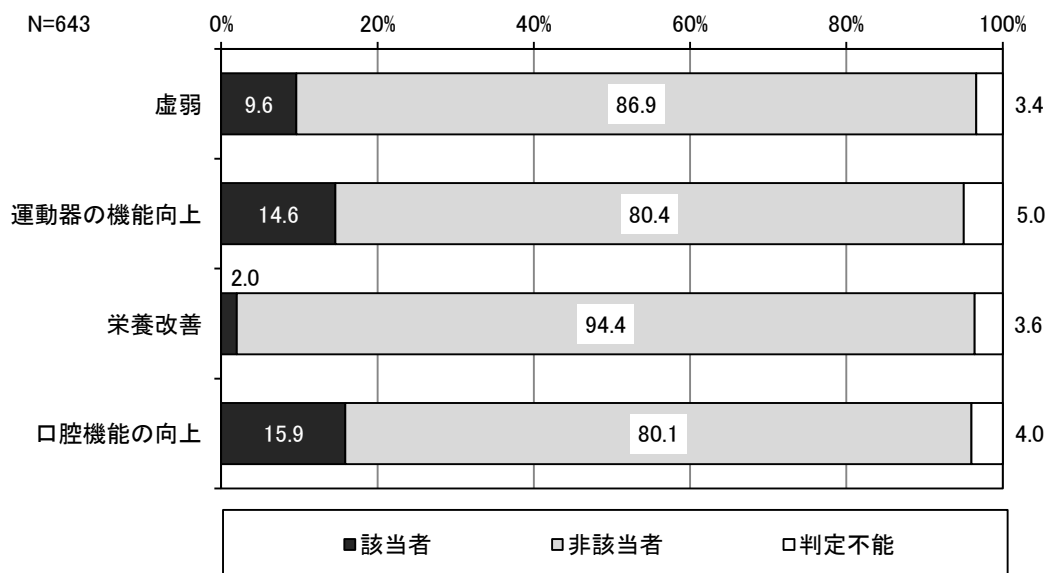
二次予防事業対象者を男女別・年代別にみると、75歳以上では、二次予防事業対象者とされる比率が、65～74歳のほぼ2倍となっています。また、いずれの年代においても、男性より女性の方が、対象者の比率がやや高くなっており、75歳以上の女性では、約半数が二次予防事業対象者となっています。

居住小学校区別にみると、対象者の比率は忍海でやや多く、新庄北でやや少なくなっています。もっとも、この両地区は回答者数が少なく、データの誤差が大きくなりやすいことに留意する必要があります。



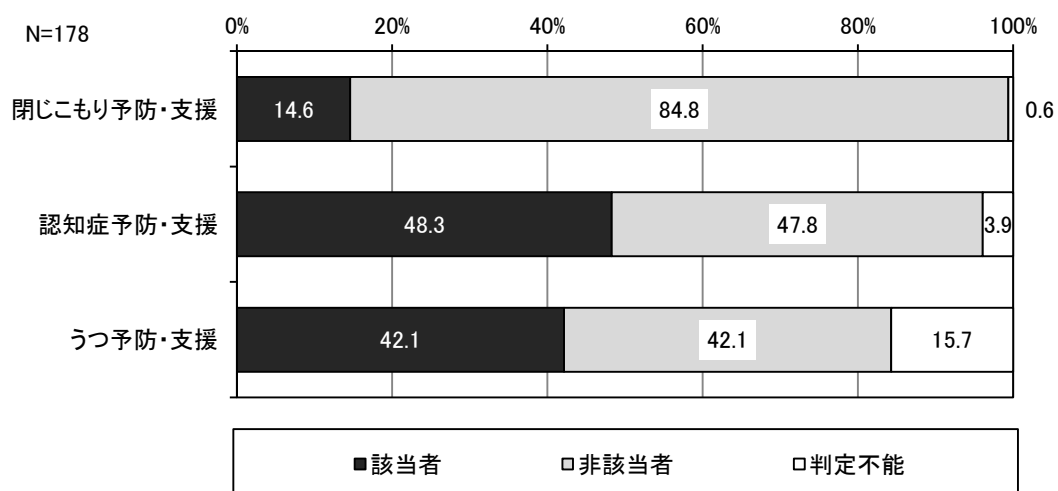
#### ④該当するリスク別に見た二次予防事業対象者

二次予防事業対象者の判定基準のうち、該当者が最も多かったのは、「口腔機能の向上」の15.9%、次いで「運動器の機能向上」が14.6%となっています。なお、複数の判定基準に重ねて該当している回答者がいるため、4つの判定基準の該当者の合計は二次予防事業対象者数より多くなっています。



#### ⑥二次予防事業対象者における閉じこもり、認知症、うつ予防・支援対象者

二次予防事業対象者として判定された人のうち、閉じこもり、認知症、うつ予防・支援が必要と判定されるのは以下の通りとなっています。認知症・うつについては、二次予防事業対象者の半数近くが該当しています。



## (2) バーゼルインデックスによる日常生活活動(ADL)評価

### ① バーゼルインデックスによる日常生活活動(ADL)評価方法

バーゼルインデックスによる日常生活活動(ADL)評価の方法は、以下の通りです。

問番号	項目	配点	選択肢
問 32(8)	食事	10: 5: 0:	1. できる 2. 一部介助(おかずを切ってもらなど)があればできる 3. できない
問 32(9)	寝床への移動	15: 10: 5: 0:	1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要(問 32(10)の回答が1. できる、2. 支えが必要) 3. 全面的な介助が必要(問 32(10)の回答が3. できない)
問 32(11)	整容	5: 0:	1. できる 2. 一部介助があればできる、または、3. できない
問 32(12)	トイレ	10: 5: 0:	1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない
問 32(13)	入浴	5: 0:	1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる、または、3. できない
問 32(14)	歩行	15: 10: 0:	1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる 3. できない
問 32(15)	階段昇降	10: 5: 0:	1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
問 32(16)	着替え	10: 5: 0:	1. できる 2. 介助があればできる 3. できない
問 32(17)	排便	10: 5: 0:	1. ない 2. ときどきある 3. よくある
問 32(18)	排尿	10: 5: 0:	1. ない 2. ときどきある 3. よくある

○100点:自立

○60点以下:起居移動に介助が必要

○40点以下:ほぼすべてに介助が必要

#### 用語解説:バーゼルインデックス

バーゼルインデックスとは、食事、移動、排便などの生活していくうえで最低限必要な日常生活活動(ADL:Activities of Daily Living 日常生活に必要な行動・動作)について、どの程度自分でできるかを得点化することで、障がい者や高齢者の介護の必要度などをはかるための指標です。100点が自立、60点以下では起居移動に介助が必要であり、40点以下ではほぼすべてに介助が必要な状態であると判定されます。

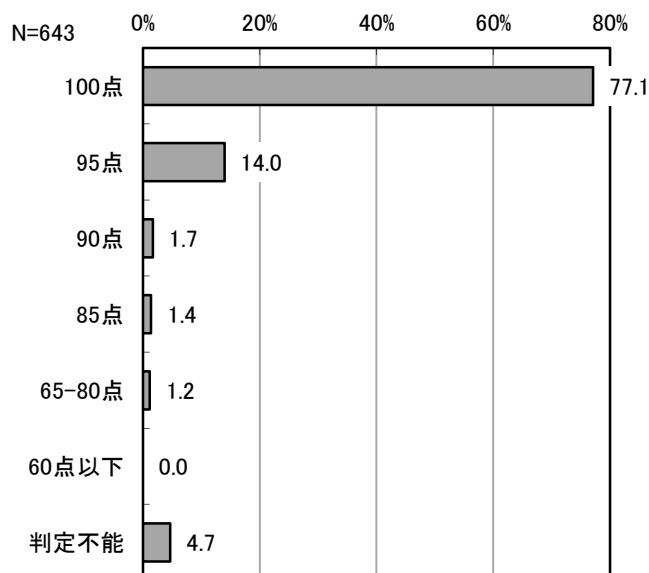
## ②日常生活活動(ADL)評価に関する設問の回答状況

日常生活活動(ADL)評価に関する設問の回答状況は、以下の通りです。ほとんどの設問では問題のない回答が95%を超えていますが、「尿もれや尿失禁がありますか」という問いについては、「ときどきある」15.4%、「よくある」1.1%と、問題があるという回答がやや多くなっています。

問番号	設問	回答率(%)			(N=643)
		できる	一部介助(お かずを切って もらうなど)が あればできる	できない	無回答 ・不明
問 32(8)	食事は自分で食べられますか	98.3	0.2	0.0	1.6
		受けない	一部介助が あればできる	全面的な 介助が必要	無回答 ・不明
問 32(9)	寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか	97.0	0.3	0.0	2.6
		できる	支えが必要	できない	無回答 ・不明
問 32(10)	座っていることができますか	96.0	0.3	1.7	2.0
		できる	一部介助が あればできる	できない	無回答 ・不明
問 32(11)	自分で洗面や歯磨きができますか	98.0	0.0	0.0	2.0
		できる	一部介助(他 人に支えても らう)があれ ばできる	できない	無回答 ・不明
問 32(12)	自分でトイレができますか	98.8	0.0	0.0	1.2
問 32(13)	自分で入浴ができますか	98.0	0.8	0.0	1.2
問 32(14)	50m以上歩けますか	96.3	0.8	1.2	1.7
		できる	介助があれ ばできる	できない	無回答 ・不明
問 32(15)	階段を昇り降りできますか	95.6	1.2	1.6	1.6
問 32(16)	自分で着替えができますか	98.4	0.2	0.0	1.4
		ない	ときどきあ る	よくある	無回答 ・不明
問 32(17)	大便の失敗がありますか	95.8	2.2	0.2	1.9
問 32(18)	尿もれや尿失禁がありますか	81.6	15.4	1.1	1.9

### ③日常生活活動(ADL)評価得点

バーゼルインデックスによる日常生活活動(ADL)評価の得点分布は以下の通りとなっています。介助を必要としない「100点」が77.1%、次いで「95点」が14.0%となっており、起居移動に介助が必要な「60点以下」となった回答者はありませんでした。なお、95点の回答者のほとんどは、「尿もれや尿失禁がありますか」に「ときどきある」と回答した人となっています。



### (3) 転倒リスクの評価

#### ①転倒リスクの評価方法

転倒リスクの評価方法は以下の通りです。

問番号	設問	配点と選択肢
問 21(1)	この1年間に転んだことがありますか	5:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問 21(3)	背中が丸くなってきましたか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問 21(4)	以前に比べて歩く速度が遅くなって来たと思いますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問 21(5)	杖を使っていますか	2:「1. はい」 0:「2. いいえ」
問 43	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	2:「5. 5種類以上」 0:「1~4または6

○6点以上:リスクあり

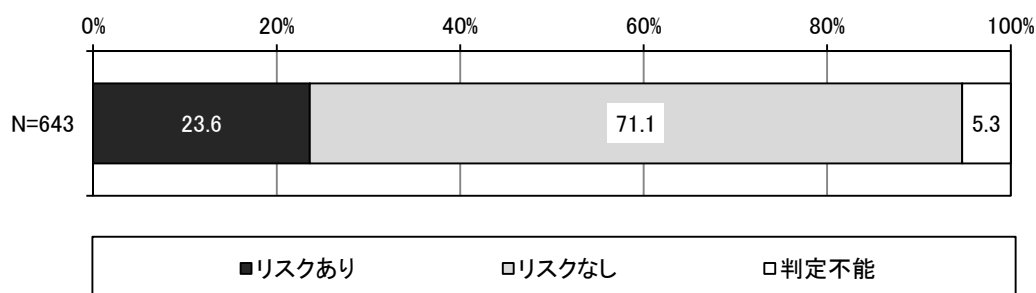
## ②転倒リスクに関する設問の回答状況

転倒リスクに関する設問の回答状況は以下の通りとなっています。リスクのある回答が最も多かったのは「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」という問いに対する「はい」の57.5%でした。

問番号	設問	回答率(%) (N=643)						
		はい	いいえ	無回答・不明				
問 21(1)	この1年間に転んだことがありますか	19.9	75.4	4.7				
問 21(3)	背中が丸くなってきましたか	29.9	65.6	4.5				
問 21(4)	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	57.5	38.6	3.9				
問 21(5)	杖を使っていますか	6.4	89.4	4.2				
問 43	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類以上	飲んでいない	無回答・不明
		13.4	18.2	13.5	9.5	21.0	20.7	3.7

## ③転倒リスク保有者

上記の評価方法に従って、転倒リスク保有者を抽出すると、全体の23.6%が「転倒リスクあり」と評価されています。



### 用語解説:転倒リスク

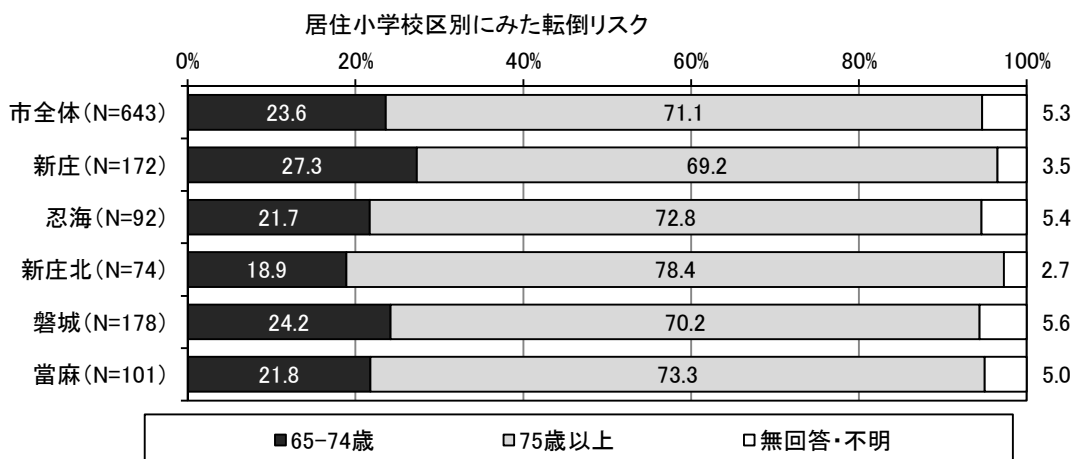
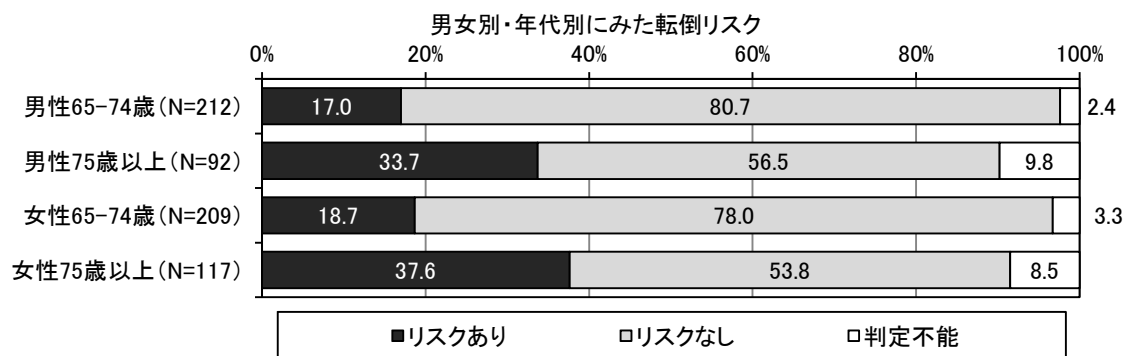
高齢者にとって転倒は、骨折などの重傷につながりやすく、それをきっかけに要介護状態になることに注意が必要です。下の表に従って「リスクあり」と判定された人については、運動能力の維持・向上や閉じこもりに陥らないための支援が求められます。



■クロス集計

転倒リスク保有者を男女別・年代別にみると、「リスクあり」の比率は、男女とも75歳以上では65-74歳の約2倍となっています。また、全体的に男性より女性の方が、やや「リスクあり」の比率が高くなっています。

居住小学校区別にみると、「リスクあり」の比率は新庄でやや多く、新庄北でやや少なくなっています。



#### (4) 老研指標によるIADL・知的能動性・社会的役割の評価と総合評価

##### ① 老研指標によるIADL(手段的日常生活活動)評価

老研指標によるIADL(手段的日常生活活動)評価は以下の基準で行われます。

評価の結果を見ると、全体の 83.7%が「高い」と評価され、「低い」または「やや低い」は合計で 10.4%となっています。評価に関連する設問で「できない」が最も多かったのは「自分で食事の用意をしていますか」という問いの 7.8%でした。

##### IADL評価の基準

問番号	設問	選択肢と配点
問 32(1)	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している、または 2. できるけどしていない: 1点
問 32(2)	日用品の買物をしていますか	
問 32(4)	自分で食事の用意をしていますか	
問 32(6)	請求書の支払いをしていますか	
問 32(7)	預貯金の出し入れをしていますか	

○5点: 高い

○4点: やや低い

○0~3点: 低い

##### IADL評価に関する設問の回答状況

問番号	設問	回答率(%) (N=643)			
		できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答 ・不明
問 32(1)	バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	85.1	9.5	3.6	1.9
問 32(2)	日用品の買物をしていますか	83.4	13.2	1.2	2.2
問 32(4)	自分で食事の用意をしていますか	61.3	28.1	7.8	2.8
問 32(6)	請求書の支払いをしていますか	78.7	16.6	1.2	3.4
問 32(7)	預貯金の出し入れをしていますか	77.9	17.4	3.0	1.7

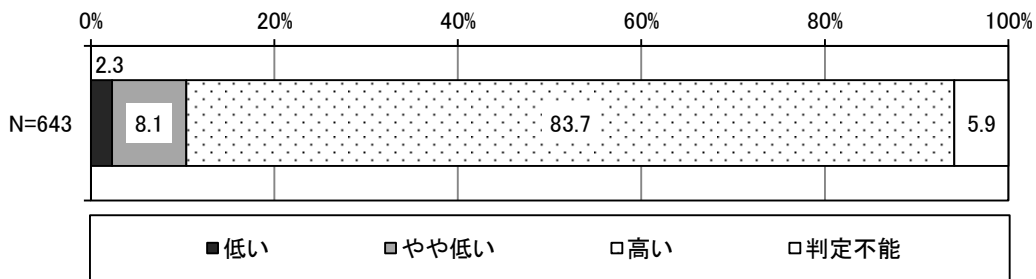
##### 用語解説:老研指標

「老研指標」とは、「老研式活動能力指標」の略で、日常生活活動(ADL)だけではとらえきれない、社会生活を営む上で必要な活動能力について計測する指標として我が国の研究者によって開発され、幅広く使用されているものです。

##### 用語解説:IADL(手段的日常生活活動)

IADL (Instrumental Activities of Daily Living)とは、外出・買い物・お金の管理など、ADLより高い自立した日常生活を送る能力をはかるための指標です。

## IADL評価の結果

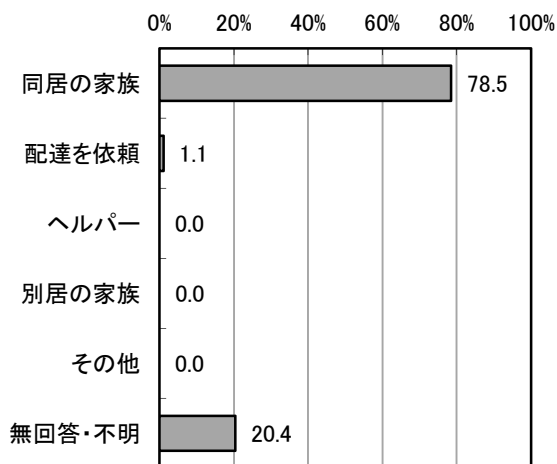


## IADL評価に関連する設問

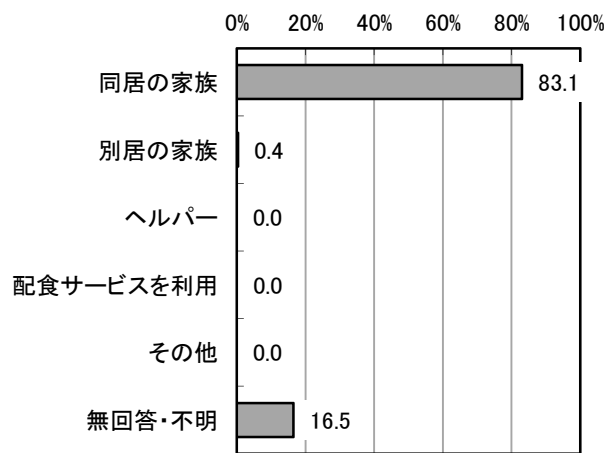
日用品の買物や食事の用意を「できるけどしていない」または「できない」と回答した人について、それぞれだれがしているのかを尋ねた結果は以下の通りとなっています。いずれも「同居の家族」が8割前後で最も多く、それ以外の回答は非常に少なくなっています。

また、家事全般ができていないかについては、「できている」が84.9%、「できていない」が9.5%となっています。

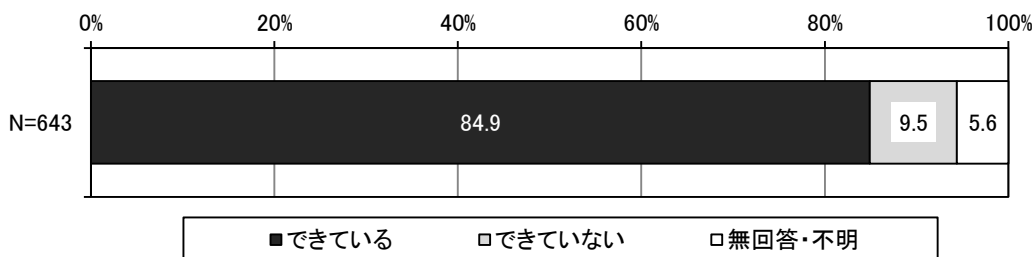
N=93 買い物をする人は誰ですか(問32(3))



N=231 食事の用意をする人は誰ですか(問32(5))



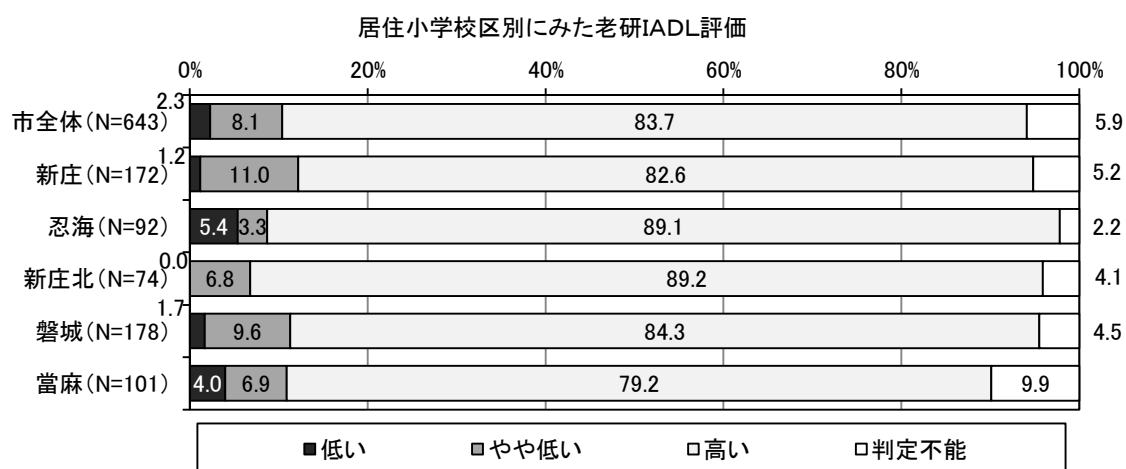
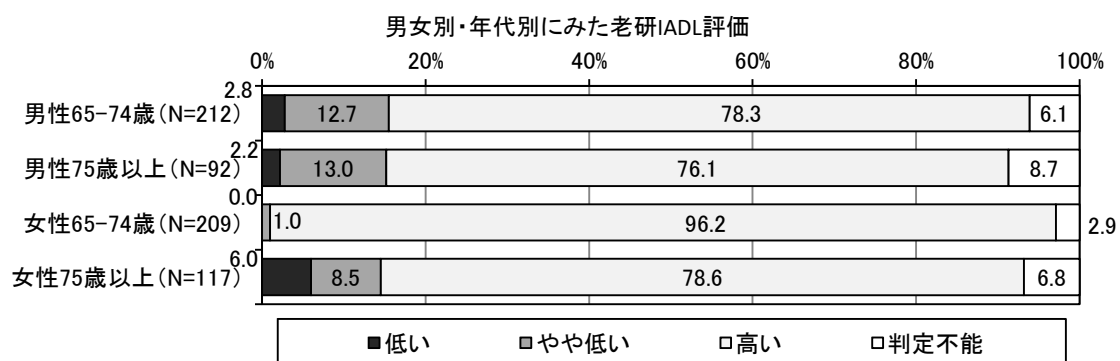
家事全般ができていますか(問32(19))



■クロス集計

IADL評価を男女別・年代別にみると、男性はいずれの年代においても、「やや低い」が多くなっています。これは、「自分で食事の用意」について男性に「できない」という回答が多いことが主な要因と考えられます。一方、75歳以上では、女性の「低い」、「やや低い」が増加しています。これは「バスや電車で一人で外出」について高齢の女性に「できない」という回答が多いことが主な要因と考えられます。

居住小学校区別にみると、「低い」または「やや低い」の比率は、新庄北でやや少なくなっています。



## ②老研指標による知的能動性評価

老研指標による知的能動性評価の結果をみると、全体の 66.9%が「高い」と評価され、「低い」または「やや低い」は合計で 29.7%となっています。評価に関連する設問で「いいえ」が最も多かったのは「本や雑誌を読んでいますか」という問いの 19.4%でした。

### 知的能動性評価の基準

問番号	設問	選択肢と配点
問 33(1)	年金等の書類(役所や病院等に出す書類)が書けますか	1. はい:1点
問 33(2)	新聞を読んでいますか	
問 33(3)	本や雑誌を読んでいますか	
問 33(4)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

○4点:高い

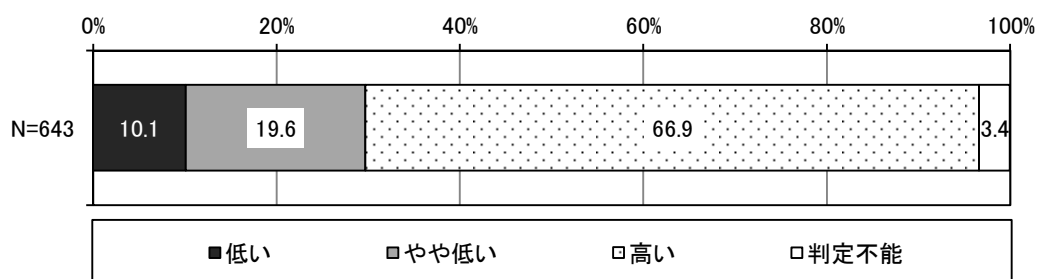
○3点:やや低い

○0~2点:低い

### 知的能動性評価に関する設問の回答状況

問番号	設問	回答率(%) (N=643)		
		はい	いいえ	無回答 ・不明
問 33(1)	年金等の書類(役所や病院等に出す書類)が書けますか	90.7	7.5	1.9
問 33(2)	新聞を読んでいますか	89.7	8.4	1.9
問 33(3)	本や雑誌を読んでいますか	78.7	19.4	1.9
問 33(4)	健康についての記事や番組に関心がありますか	89.6	9.2	1.2

### 知的能動性評価の結果



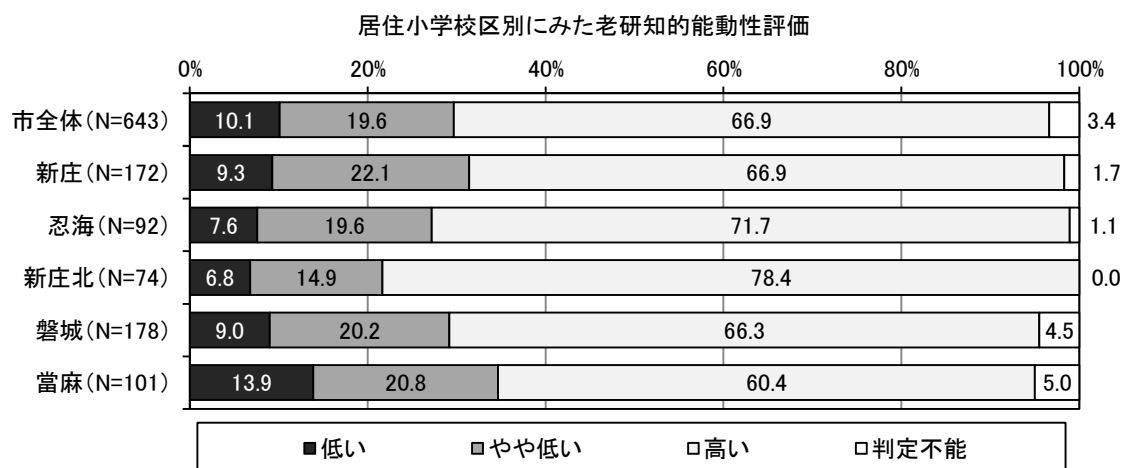
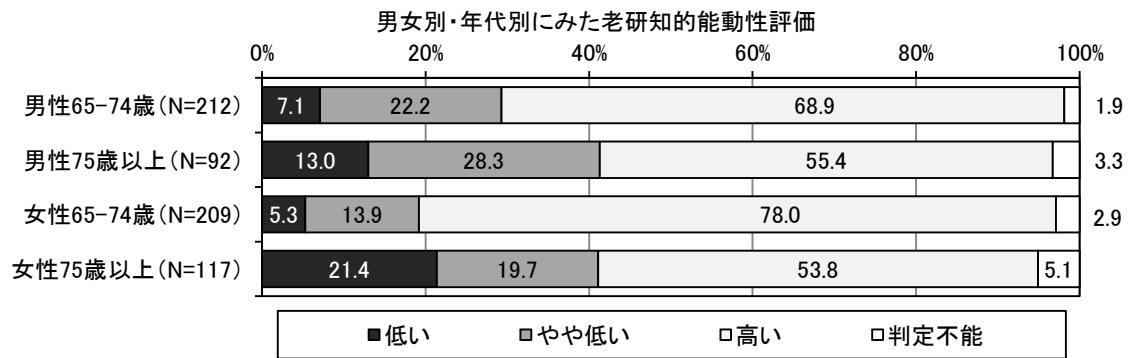
#### 用語解説:知的能動性評価

知的能動性評価とは、老研指標の中で、情報収集や読書などの知的な活動への取り組み状況をはかる指標です。

■クロス集計

老研知的能動性評価を男女別・年代別にみると、65-74 歳では男性の方が「低い」、「やや低い」の比率が高いのに対し、75 歳以上では女性の方が「低い」が多くなっています。

居住小学校区別にみると、「低い」、「やや低い」は當麻で最も多く、新庄北で最も少なくなっています。



### ③老研指標による社会的役割評価

老研指標による社会的役割評価の結果をみると、全体の 53.7%が「高い」と評価され、「低い」または「やや低い」は合計で 41.7%となっています。評価に関連する設問で「いいえ」が最も多かったのは「友人の家を訪ねていますか」という問いの 33.7%でした。

#### 社会的役割評価の基準

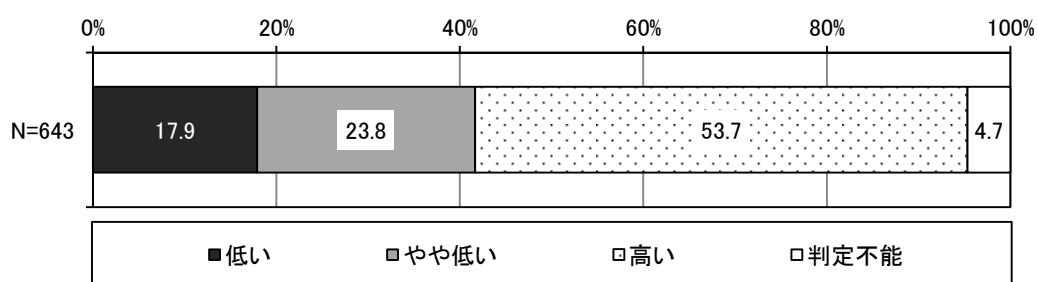
問番号	設問	選択肢と配点
問 33(5)	友人の家を訪ねていますか	1. はい:1点
問 33(6)	家族や友人の相談にのっていますか	
問 33(7)	病人を見舞うことができますか	
問 33(8)	若い人に自分から話しかけることがありますか	

○4点:高い  
○3点:やや低い  
○0~2点:低い

#### 社会的役割評価に関する設問の回答状況

問番号	設問	回答率(%) (N=643)		
		はい	いいえ	無回答・不明
問 33(5)	友人の家を訪ねていますか	64.5	33.7	1.7
問 33(6)	家族や友人の相談にのっていますか	84.1	13.7	2.2
問 33(7)	病人を見舞うことができますか	92.4	5.6	2.0
問 33(8)	若い人に自分から話しかけることがありますか	79.8	17.6	2.6

#### 社会的役割評価の結果



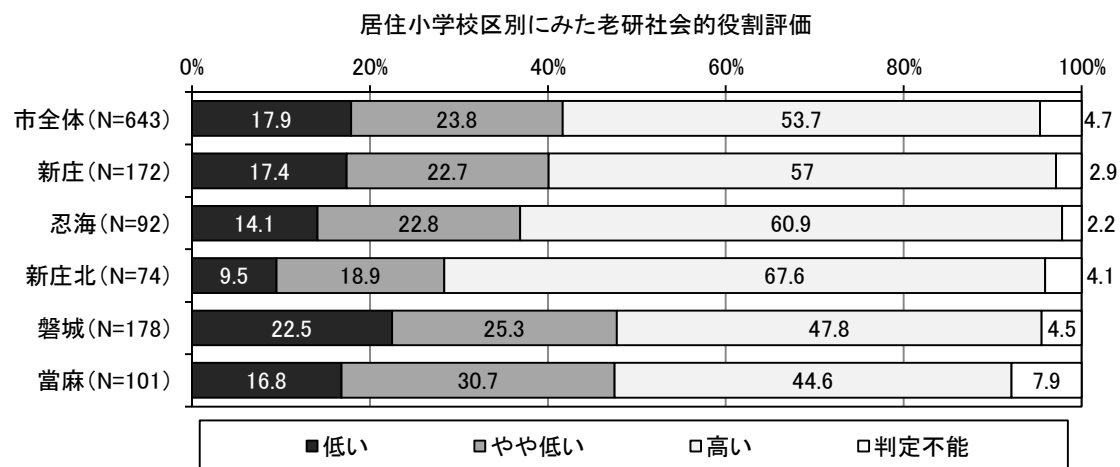
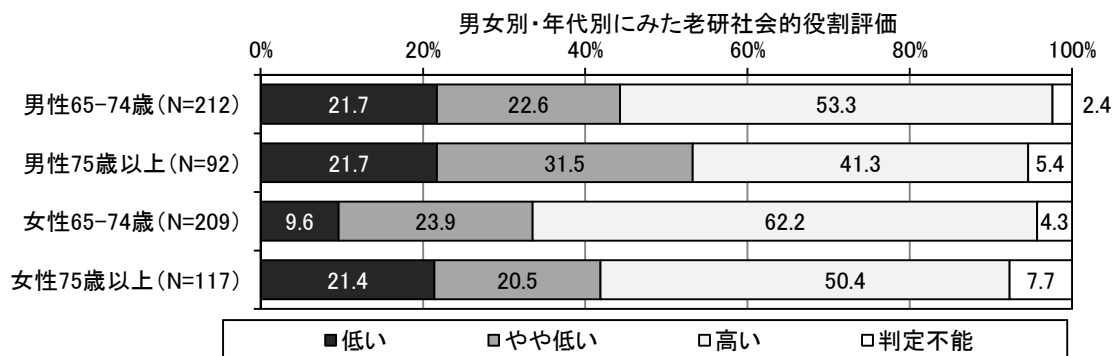
#### 用語解説:社会的役割評価

社会的役割評価とは、友人や家族とのかかわりの持ち方など、社会的な関係を維持・開発していく力についての指標です。

■クロス集計

老研社会的役割評価を男女別・年代別にみると、男性は 65-74 歳と 75 歳以上の差はそれほど大きくないのに対し、女性では 75 歳以上で「低い」、「やや低い」が大幅に増加しています。しかし、女性の 75 歳以上は、男性の 65-74 歳とほぼ同じ結果となっており、全体として男性の方が評価が低くなっています。

居住小学校区別にみると、「低い」、「やや低い」は磐城、當麻では4割台後半と多く、新庄北は 2 割台後半となっています。

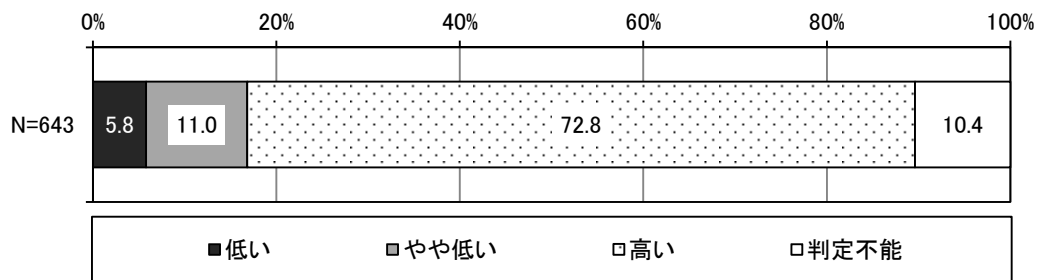




#### ④老研指標による総合評価

老研指標総合評価は IADL、知的能動性、社会的役割の合計点による評価となり、11 点以上が「高い」、9～10 点が「やや低い」、8点以下が「低い」と判定されます。評価結果をみると、「高い」が 72.8%で、「低い」と「やや低い」の合計は 16.8%となっています。

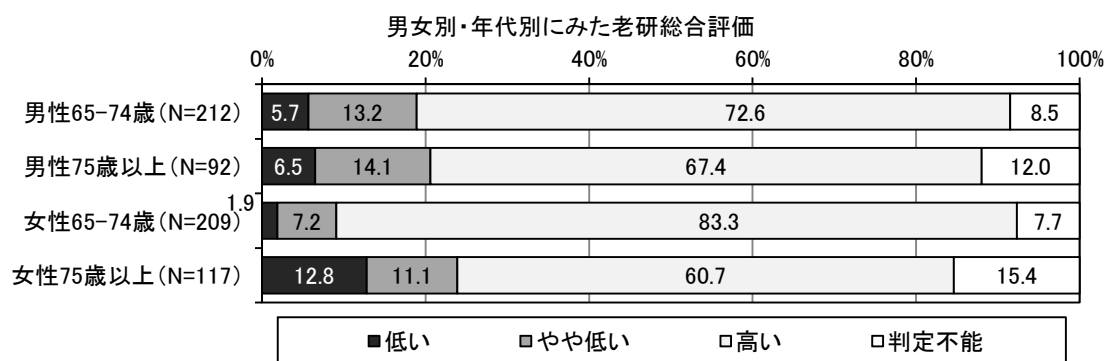
IADL(手段的日常生活活動)、知的能動性、社会的役割の順で「高い」の比率が大きくなっており、個人のレベルでは評価が高い一方で、社会的な関係の面で評価が低くなっていることがうかがえます。



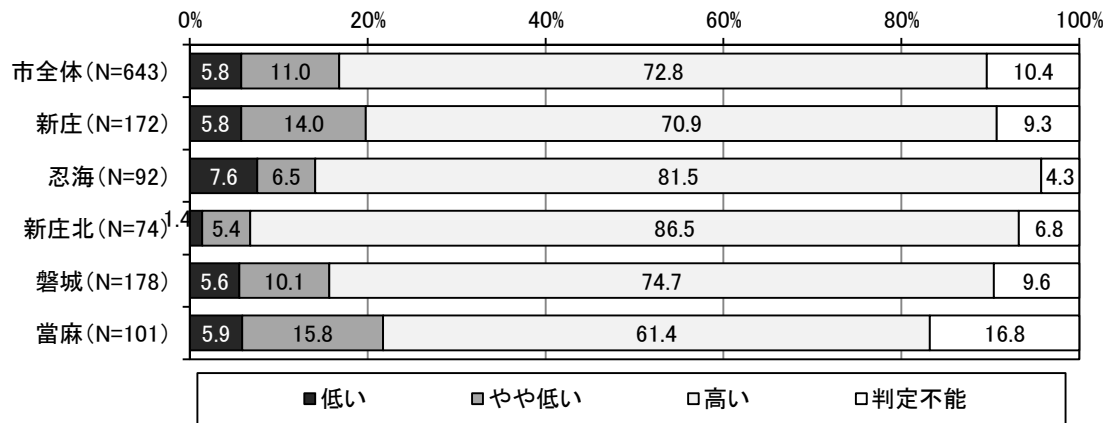
#### ■クロス集計

老研総合評価を男女別・年代別にみると、男性は 65-74 歳と 75 歳以上で、「低い」、「やや低い」の比率がそれほど変化しないのに対し、女性の「低い」、「やや低い」の比率は、65-74 歳では男性より大幅に少なくなっているのに対し、75 歳以上では大幅に増加し、男性よりも比率が高くなっています。

居住小学校区別にみると、「低い」、「やや低い」は新庄、當麻でやや多く、新庄北で少なくなっています。



居住小学校区別にみた老研指標総合評価



## (5) 認知機能の評価

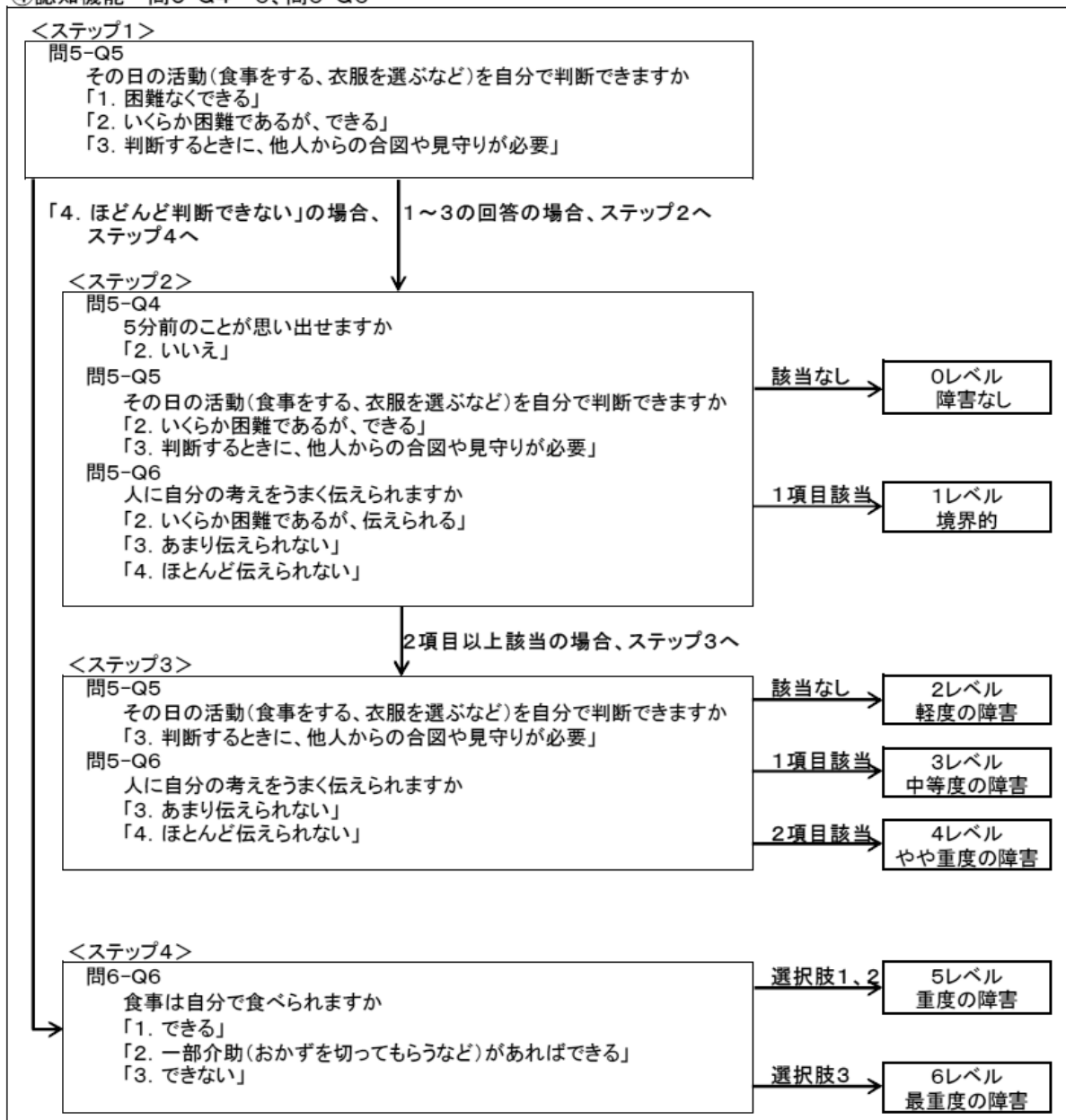
### ①認知機能障害レベルの評価方法

厚生労働省の「日常生活圏域ニーズ調査の調査項目の考え方」によると、認知機能の障害レベルの評価は下記の図に示されたステップを通じて行われます。

※上記の図中の問番号は、本調査ではそれぞれ以下の問番号が対応しています。

図中の問番号	対応する本調査の問番号
問5-Q4	問 29(4)
問5-Q5	問 30
問5-Q6	問 31
問6-Q6	問 32(8)

### ④認知機能…問5-Q4～6、問6-Q6



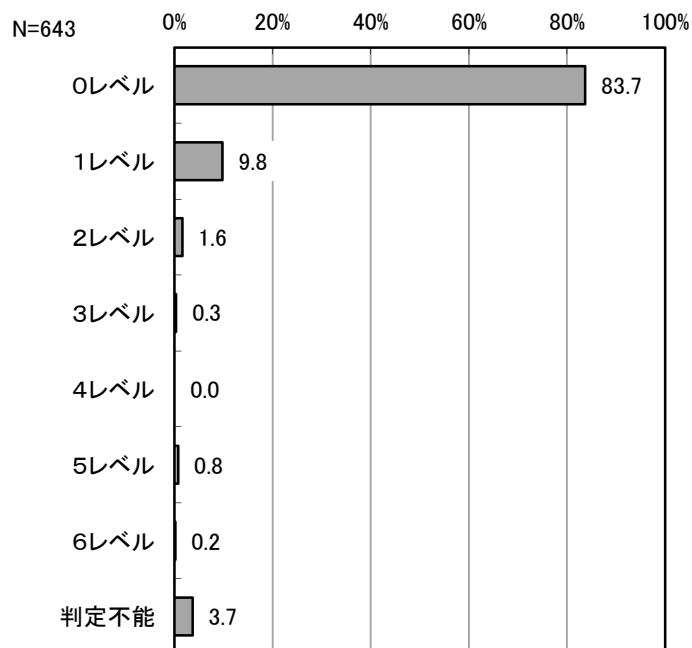
## ②認知機能障害レベルの評価に関する設問の回答状況

認知機能障害レベルの評価に関する設問の回答状況は、以下の通りです。

問番号	設問	回答率(%) (N=643)				
問 29(4)	5分前のことが思い出せますか	はい 92.4	いいえ 5.4	無回答・不明 2.2		
問 30	その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか	困難なくできる 95.0	いくらか困難であるが、できる 1.7	判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 0.0	ほとんど判断できない 0.9	無回答・不明 2.3
問 31	人に自分の考えをうまく伝えられますか	伝えられる 90.4	いくらか困難であるが、伝えられる 4.7	あまり伝えられない 2.5	ほとんど伝えられない 0.0	無回答・不明 2.5
問 32(8)	食事は自分で食べられますか	できる 98.3	一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる 0.2	できない 0.0	無回答・不明 1.6	

## ②認知機能障害レベルの評価結果

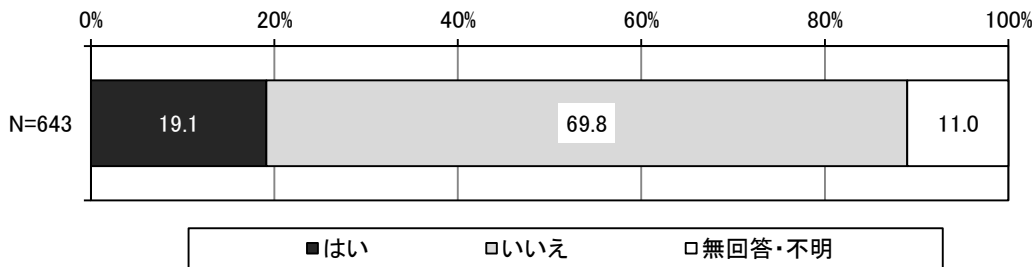
上記の評価方法に基づいて、認知機能障害レベルの評価を行ったところ、0レベル(障害なし)が83.7%、1レベル(境界的)が9.8%となり、障害ありと判定される2~6レベルは、合計で2.9%となっています。



### 3.外出について

#### (1)外出を控えているかどうか(問 16)

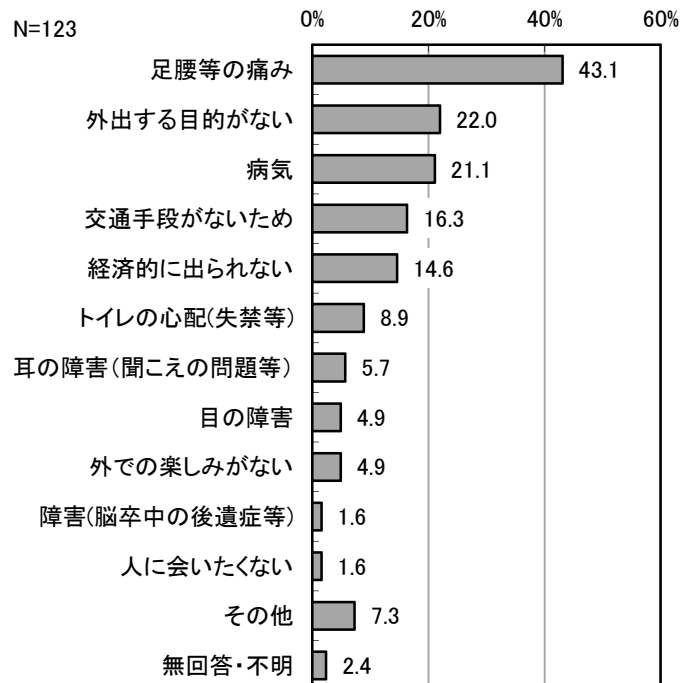
全体の19.1%が外出を控えていると回答しています。



#### 【外出を控えている回答者のみ】

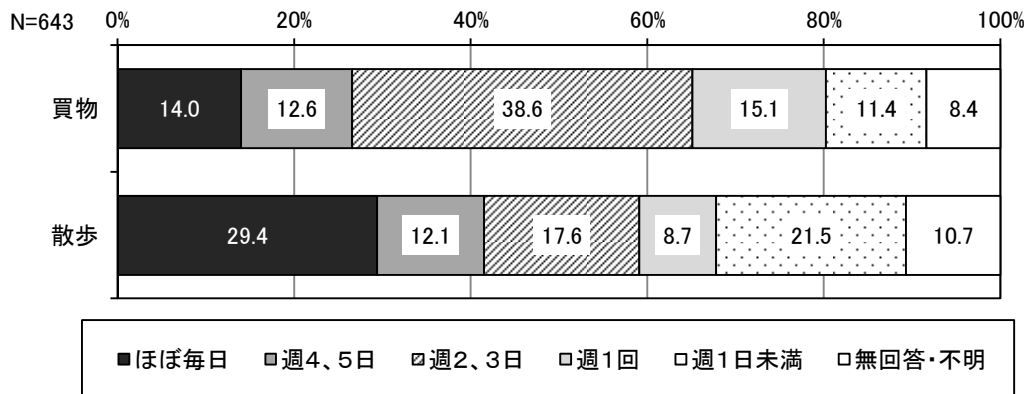
#### ①外出を控えている理由(複数回答)(問 17)

外出を控えている回答者について、その理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が43.1%で特に多くなっています。



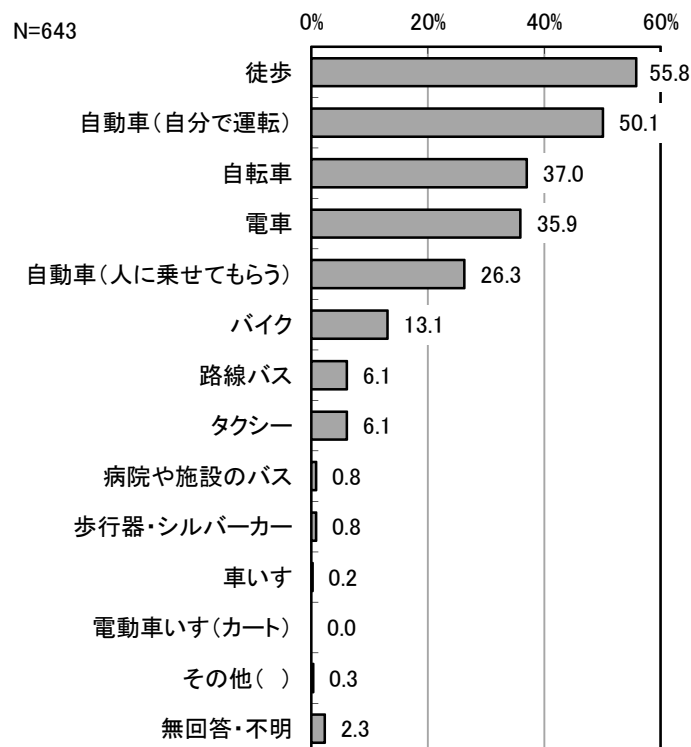
## (2) 買物、散歩で外出する頻度 (問 18・19)

買物、散歩で外出する頻度をみると、買物については「週2、3回」が 38.6%で最も多く、次いで「週1回」の 15.1%となっています。散歩については、「ほぼ毎日」が 29.4%で最も多く、次いで「週2、3日」が 17.6%となっています。「週1回未満」という回答は、買物では 11.4%、散歩では 21.5%となっています。



## (3) 外出する際の移動手段 (複数回答) (問 20)

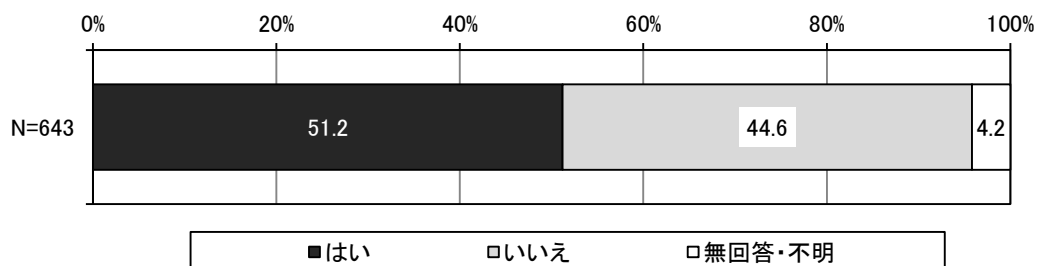
外出する際の移動手段としては、「徒歩」が 55.8%で最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」が 50.1%となっています。



## 4. 口腔・栄養について

### (1) 入れ歯の使用 (問 23)

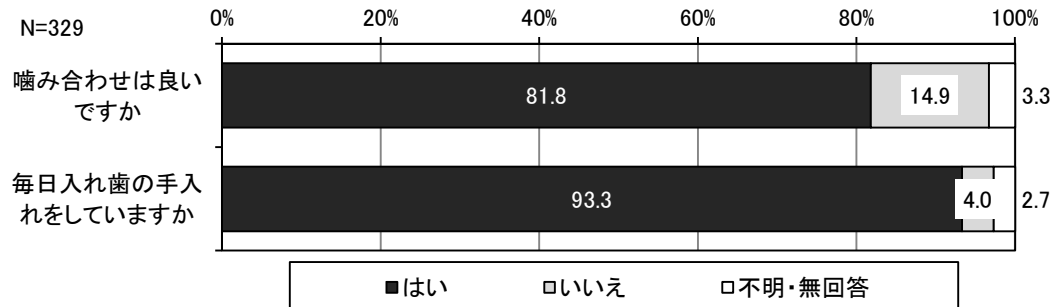
「入れ歯を使用していますか」という質問に対しては、51.2%が「はい」と回答しています。



### 【入れ歯を使用している回答者のみ】

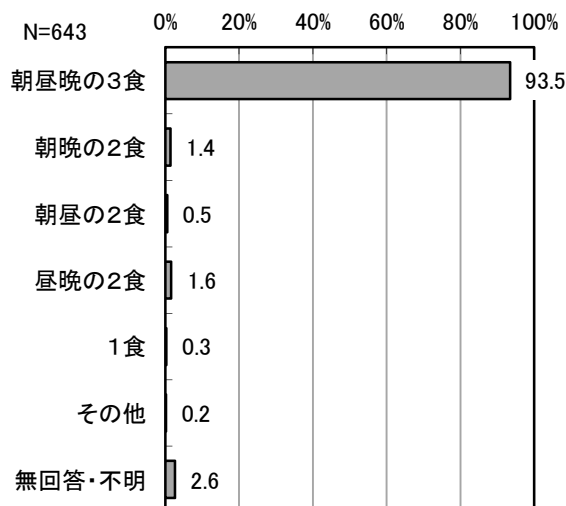
#### ① 入れ歯の噛み合わせと手入れについて (問 24)

入れ歯を使用している回答者においては、噛み合わせは良いという回答が 81.8%、毎日入れ歯の手入れをしているという回答が 93.3%となっています。



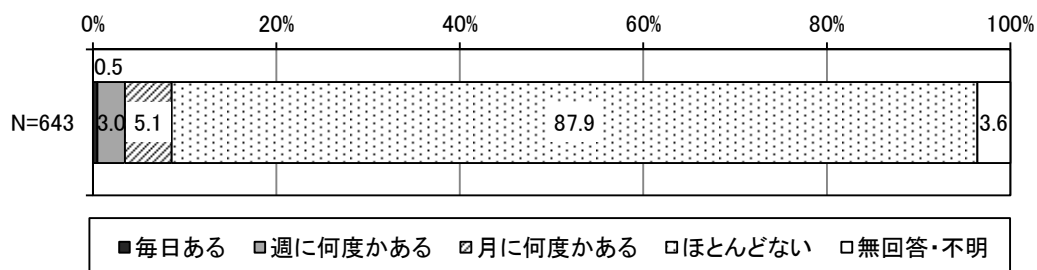
## (2)1日の食事の回数(問 25)

1日の食事の回数については、「朝昼晩の3食」が 93.5%と回答のほとんどを占めています。1日2食または1食という回答は、合計で 3.8%となっています。



## (3)食事を抜くこと(問 26)

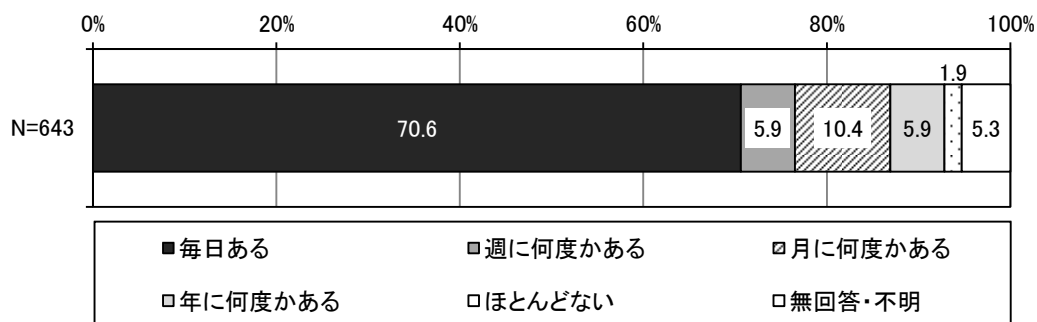
食事を抜くことがあるかどうかについては、「ほとんどない」が 87.9%となっています。「ある」という回答の合計は 8.6%となっています。





#### (4) 食事をとむにする機会(問 27)

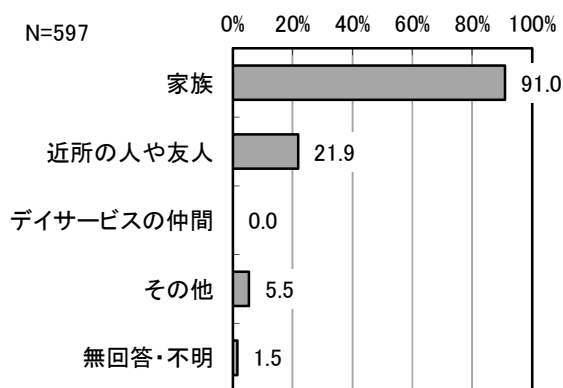
だれかと食事をとむにする機会の有無については、「毎日ある」が 70.6%で最も多くなっています。「週に何度かある」、「月に何度かある」を合わせると、全体の 86.9%は定期的にだれかと食事をとむにする機会を持っていることとなります。



#### 【食事をとむにする機会がある回答者のみ】

##### ①食事をとむにする人(複数回答)(問 28)

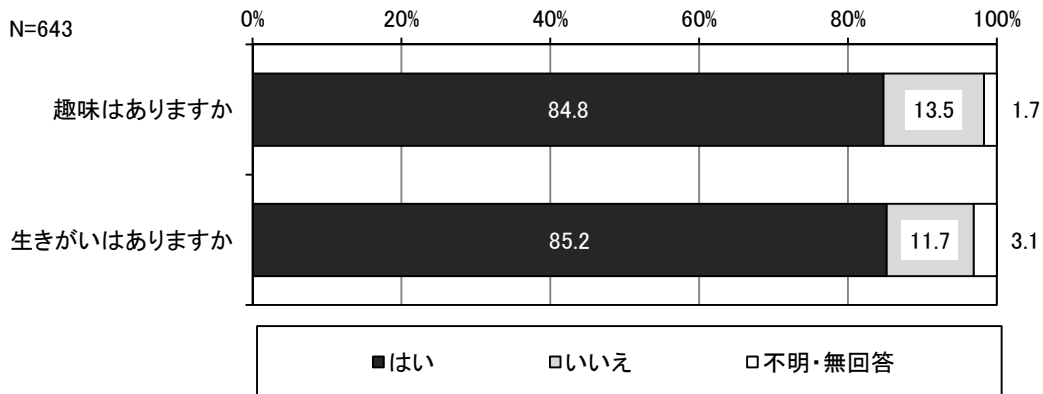
食事をとむにする相手については、「家族」が 91.0%で最も多く、次いで「近所の人や友人」が 21.9%となっています。



## 5. 社会参加の状況

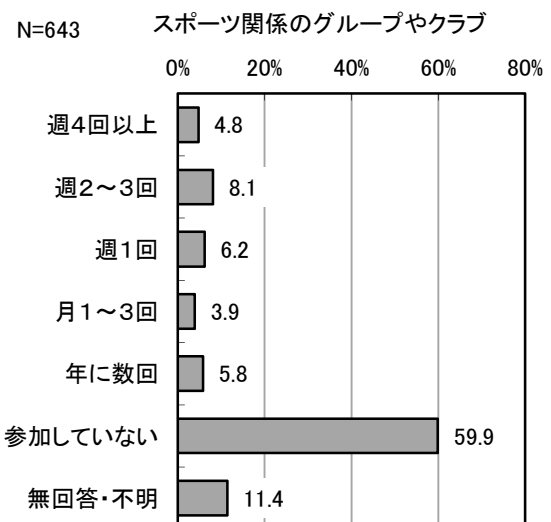
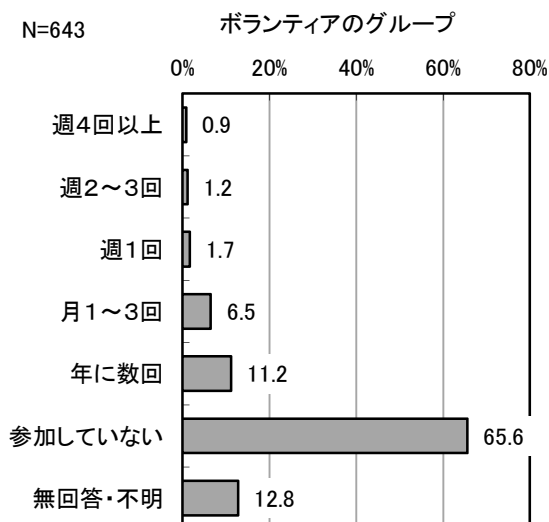
### (1) 趣味・生きがいの有無(問 33(9)・(10))

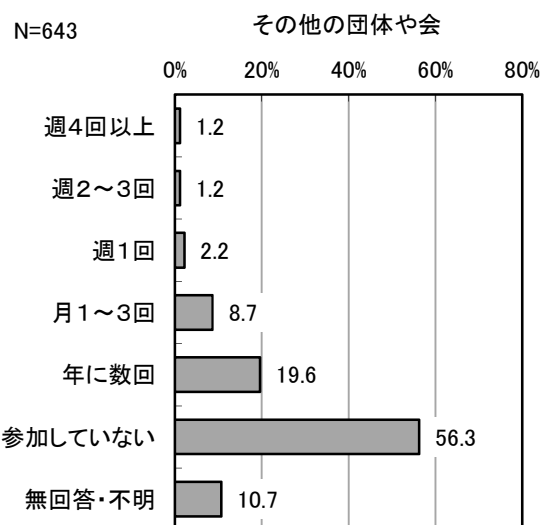
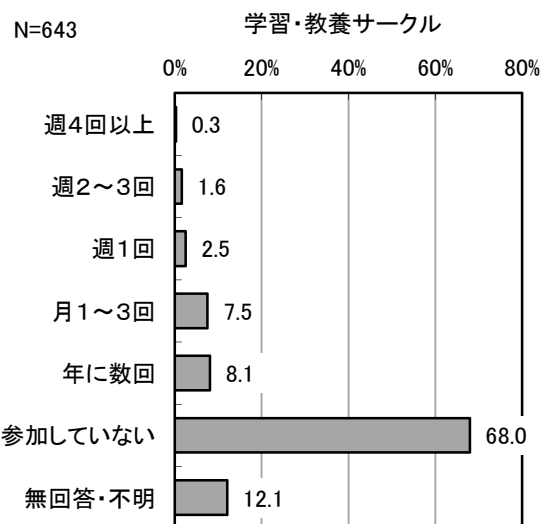
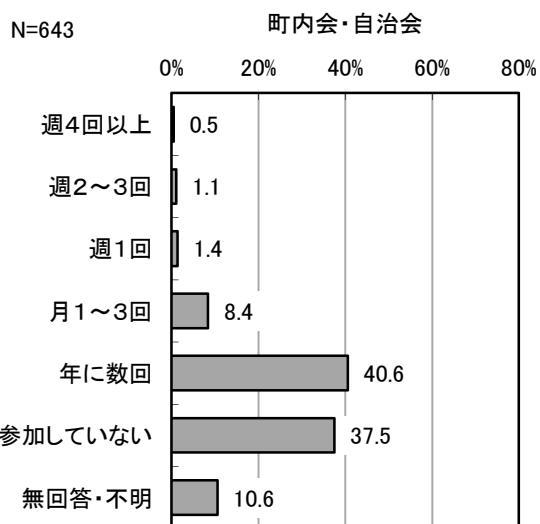
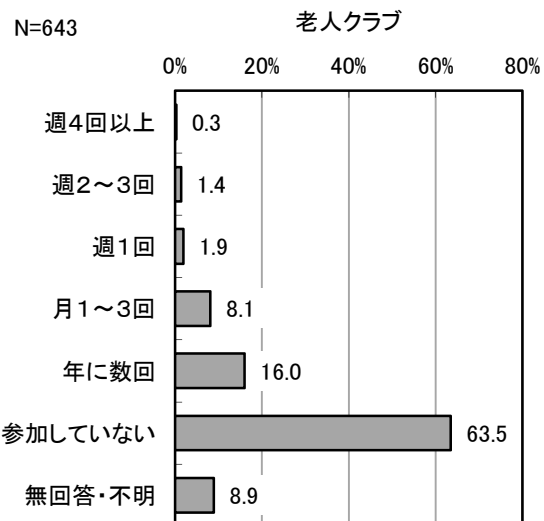
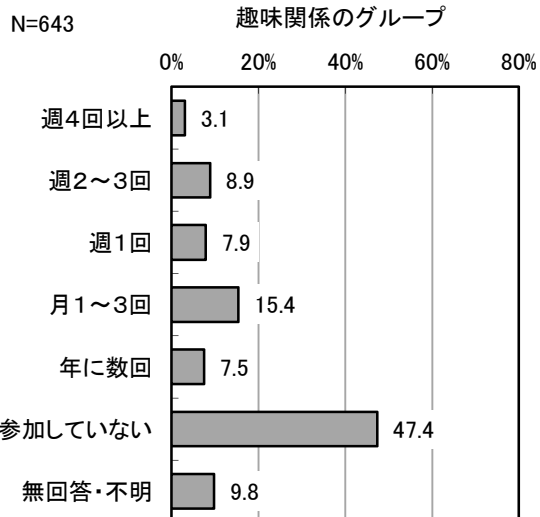
趣味については 84.8%、生きがいについては 85.2%が「ある」と回答しています。



### (2) 会・グループ等への参加の頻度(問 34)

「町内会・自治会」以外の会・グループについては「参加していない」が最も多くなっています。参加しているという回答の合計が多いのは「町内会・自治会」の 52.0%、次いで、「趣味関係のグループ」の 42.8%となっています。また、週1回以上の回答の合計が最も多いのは、「趣味関係のグループ」の 19.9%、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」の 19.1%となっています。



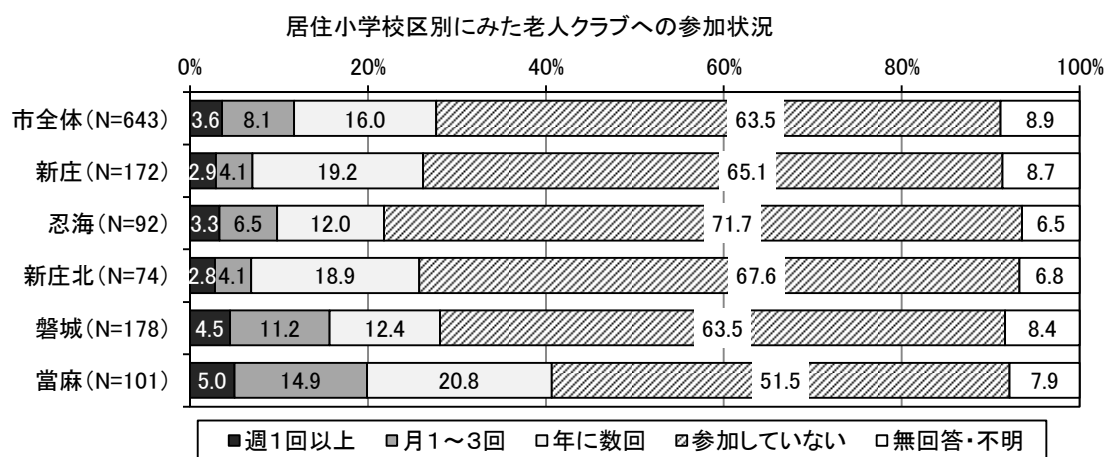
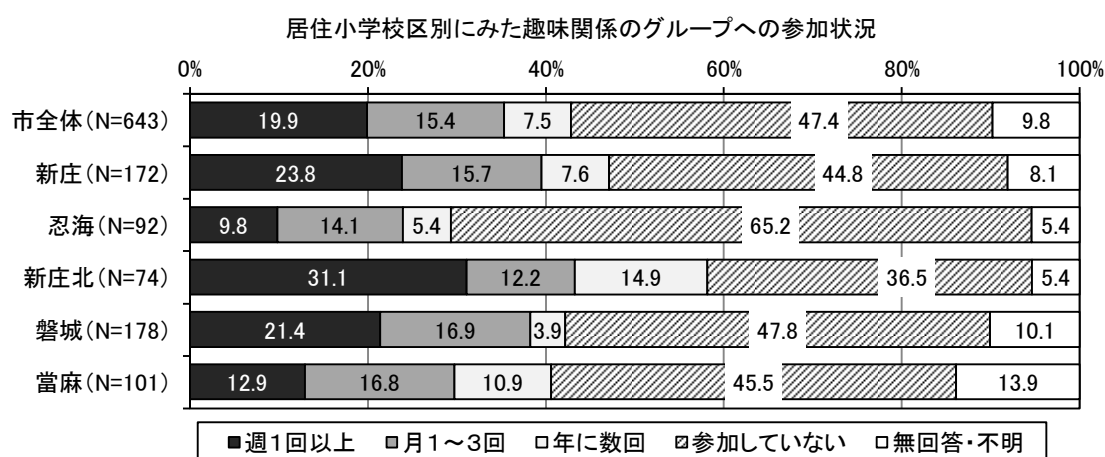


■クロス集計

会・グループ等への参加の頻度について、地域間で差が見られた活動について、以下に示しています。

「趣味関係のグループ」については、新庄北で特に参加率が高く、日常的な活動の目安としての「週1回以上」の参加率も高くなっています。一方、忍海では参加率が低く、當麻でも日常的な参加の比率は低くなっています。

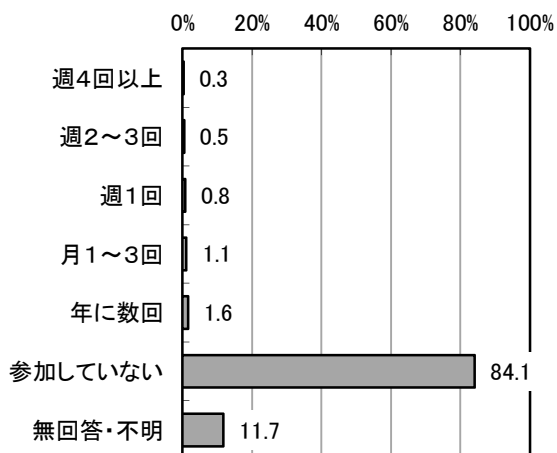
「老人クラブ」については、いずれの地区についても「参加していない」が半数を超えています、當麻では比較的参加率が高く、忍海でやや低くなっています。



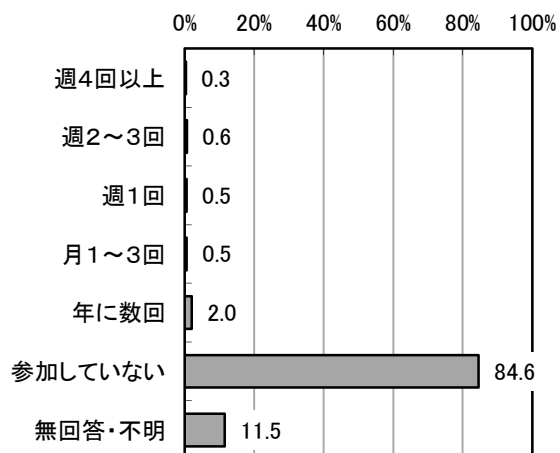
### (3) 社会参加活動や仕事への参加の頻度(問 35)

いずれの活動についても「参加していない」が最も多くなっています。参加しているという回答の合計が最も多いのは「地域の生活環境の改善(美化)活動」の 39.6%、次いで「収入のある仕事」が 20.7%となっています。それ以外の活動への参加はいずれも少なくなっています。

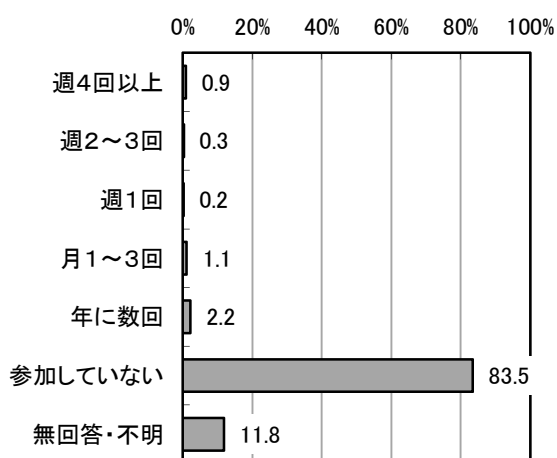
N=643 見守りが必要な高齢者を支援する活動



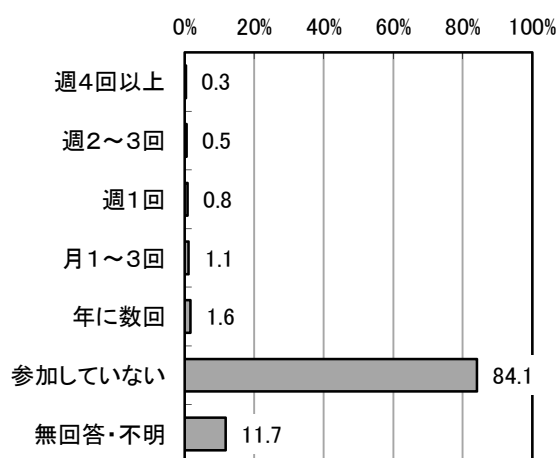
N=643 介護が必要な高齢者を支援する活動



N=643 子どもを育てている親を支援する活動

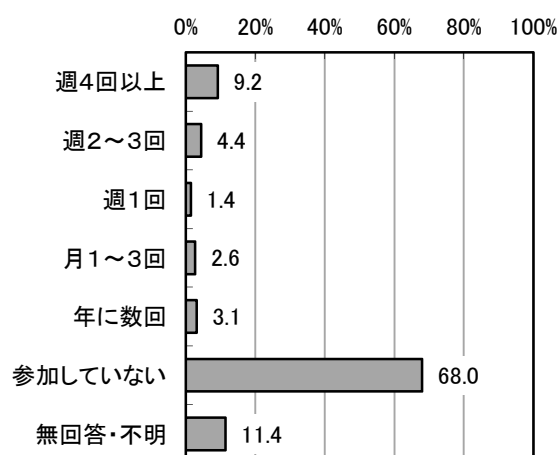


N=643 地域の生活環境の改善(美化)活動



N=643

### 収入のある仕事

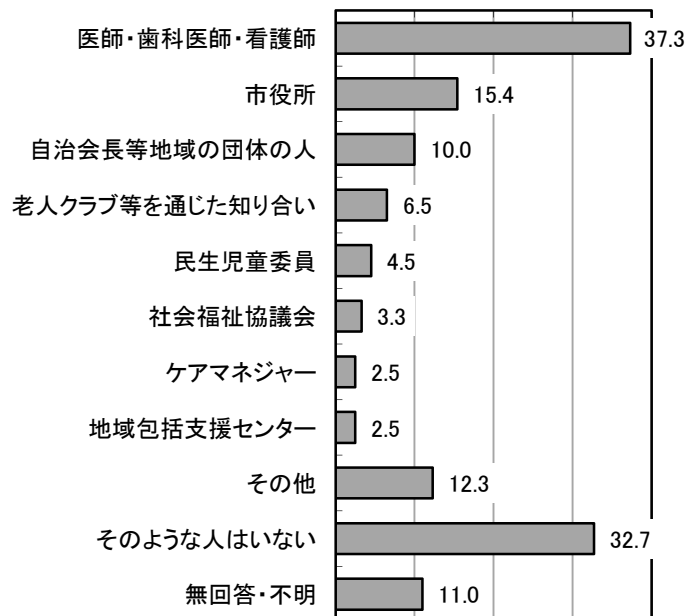


### (4) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手 (複数回答) (問 36)

家族や友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が 37.3%で最も多く、次いで「市役所」が 15.4%となっています。一方、「そのような人はいない」は 32.7%となっています。

N=643

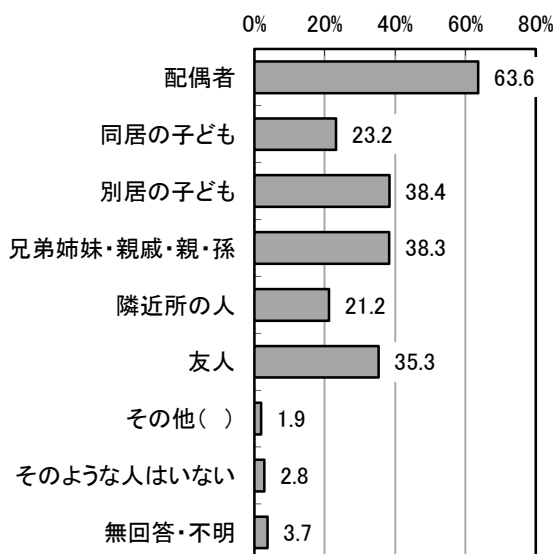
0% 10% 20% 30% 40%



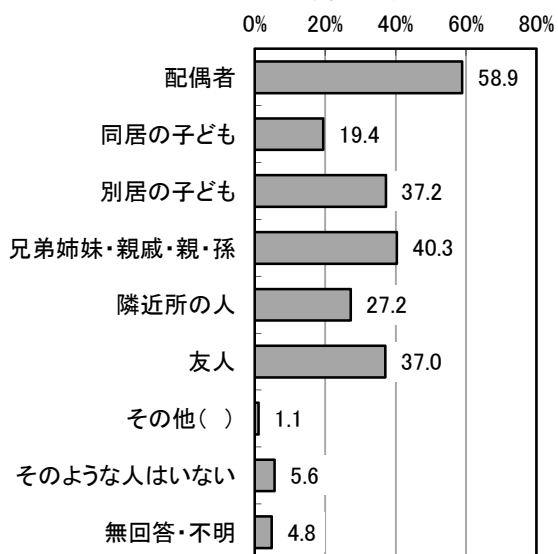
## (5)まわりの人との「たすけあい」について(問 37)

いずれの項目についても「配偶者」が6割前後で最も多くなっています。「心配ごとや愚痴」については聞いてくれる、聞いてあげるとともに「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」、が多くなっていますが、「看病や世話」については「友人」が少なくなり、「同居の子ども」がやや多くなっています。

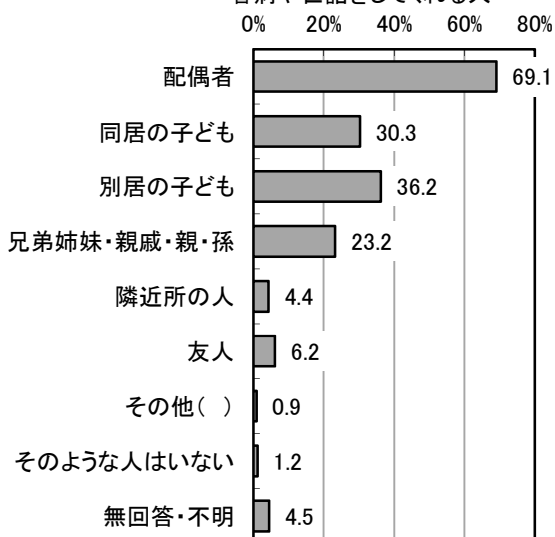
N=643 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人



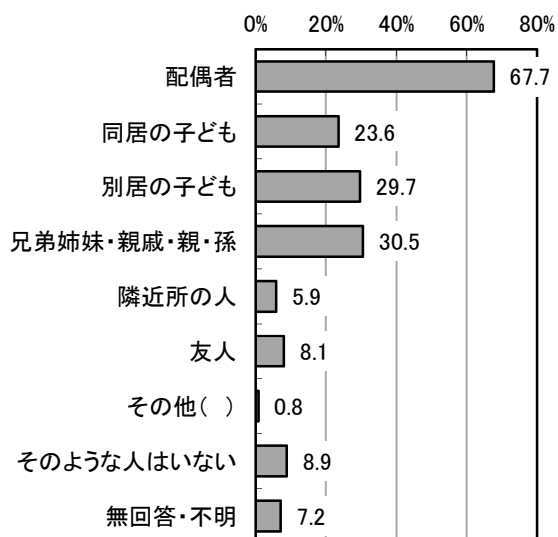
N=643 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人



N=643 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



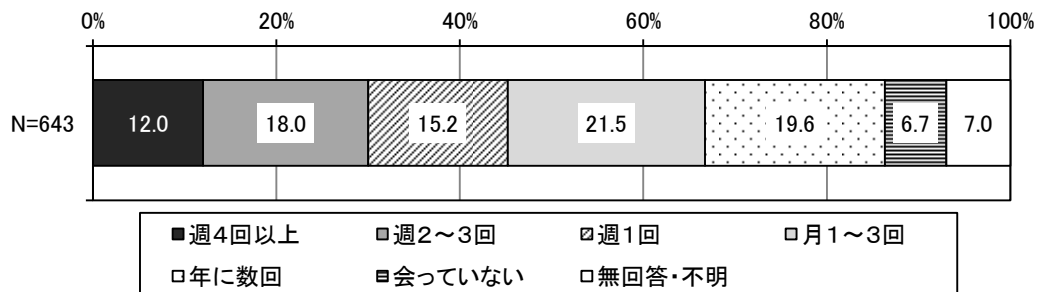
N=643 反対に、看病や世話をしてあげる人



## (6) 友人関係

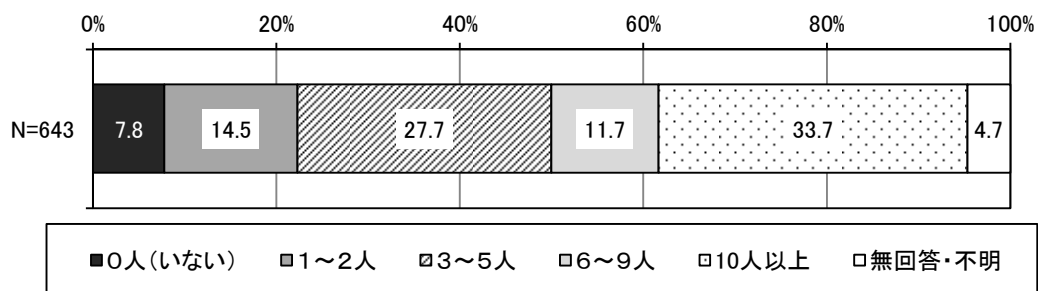
### ①友人・知人と会う頻度(問 38)

友人・知人と会う頻度については、「月1~3回」が21.5%で最も多く、次いで「年に数回」が19.6%となっています。週1回以上会うという回答は、合わせて45.2%になります。



### ②この1か月間に何人の友人・知人と会ったか(問 39)

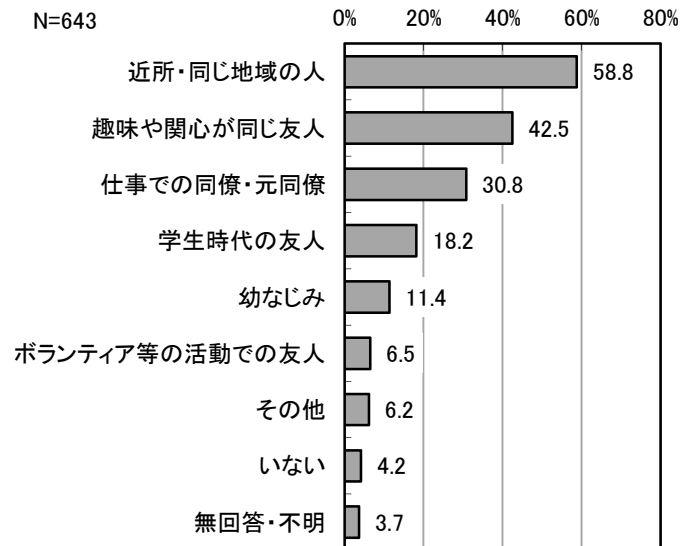
この1か月間に合った友人・知人の数では、「10人以上」が33.7%で最も多く、次いで「3~5人」が27.7%となっています。





### ③よく会う友人・知人はどんな関係の人か(複数回答)(問 40)

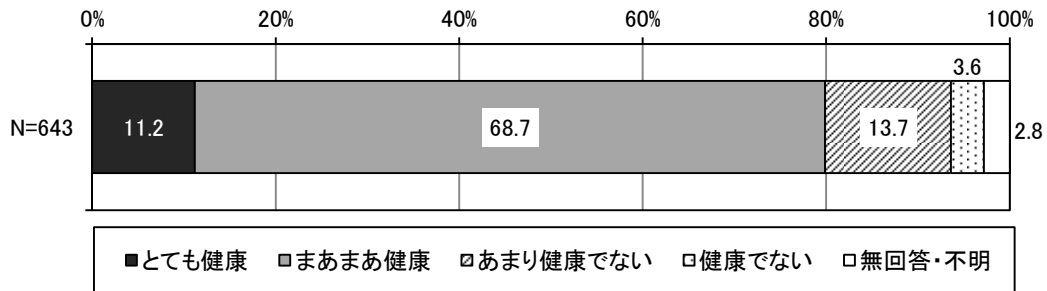
よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が 58.8%で最も多く、次いで「趣味や関心と同じ友人」が 42.5%となっています。



## 6. 健康状態について

### (1) 健康だと思うかどうか(問 41)

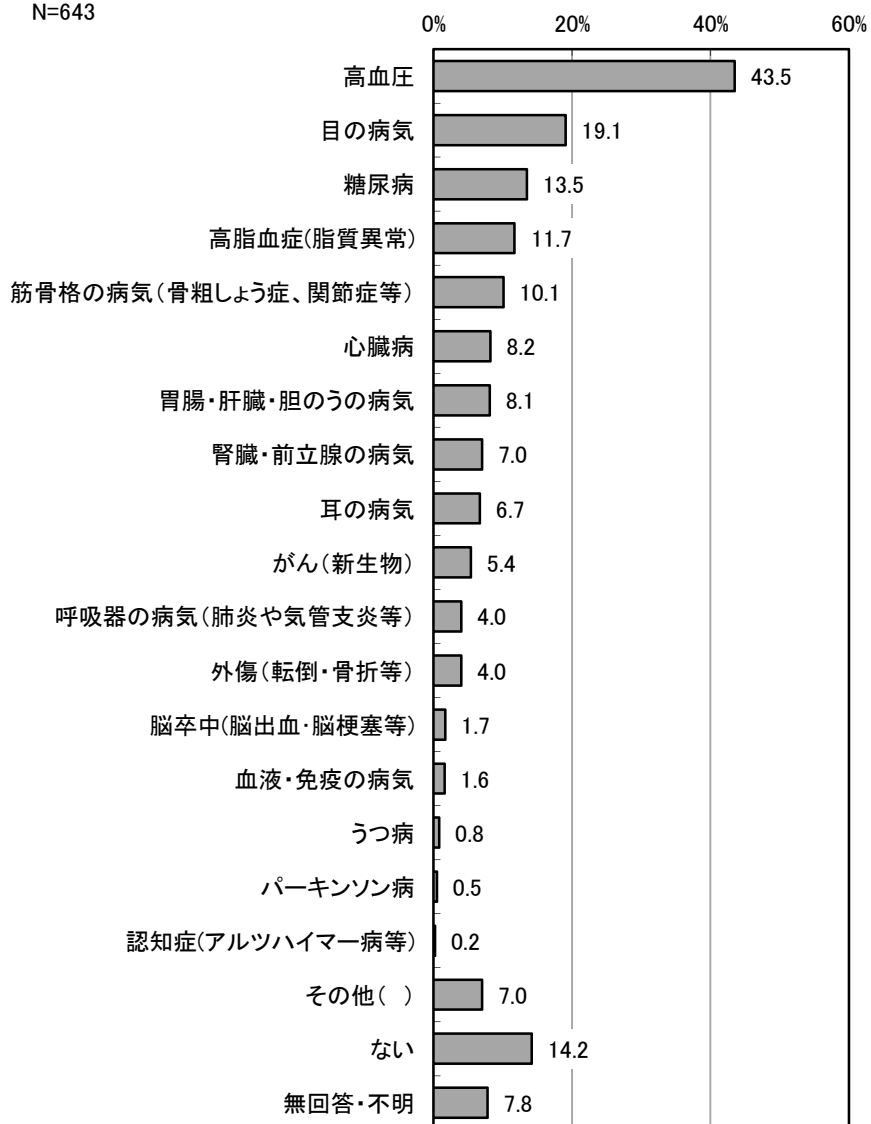
健康状態については、「とても健康」と「まあまあ健康」の合計が約8割となっています。一方、「あまり健康ではない」と「健康ではない」を合わせると17.3%です。



### (2) 現在治療中、または後遺症のある病気(複数回答)(問 42)

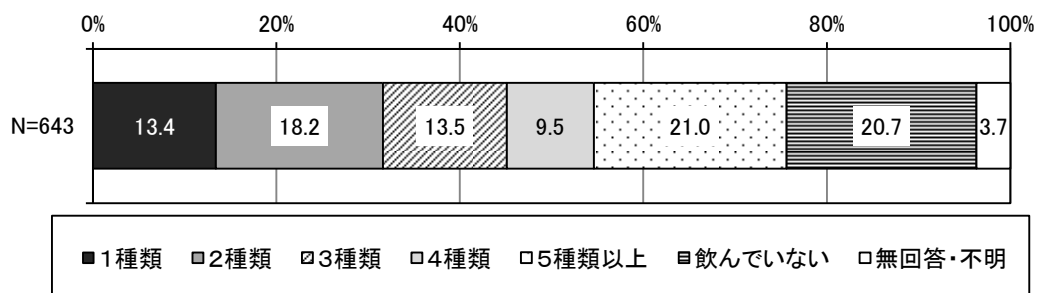
現在治療中、または後遺症のある病気としては「高血圧」が43.5%で特に多くなっています。次いで、「目の病気」、「糖尿病」、「高脂血症」、「筋骨格の病気」がそれぞれ1割台となっています。

N=643



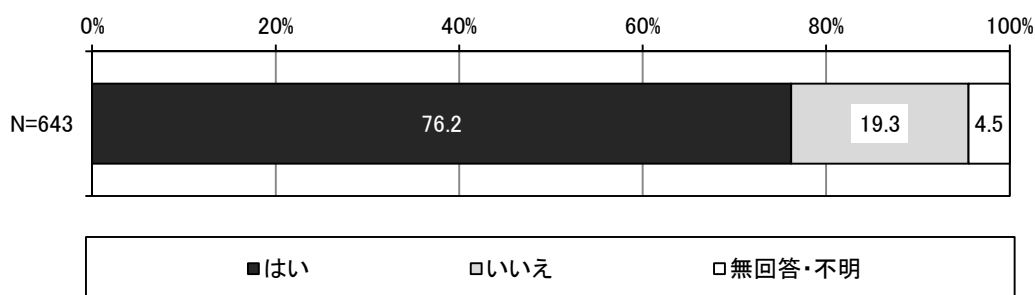
### (3) 現在医師の処方した薬を何種類飲んでいるか(問 43)

現在飲んでいる薬の種類については、「5種類以上」が 21.0%で最も多く、次いで「飲んでいない」が 20.7%となっています。全体の 75.6%が1種類以上の薬を飲んでいきます。



#### (4) 現在通院しているかどうか(問 44)

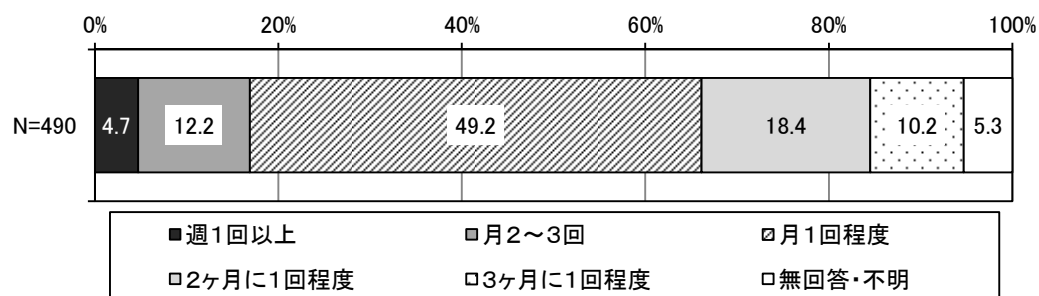
通院については、76.2%がしていると回答しています。



#### 【通院している回答者のみ】

##### ①通院の頻度(問 45)

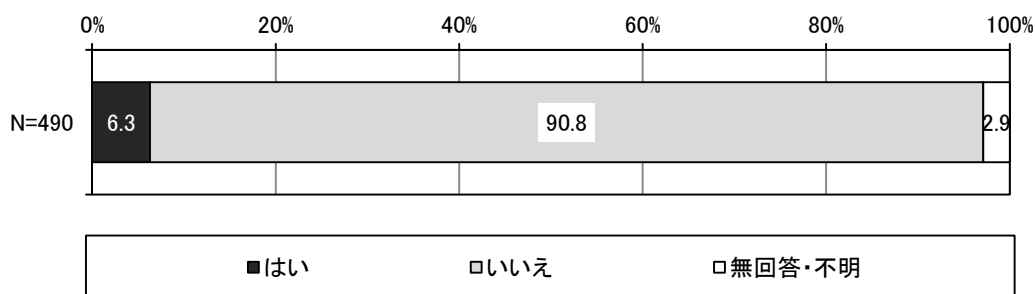
通院の頻度については、「月1回程度」が 49.2%で最も多く、次いで「2か月に1回程度」が 18.4%となっています。



#### 【通院している回答者のみ】

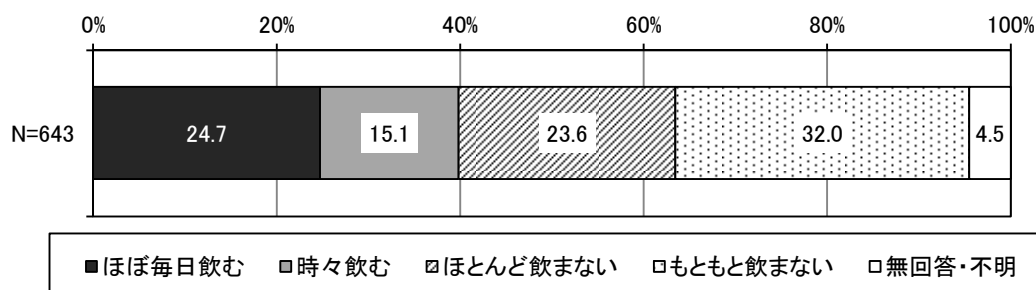
##### ②通院に介助が必要かどうか(問 46)

通院に介助が必要かどうかについては、6.3%が必要だと回答しています。



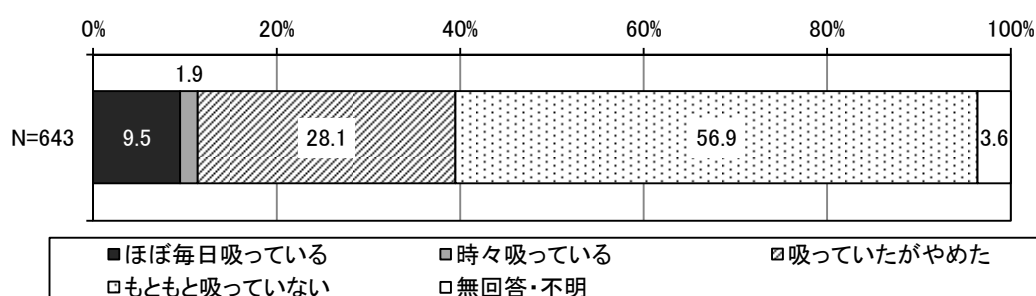
### (5) 飲酒(問 48)

飲酒については、「もともと飲まない」が 32.0%、「ほとんど飲まない」と合わせると全体の 55.6% が飲酒をしていないと回答しています。



### (6) 喫煙(問 49)

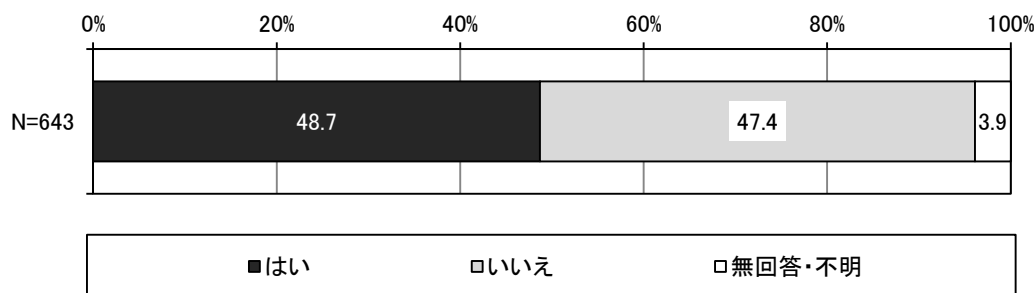
喫煙については、「もともと吸っていない」が 56.9%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 28.1%となっています。現在喫煙しているのは 11.4%です。



## 7. 介護・高齢者福祉について

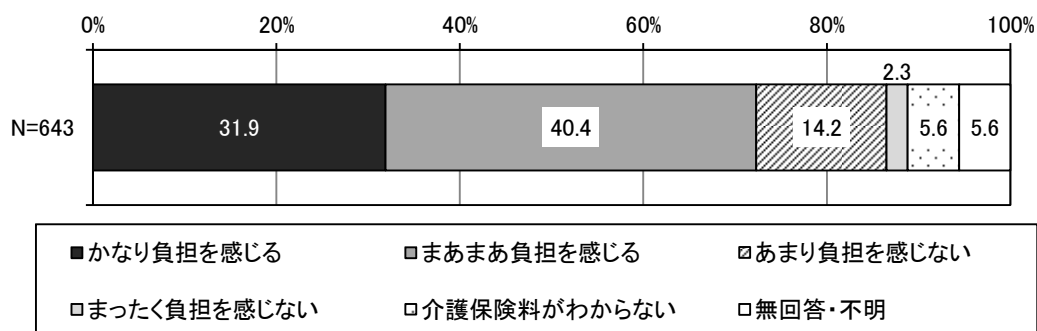
### (1) 家族介護の経験(問 50)

家族などの介護をした経験については、全体の約半数があると回答しています。



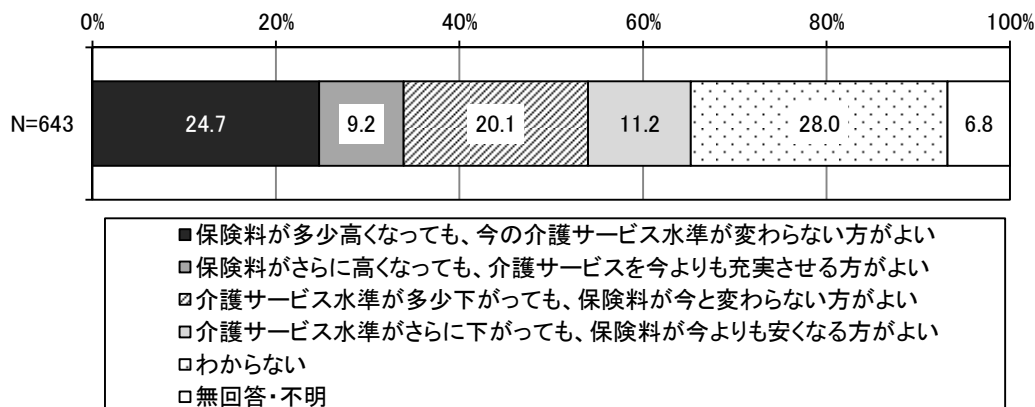
### (2) 現在の介護保険料の負担について(問 51)

現在の介護保険料の負担については、負担を感じないという回答(「あまり負担を感じない」と「まったく負担を感じない」の合計)が 16.5%であるのに対し、負担を感じるという回答(「かなり負担を感じる」と「まあまあ負担を感じる」の合計)は 72.3%となっています。



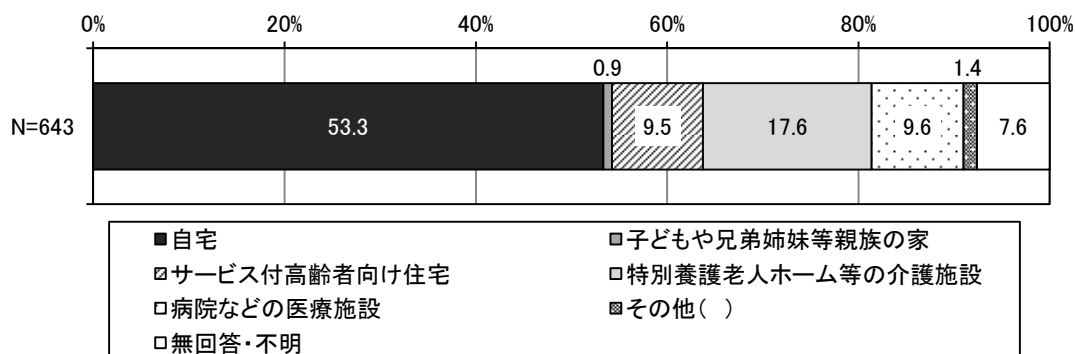
### (3) これからの介護保険料の負担と介護サービスについて(問 52)

これからの介護保険料の負担と介護サービスについては、「わからない」を除くと「保険料が多少高くなっても、今の介護サービス水準が変わらない方がよい」が 24.7%で最も多く、次いで「介護サービス水準が多少下がっても、保険料が今と変わらない方がよい」が 20.1%となっています。全体として、介護サービスの充実よりも、保険料負担が増加しないことを求める回答が多くなっています。



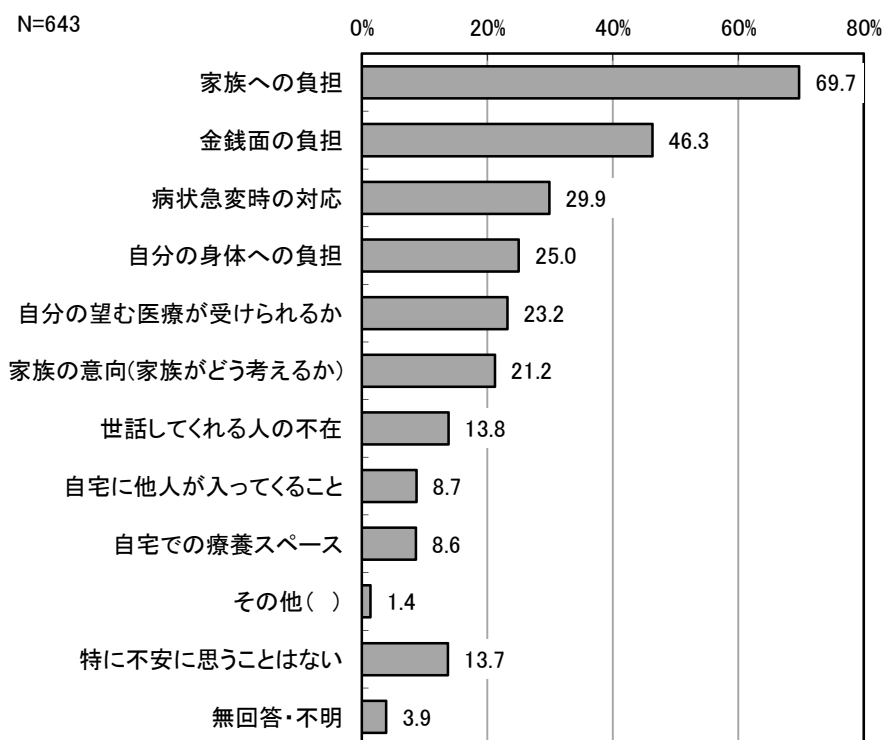
### (4) 自分に介護・介助が必要になった時にどこで過ごしたいか(問 55)

自分自身に介護・介助が必要になった時に過ごしたい場所については、「自宅」が 53.3%で最も多くなっています。自宅以外では、「特別養護老人ホーム等の介護施設」が 17.6%と多くなっています。



### (5)介護・介助・医療上の療養を在宅で受ける場合に不安を感じること (複数回答)(問 56)

介護・介助に加えて医療上の療養が必要となった場合、在宅で療養するうえで不安を感じることに  
ついては、「家族への負担」が 69.7%で最も多く、次いで「金銭面の負担」が 46.3%となっています。  
「特に不安に思うことはない」は 13.7%にとどまっています。

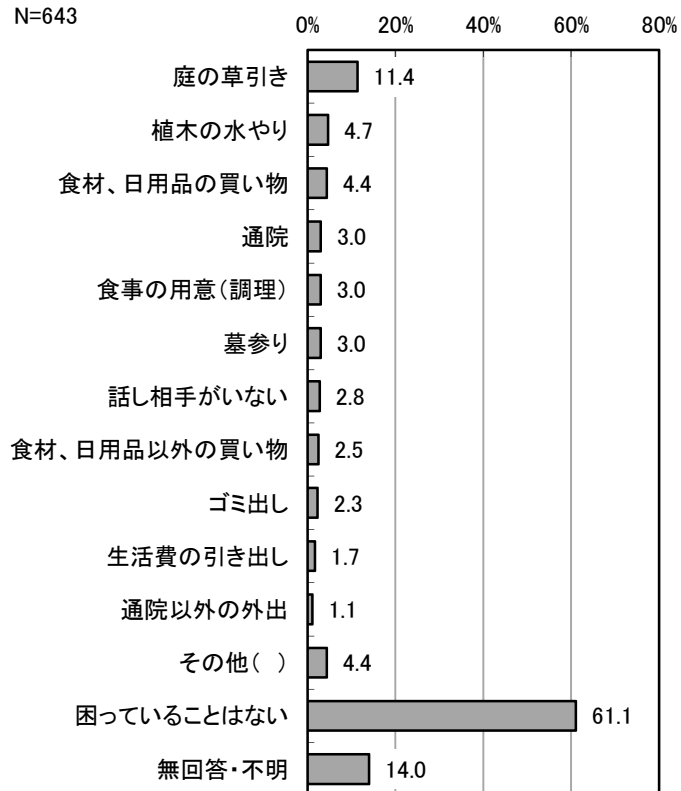




## 8. その他

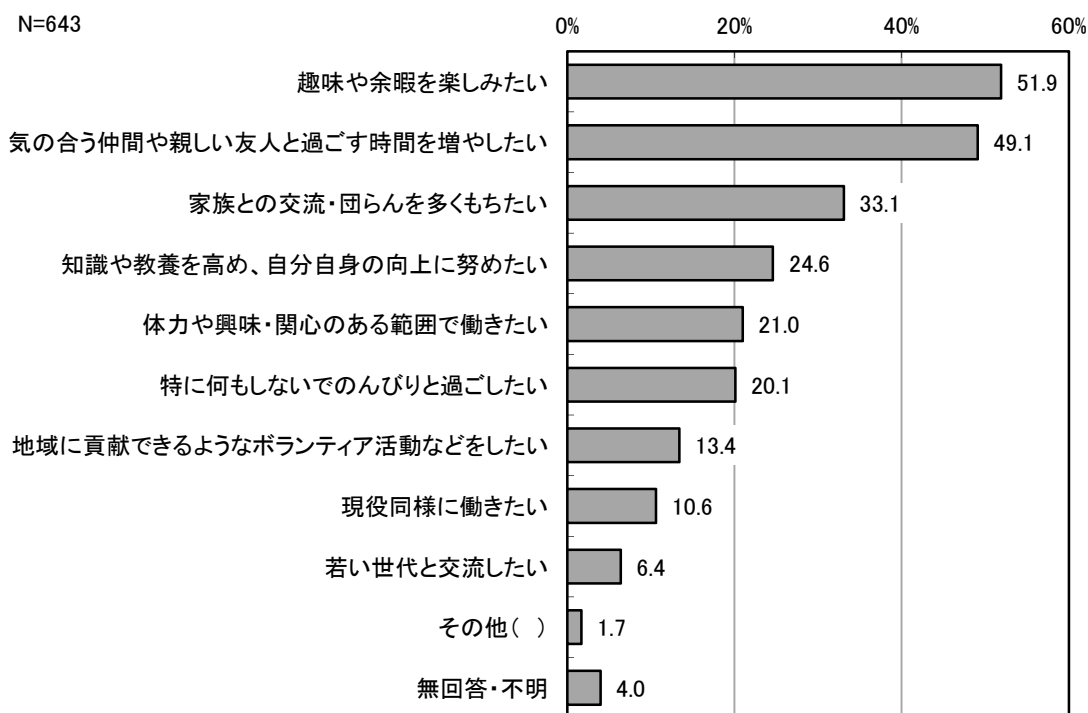
### (1) 日常生活で困っていること(複数回答)(問 53)

日常生活で困っていることについては、「困っていることはない」が 61.1%で最も多くなっています。困っている内容では、「庭の草引き」が 11.4%で最も多くなっています。



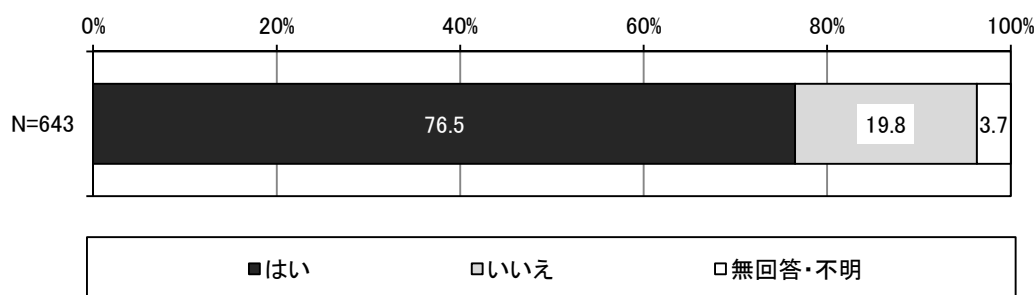
## (2) これからの人生をどのように過ごしたいか(複数回答)(問 54)

これからの人生をどのように過ごしたいかについては、「趣味や余暇を楽しみたい」が 51.9%で最も多く、次いで「気の合う仲間や親しい友人と過ごす時間を増やしたい」が 49.1%となっています。「ボランティア活動」、「若い世代との交流」については、回答が少なくなっています。



## (3) 災害時の避難場所を知っているか(問 57)

災害時の避難場所については、76.5%が知っていると回答しています。

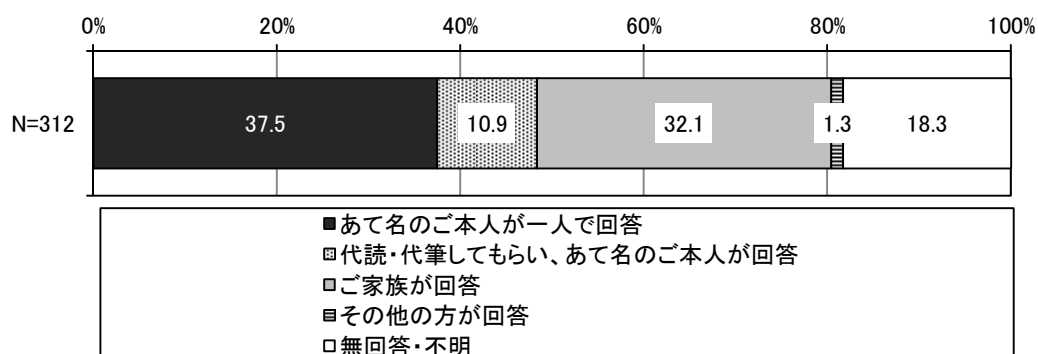


### **Ⅲ. 軽度認定者調査結果**

---

### (1) 調査票の回答者(問1)

回答者については、「調査対象者本人が一人で回答」が 37.5%で最も多く、次いで、「家族が回答」が 32.1%、「代読・代筆による本人の回答」が 10.9%となっています。本人による回答は全体の約半数となっています。



## 1. 調査対象者自身や家族について

### (1) 性別・年齢・要介護度・居住小学校区

調査対象者の属性について、性別は男性 25.3%、女性 71.8%と、女性が回答者の3分の2以上を占めています。

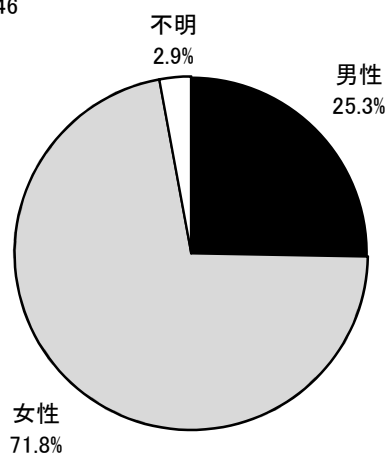
年齢は「85歳以上」が41.3%で最も多く、次いで「80～84歳」が25.0%となっています。75歳以上の回答者が全体の81.0%を占めています。

要介護度については、要支援1と2がそれぞれ3割台、要介護1と2がそれぞれ1割台となっています。本来、「要介護2」までの人が調査対象でしたが、調査対象者確定時点以降に要介護度の再認定を受けた回答者があつたためか、要介護3以上の回答者も若干含まれています。

居住小学校区は「磐城」が28.8%で最も多く、次いで「新庄」が26.3%となっています。

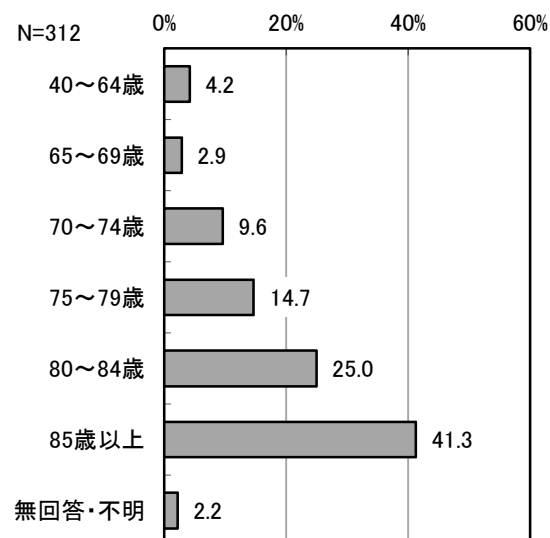
#### 性別

N=346

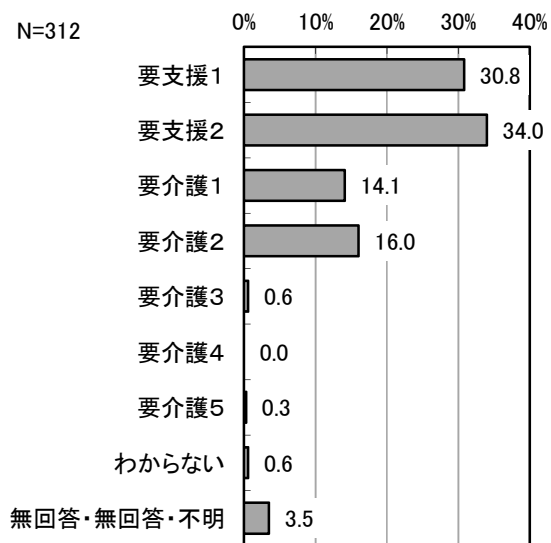


#### 年齢

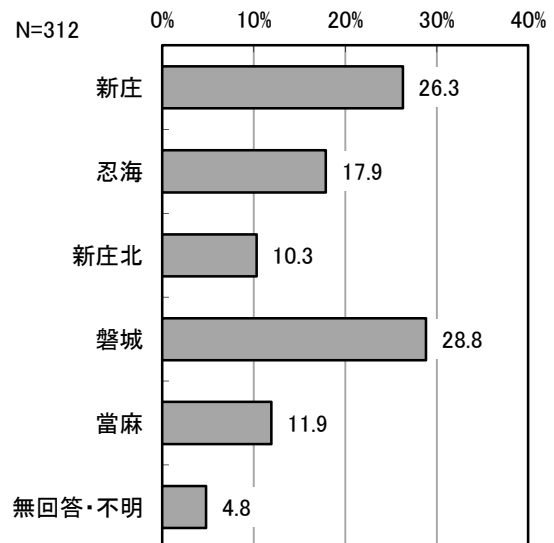
N=312



## 要介護度

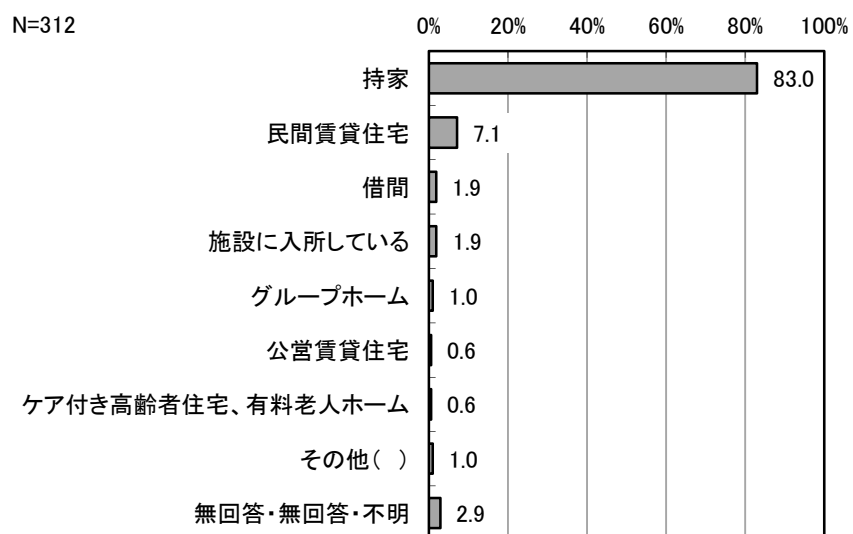


## 居住地区



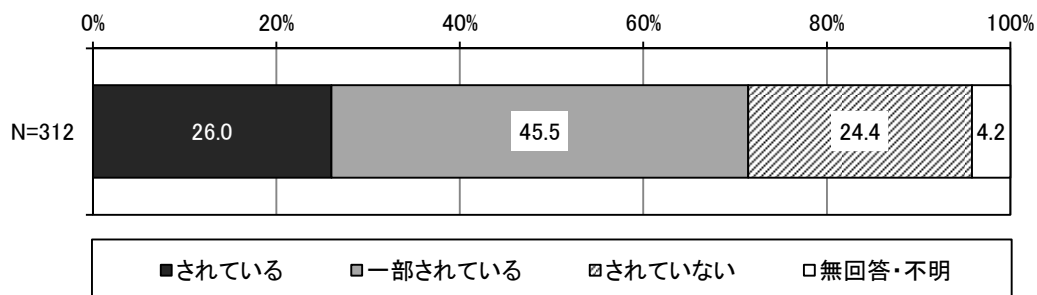
## (2) 住まい(問6)

住まいについては「持家」が 83.0%、賃貸住宅・借間は合わせて 9.6%、施設・グループホーム等の入所は合わせて 3.5%となっています。



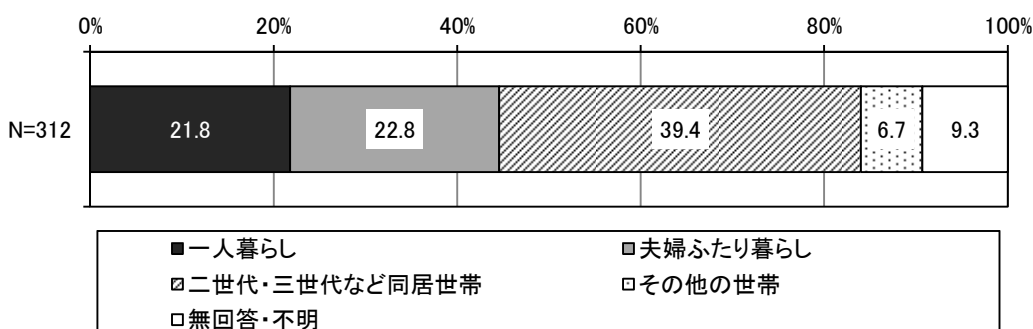
### (3) 住まいのバリアフリー化の有無(問7)

住まいのバリアフリー化については、「されている」が 26.0%、「一部されている」の 45.5%と合わせると約7割の回答者の住まいでは何らかのバリアフリー化がなされています。



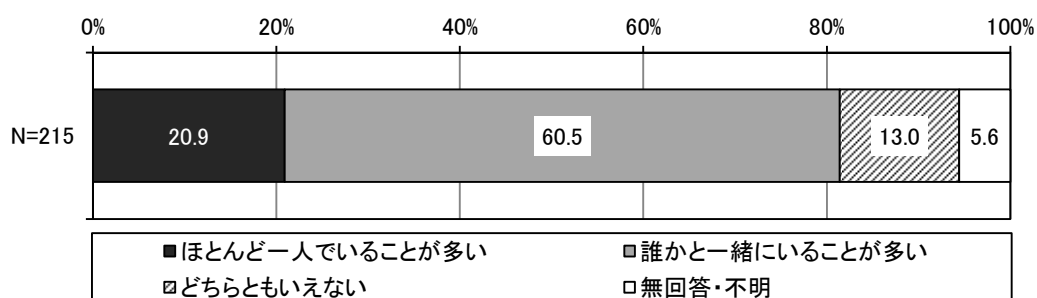
### (4) 家族構成(問8)

調査対象者の家族構成をみると、「二世帯・三世帯など同居世帯」が 39.4%で最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし」が 22.8%、「一人暮らし」が 21.8%となっています。



### (5) 昼間一人でいること(問9)

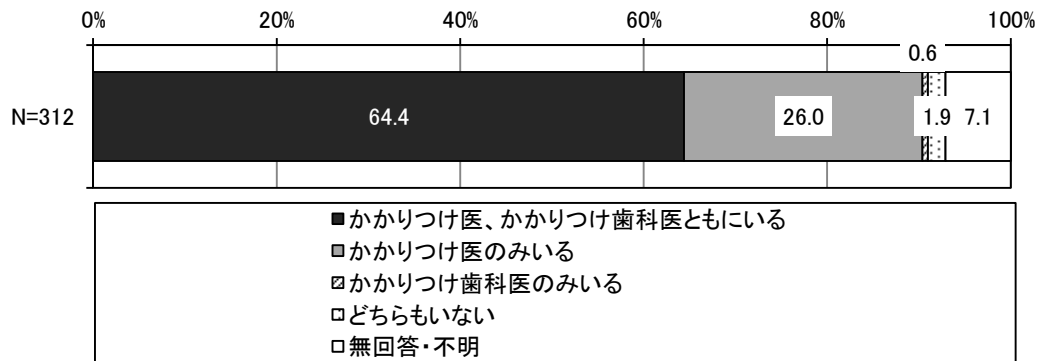
一人暮らし以外の家庭について、調査対象者が一人でいることが多いかどうかについては、「ほとんど一人でいることが多い」が 20.9%、「誰かと一緒にいることが多い」は 60.5%となっています。



## 2. 健康について

### (1) かかりつけ医・かかりつけ歯科医の有無 (問 10)

かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともにいる」が 64.4%と最も多く、「かかりつけ医のみいる」は 26.8%となっており、全体の 9 割はかかりつけ医をもっています。

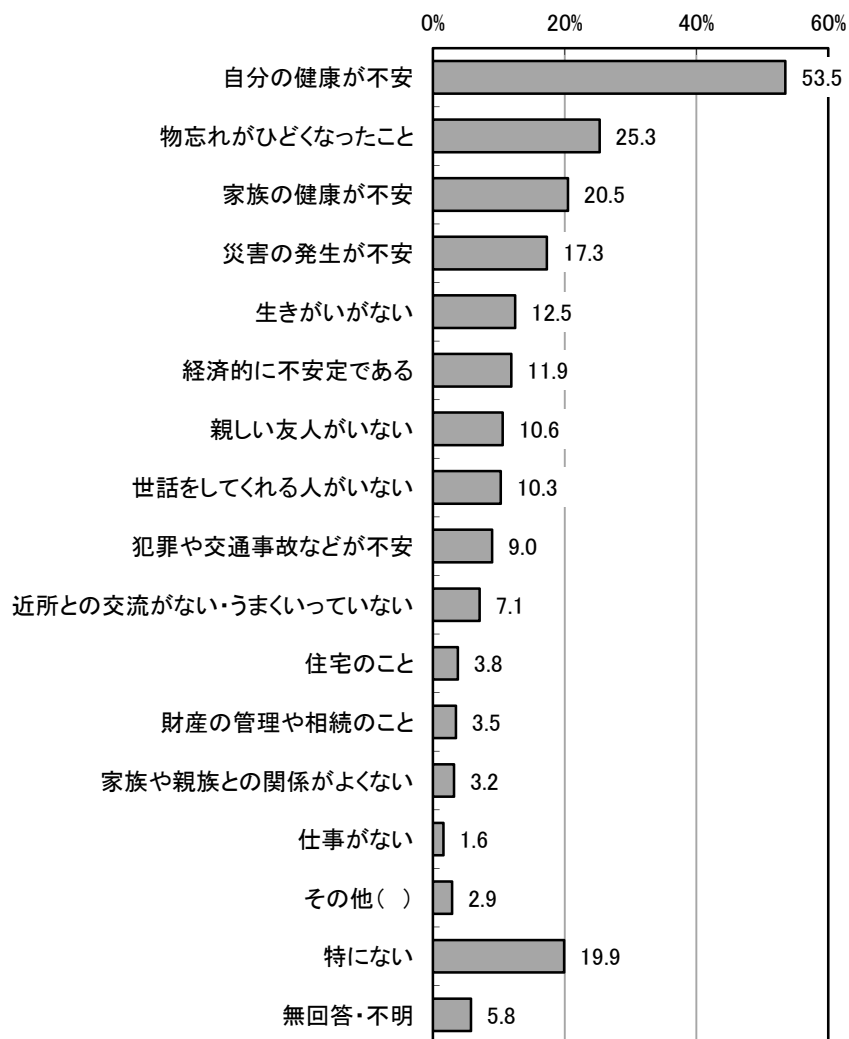




## (2)生活をしていく上での悩みや心配事(複数回答)(問 11)

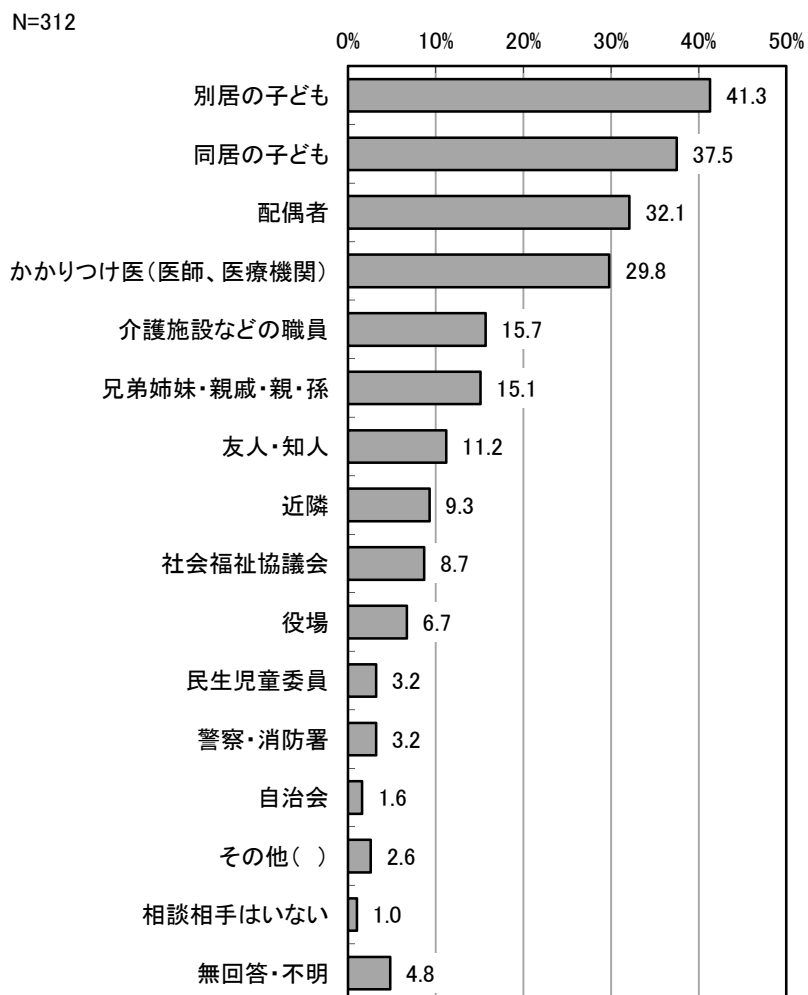
現在の悩みや心配ごととしては、「自分の健康が不安」が 53.5%で最も多く、次いで「物忘れがひどくなったこと」が 25.3%、「家族の健康が不安」が 20.5%となっています。

N=312



### (3) 悩みや心配事を相談する相手(複数回答)(問 12)

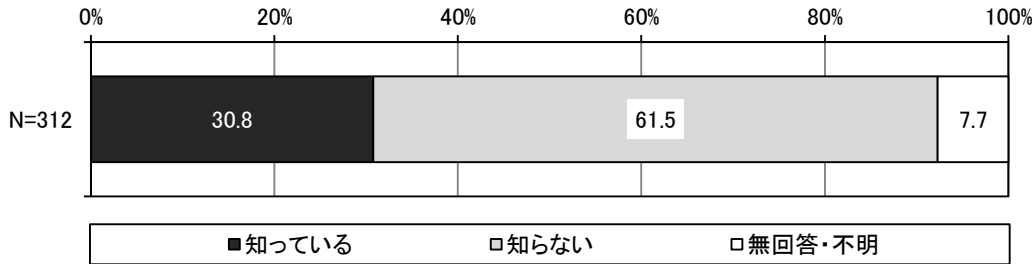
悩みや心配ごとの相談相手としては、「別居の子ども」が 41.3%で最も多く、次いで「同居の子ども」が 37.5%、「配偶者」が 32.1%となっています。



### 3. 認知症についてお答えください

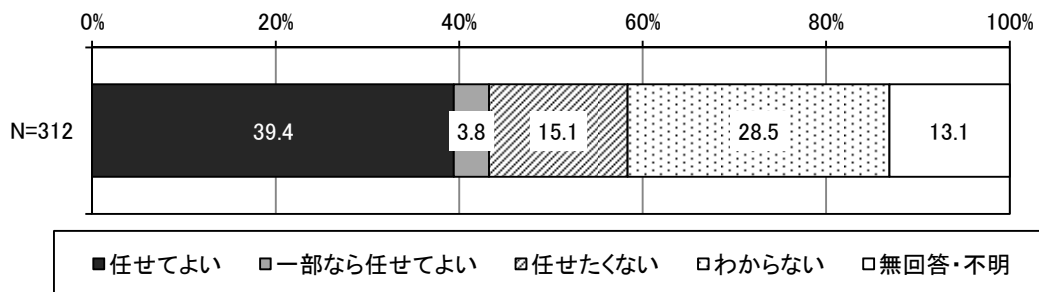
#### (1) 認知症専門の医療機関を知っているか(問 13)

認知症専門の医療機関については「知っている」が 30.8%、「知らない」が 61.5%となっています。



#### (2) 「成年後見人」に財産管理などを任せることについてどう思うか(問 14)

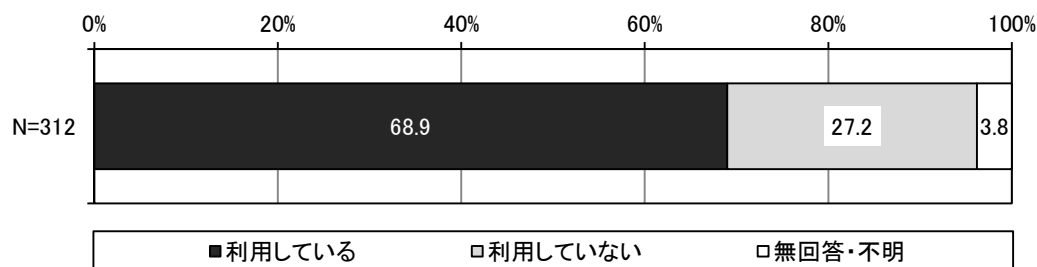
成年後見制度の利用については、「任せてよい」が 39.4%、「任せたくない」は 15.1%となっています。また、「わからない」が 28.5%となっています。



## 4. 介護保険サービスの利用状況

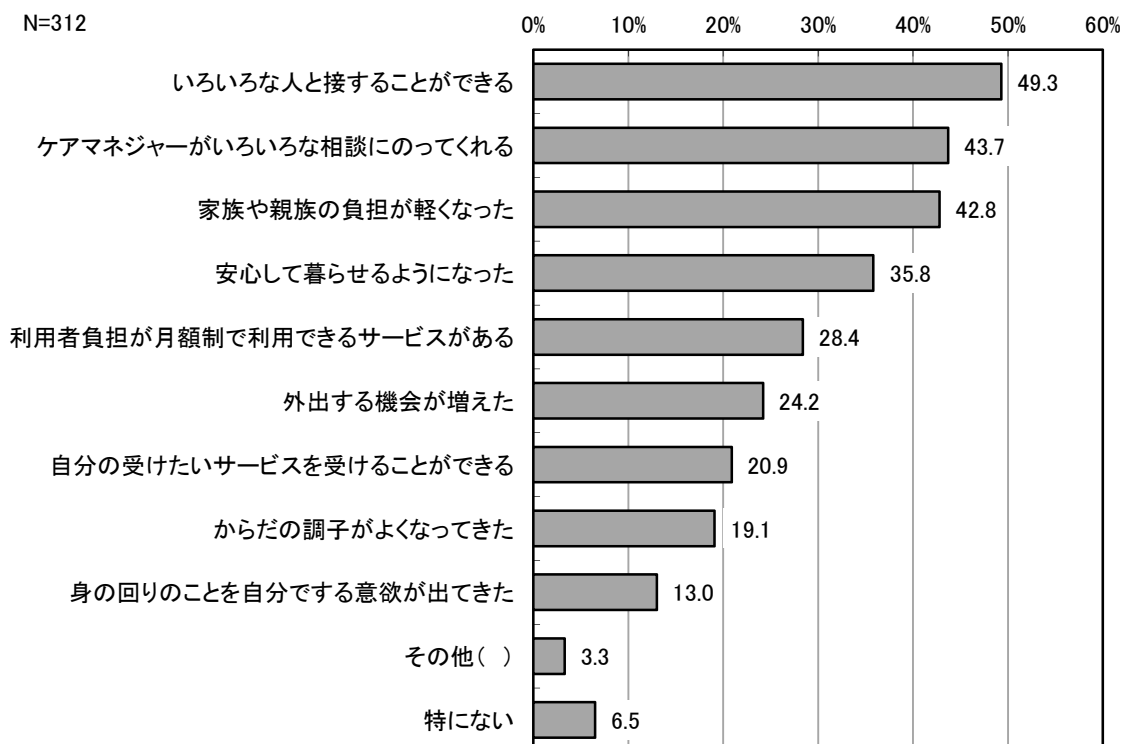
### (1) 介護保険サービスの利用の有無(問 15)

介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が 68.9%、「利用していない」が 27.2%となっています。



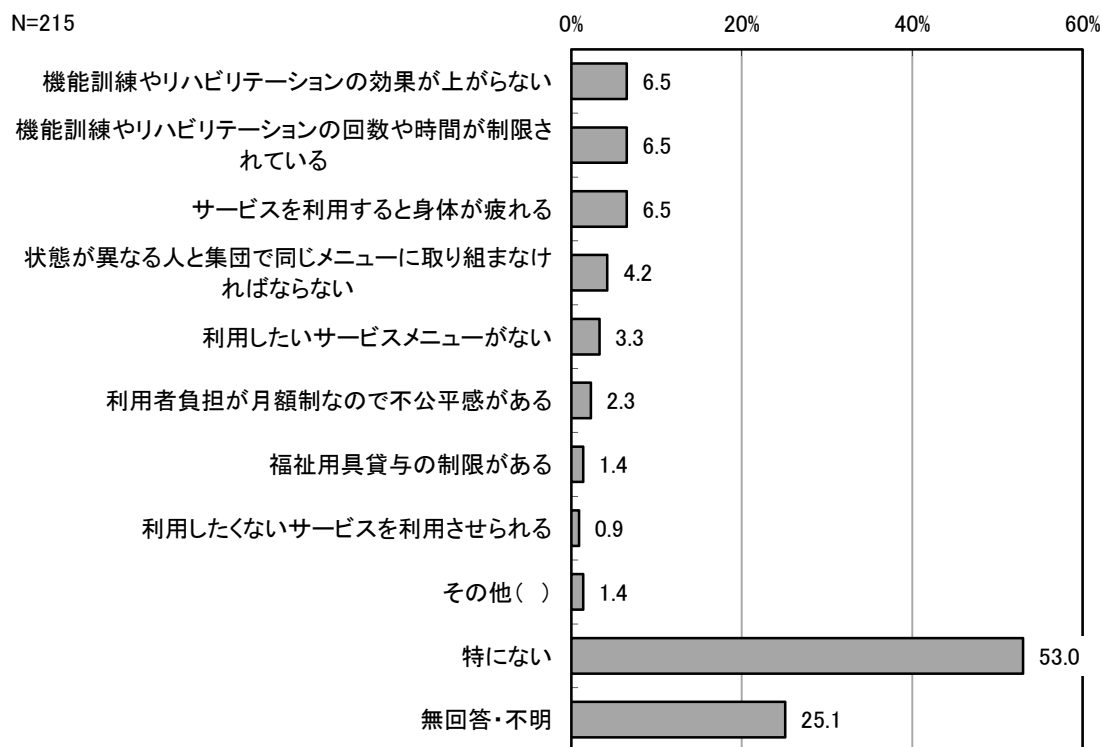
### (2) 介護保険サービスを利用するようになってよかったこと(複数回答)(問 16)

「いろいろな人と接することができる」が 49.3%で最も多く、次いで「ケアマネジャーがいろいろな相談にのってくれる」が 43.7%、「家族や親族の負担が軽くなった」が 42.8%となっています。



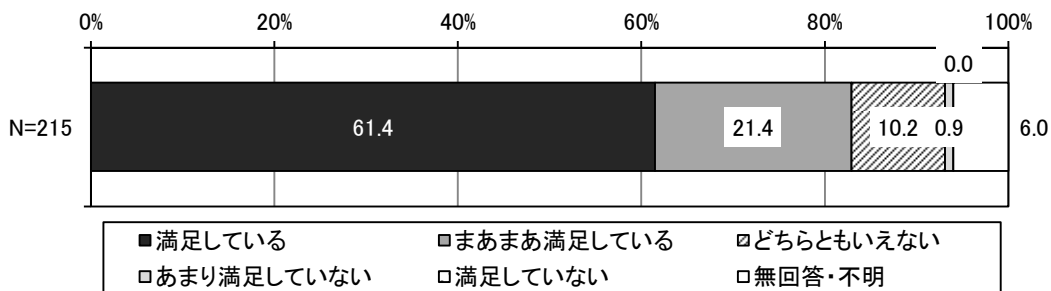
### (3) サービスを利用していることで、困ったり不満に思ったりしていること (複数回答) (問 17)

困ったり不満に思ったりしていることについては、「特にない」が 53.0%で最も多くなっています。不満のある項目については、いずれも1割未満の回答となっています。



### (4) 介護支援専門員(ケアマネジャー)の対応の満足度(問 18)

ケアマネジャーの対応については、「満足している」が 61.4%、「おおむね満足している」が 21.4%で、サービス利用者の約8割は満足していると回答しています。一方「あまり満足していない」と「満足していない」は合計で1%未満となっています。



**【ケアマネジャーの対応に不満がある回答者のみ】**

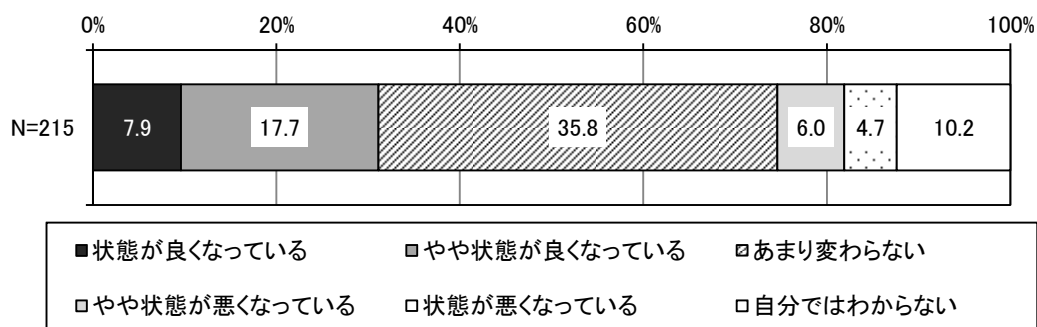
**(5) どのようなことに不満があるか(複数回答)(問 19)**

前問で不満があるという回答が少なかったため、ごく少数の回答となっていますが、その中では「質問しても、回答や説明が十分でない」、「ケアプランを作成する際、本人や家族の意向があまり反映されない」が、それぞれ3件ずつ回答されています。

	N=8	
	件数	%
質問しても、回答や説明が十分でない	3	37.5
ケアプランを作成する際、本人や家族の意向があまり反映されない	3	37.5
ケアマネジャーに連絡がつきにくい	2	25.0
日頃不安に思っていることなどについて、あまり相談にのってくれない	2	25.0
言葉づかいなどの対応が悪い	2	25.0
ケアプラン(サービス計画)を作成するための専門的な知識や経験が不足している	1	12.5
介護保険制度に関する知識が不足している	1	12.5
訪問されたり、電話での状況を確認したりすることがあまりない	1	12.5
介護保険制度以外の福祉サービスに関する知識が不足している	0	0.0
いつも決まった事業者などのサービスの利用をすすめられる	0	0.0
ケアマネジャーがよく変わる	0	0.0
その他	2	25.0
不明・無回答	0	0.0

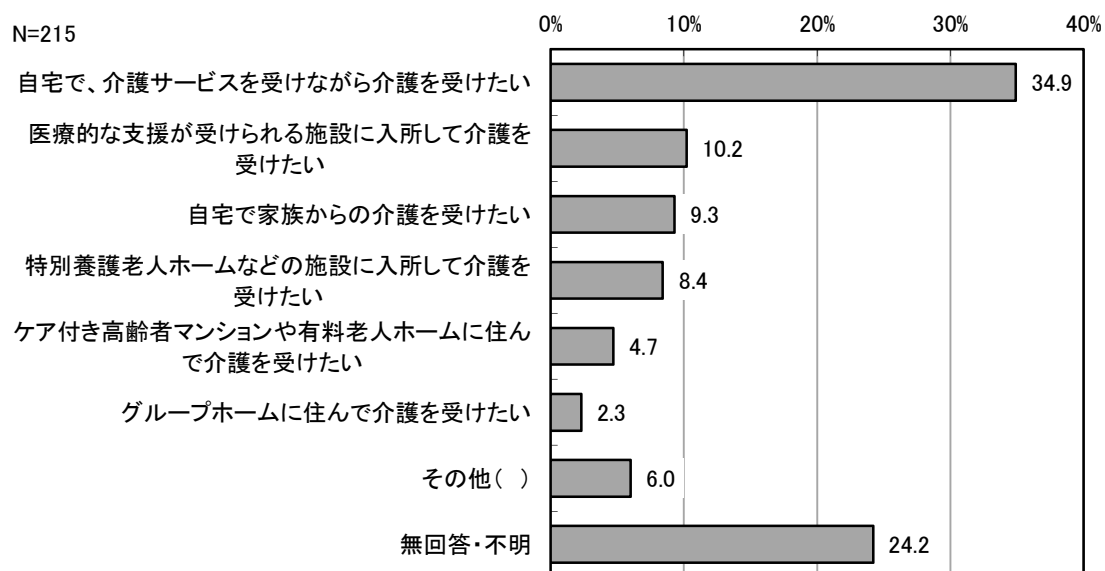
**(6) 今のサービスによって、身体や認知症の状態が1年前よりも良くなっていると感じるか(問 20)**

介護保険サービスによる状態の改善については、「あまり変わらない」が 35.8%で最も多くなっています。良くなっているという回答(「状態がよくなっている」と「やや状態がよくなっている」の合計)は25.6%で、悪くなっているという回答(「状態が悪くなっている」と「やや状態が悪くなっている」の合計)の10.7%を上回っています。



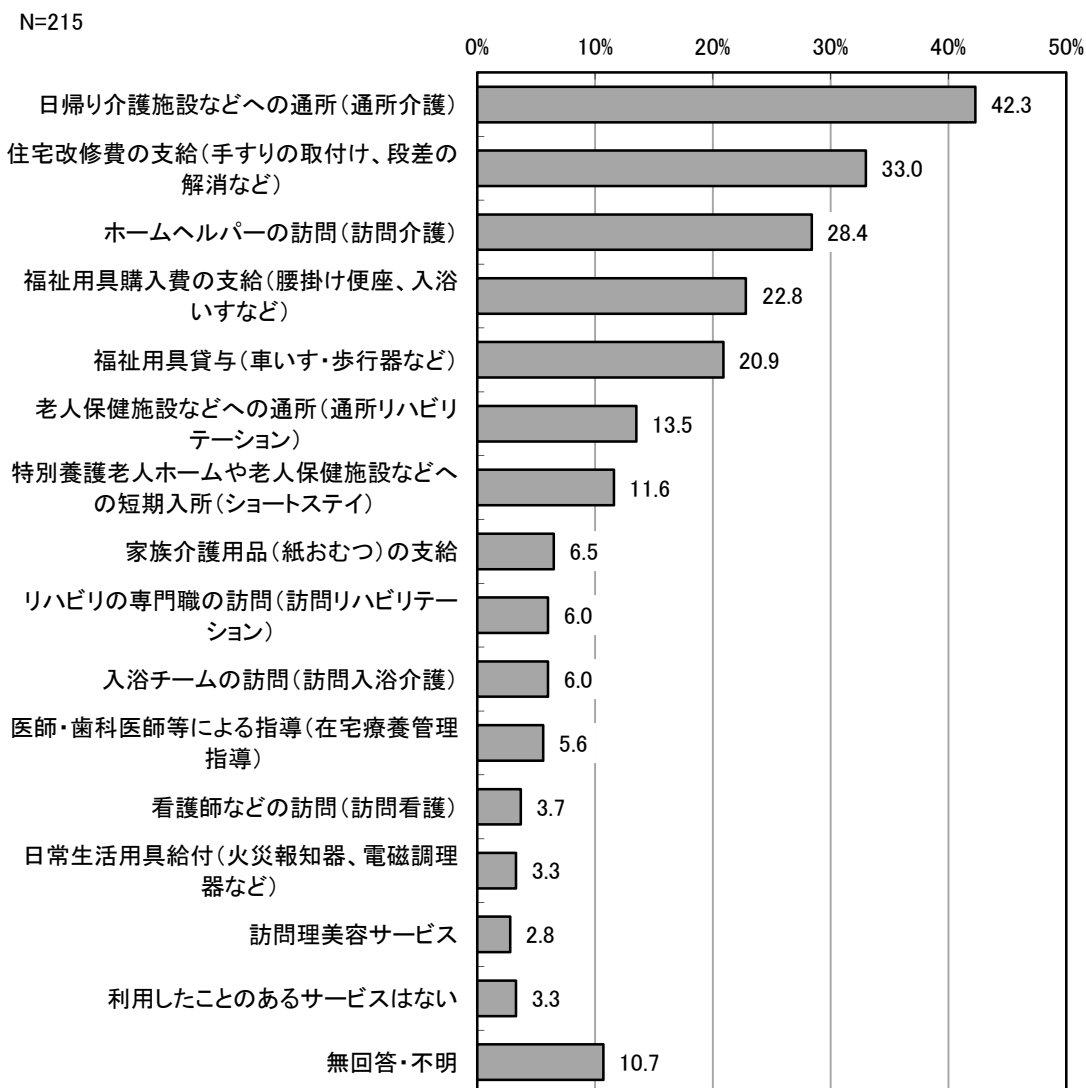
## (7) 希望する今後の介護(問 21)

今後の介護の希望については、「自宅で、介護サービスを受けながら介護を受けたい」が 34.9%で最も多くなっています。「自宅で家族からの介護を受けたい」と合わせると、44.2%が自宅での介護を希望しています。



## (8) これまでに利用したことのある介護保険サービス(複数回答)(問 22)

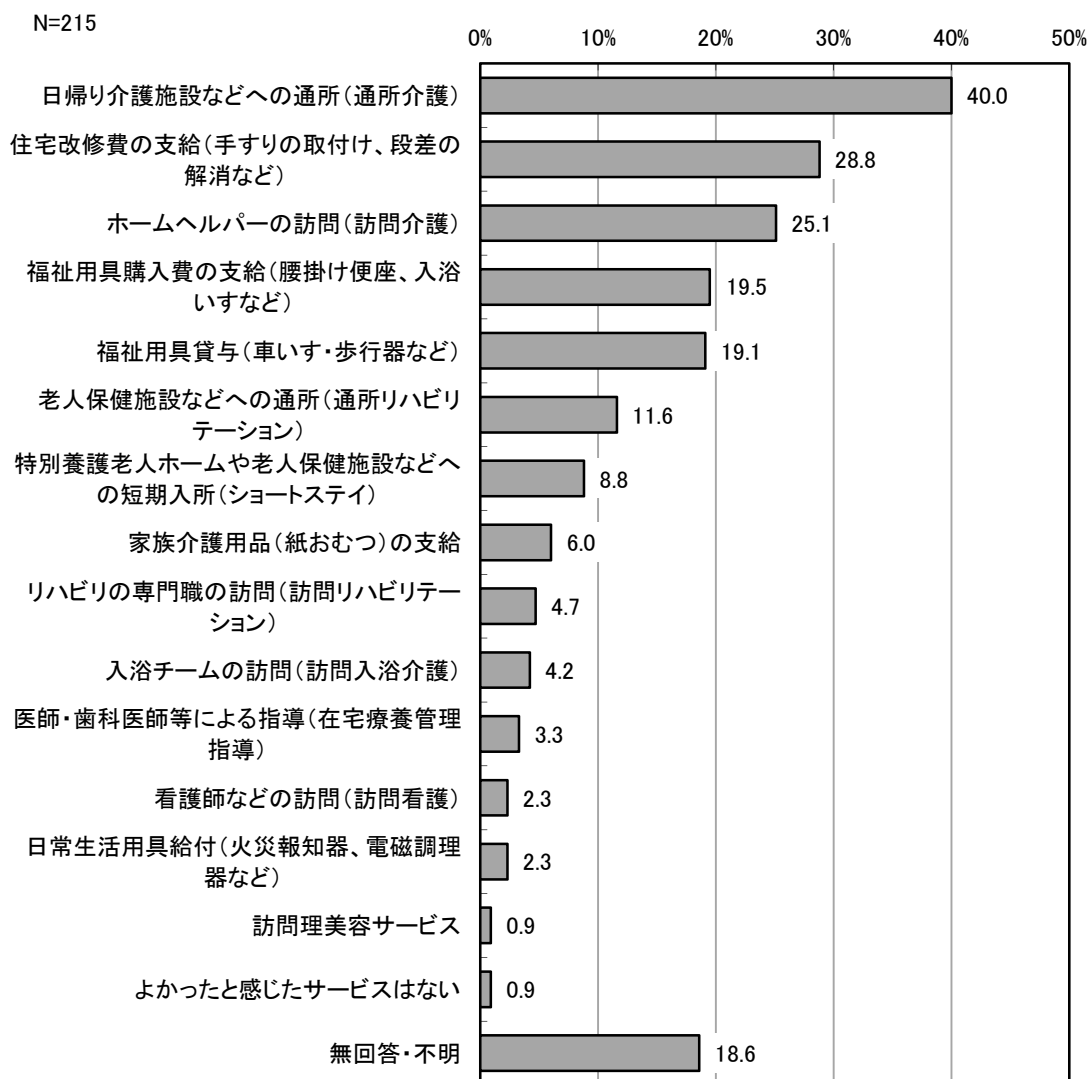
これまでに利用したことのあるサービスについては、「日帰り介護施設などへの通所」が 42.3%で最も多く、次いで「住宅改修費の支給」が 33.0%、「ホームヘルパーの訪問」が 28.4%となっています。





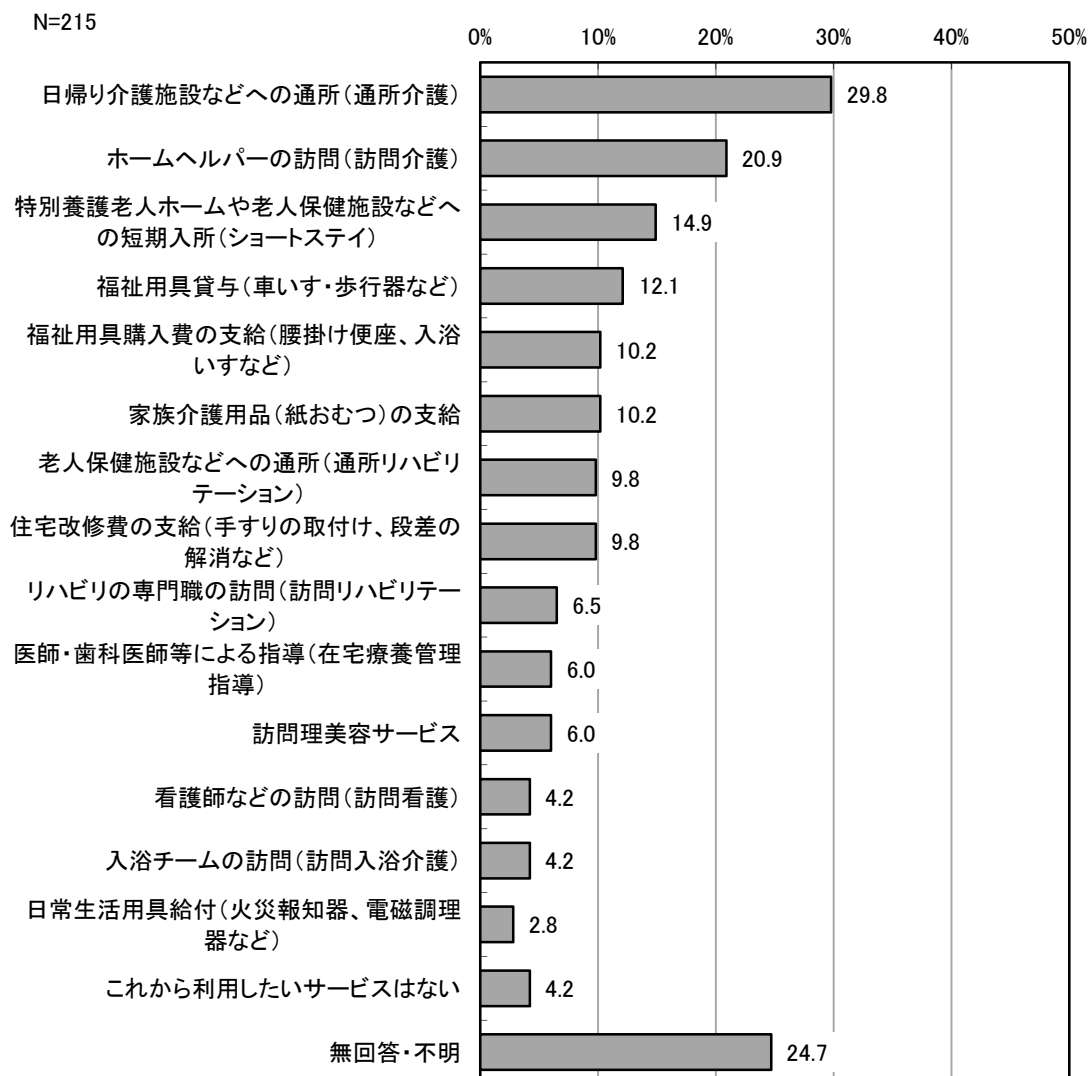
### (9)利用してよかったと感じたサービス(複数回答)(問 23)

利用してよかったと感じたサービスについては、これまでに利用したことのあるサービスと同様に、「日帰り介護施設などへの通所」、「住宅改修費の支給」、「ホームヘルパーの訪問」が多くなっています。



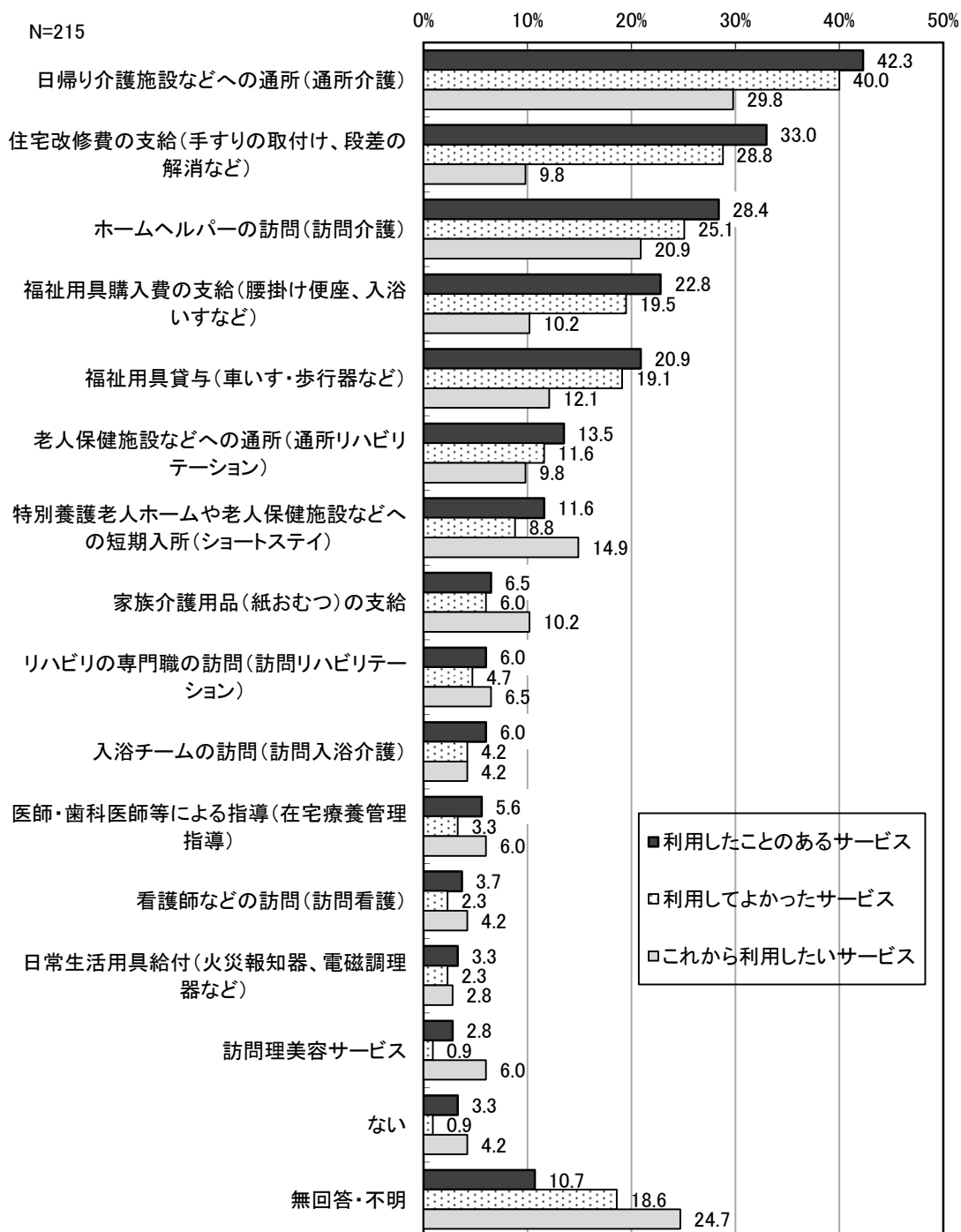
## (10)これから利用したいサービス(複数回答)(問 24)

これから利用したいサービスについては、「日帰り介護施設などへの通所」が29.8%で最も多く、次いで「ホームヘルパーの訪問」が20.9%となっています。



## (11) サービスの利用・評価・利用意向の比較(問 22~24)

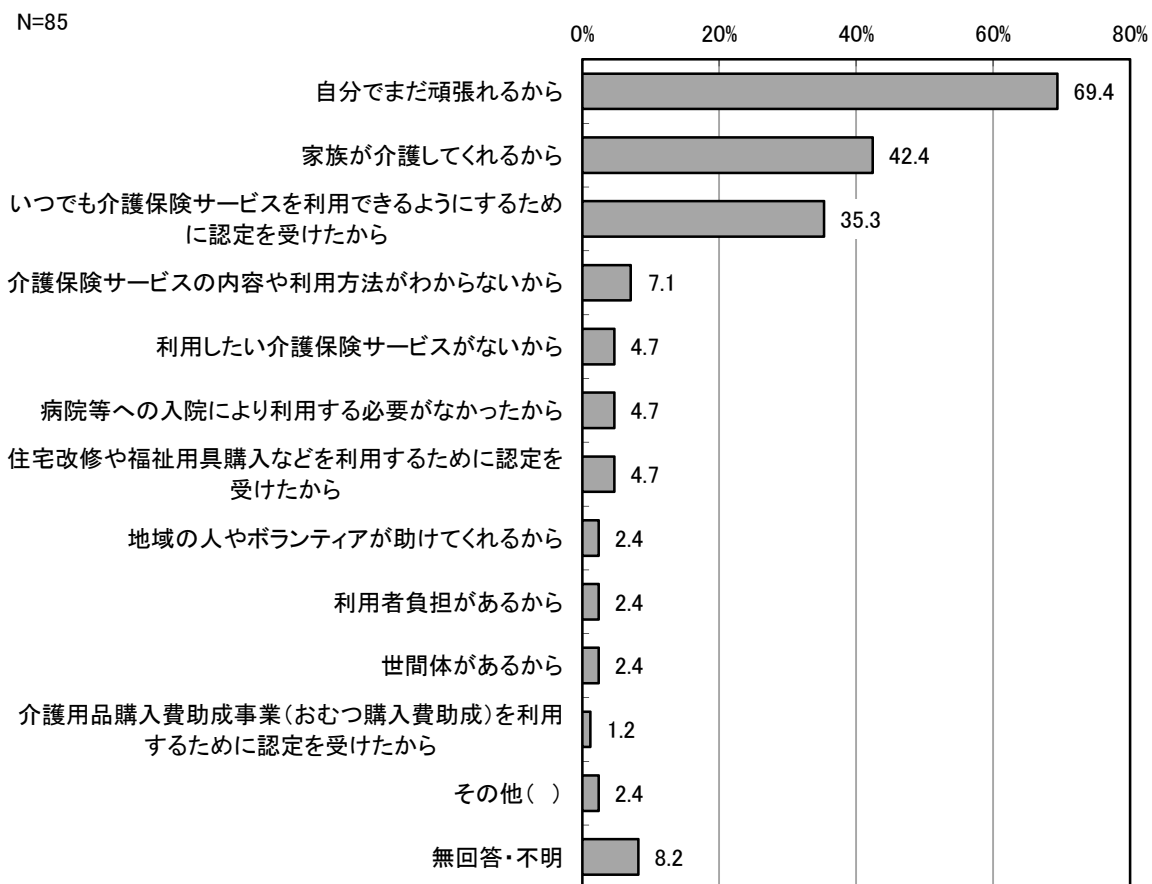
問 22~24 のサービス利用経験、評価、今後の利用意向を一つのグラフにまとめて比較しています。全体として、利用経験(問 22)と評価(問 23)については、ほぼ同様の回答となっており、サービスを利用した多くの回答者が、利用してよかったと感じていることがうかがえます。今後の利用意向をみると、「住宅改修費の支給」はその性質上、繰り返し利用するサービスではないため、利用経験に比べて今後の利用意向が低くなっています。また、「特別養護老人ホームや老人保健施設などへの短期入所」、「家族介護用品の支給」は利用経験に比べて利用意向が高くなっており、潜在的ニーズなニーズの存在がうかがえます。



**【介護保険サービスを利用していない回答者のみ】**

**(12) 介護保険サービスを利用していない、利用をやめた理由(複数回答)(問 25)**

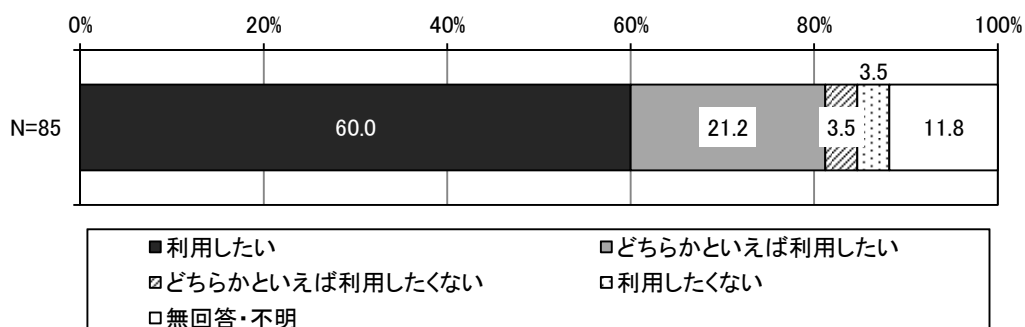
介護保険サービスを利用していない、または利用をやめた理由については、「自分でまだ頑張れるから」が 69.4%で最も多く、次いで「家族が介護してくれるから」が 42.4%、「いつでも介護保険サービスを利用できるようにするために認定を受けたから」が 35.3%となっています。



**【介護保険サービスを利用していない回答者のみ】**

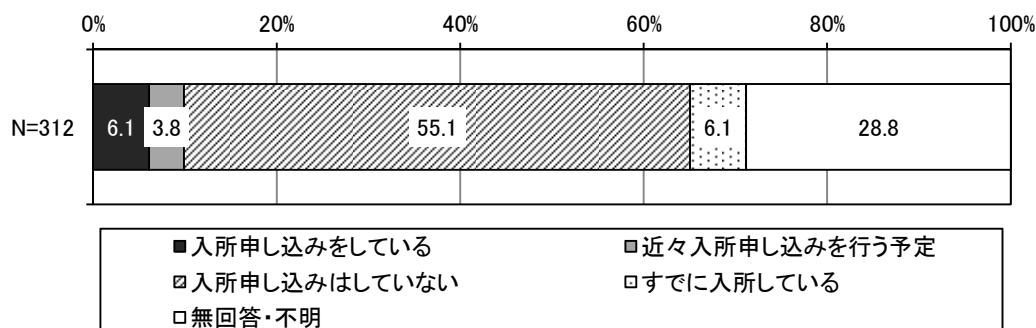
**(13) 身体や家族の状況に変化があった場合のサービス利用意向(問 26)**

今後、身体や家族の状況に変化があった場合のサービス利用意向については、「利用したい」が 60.0%、「どちらかといえば利用したい」と合わせると、約8割が利用意向を持っています。



## (14)介護保険関連の施設への入所申し込みの状況(問 27)

施設入所申し込みについては、「入所申し込みをしている」が 6.1%、「近々入所申し込みを行う予定」が 3.8%となっており、約1割の回答者が入所の意向をもっています。



### 【申し込みをしている、または申し込み予定の回答者のみ】

#### ①入所申し込みの理由(問 28)

施設入所申し込みの理由としては、「介護してくれる家族の負担が大きいから」が 18 件で特に多くなっています。また、「家族や、親戚・知人に入所をすすめられたから」、「介護者がいないため、自宅で生活することが難しいから」、「認知症などのため、施設でより専門的な介護が必要だから」がそれぞれ7~8件となっています。

	件数	%
N=31		
介護してくれる家族の負担が大きいから	18	58.1
家族や、親戚・知人に入所をすすめられたから	8	25.8
介護者がいないため、自宅で生活することが難しいから	7	22.6
認知症などのため、施設でより専門的な介護が必要だから	7	22.6
一人暮らしや高齢者世帯のため、自宅での生活に不安を感じたから	5	16.1
ケアマネジャーや地域包括支援センター職員にすすめられたから	1	3.2
リハビリなどが必要であり、医師など専門家に入所をすすめられたから	0	0.0
民生児童委員や自治会の人に入所をすすめられたから	0	0.0
居室や廊下幅が狭いなど、住居が介護に適していないから	0	0.0
その他( )	2	6.5
無回答・不明	6	19.4

**【申し込みをしている、または申し込み予定の回答者のみ】**

**②入所を希望する時期(問 29)**

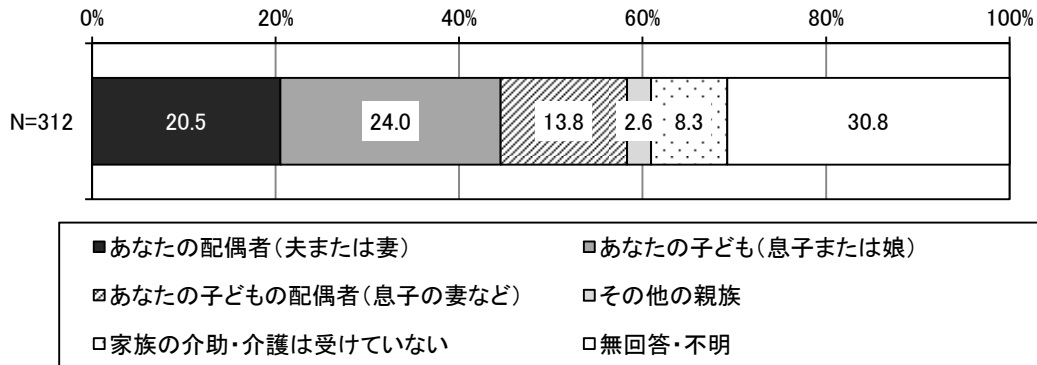
入所を希望する時期については、今すぐ入所したいという回答は4件、いまずぐの入所を考えているわけではないという回答が 18 件となっています。

N=31	件数	%
当面入所の必要はないが、いざというときに備えておきたい	10	32.3
在宅での生活は可能だが、近い将来(1年～3年)に入所したい	8	25.8
在宅での生活が困難であり、今すぐにも入所したい	2	6.5
在宅での生活は可能だが、できれば今すぐ入所したい	2	6.5
その他( )	0	0.0
無回答・不明	9	29.0

## 5. 家族介護者について

### (1) 家族の中での主な介護者(問 30)

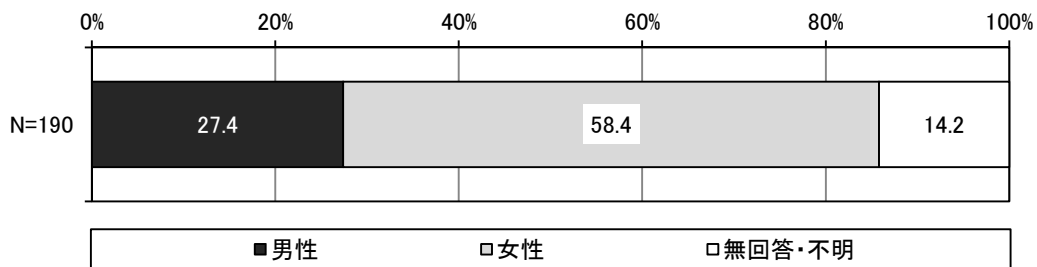
調査対象者の主な介護者については、「子ども」が24.0%で最も多く、次いで「配偶者」が20.5%となっています。また、「家族の介助・介護は受けていない」は8.3%となっています。



### 【家族介護者がいる回答者のみ】

#### ① 主な家族介護者の性別(問 31)

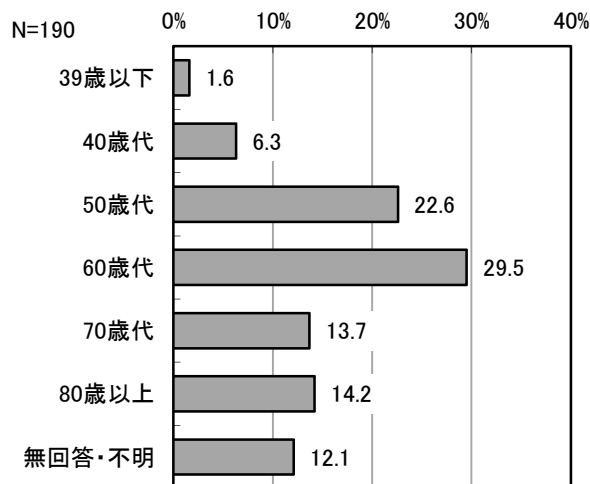
主な介護者の性別については、「男性」が27.4%、「女性」が58.4%となっています。



【家族介護者がいる回答者のみ】

②主な家族介護者の年齢(問 32)

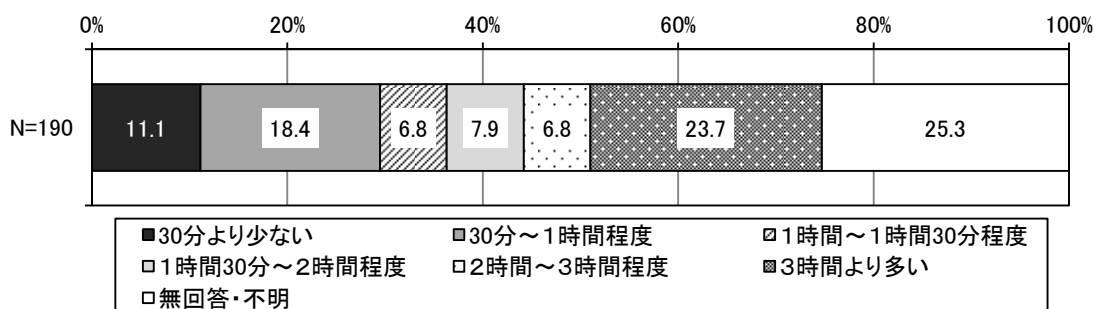
主な介護者の年齢については、「60 歳代」が 29.5%で最も多く、次いで「50 歳代」が 22.6%となっています。介護者が 70 歳以上という回答は合わせて 27.9%となっています。



【家族介護者がいる回答者のみ】

③1日あたりの家族介護者に介護を受ける時間(問 33)

家族介護者に介護を受ける時間については、1日あたり「3時間より多い」が 23.7%で最も多くなっています。

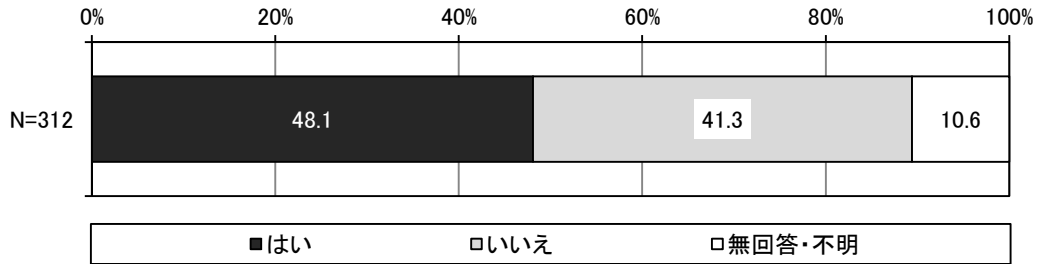




## 6.介護保険制度について

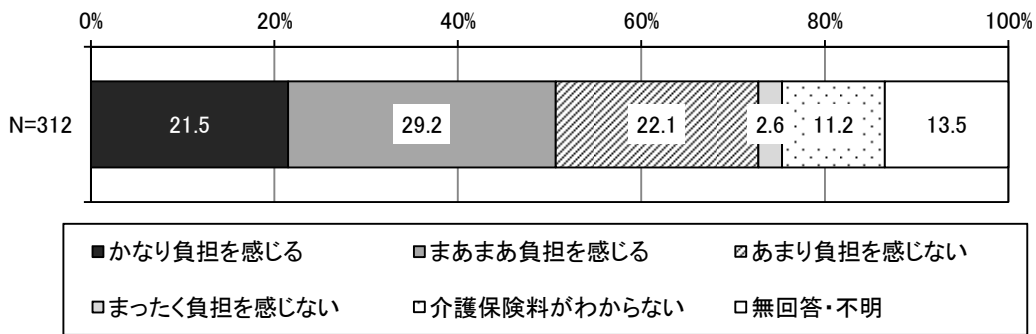
### (1) 家族介護の経験(問 34)

家族などの介護をした経験については、全体の約半数があると回答しています。



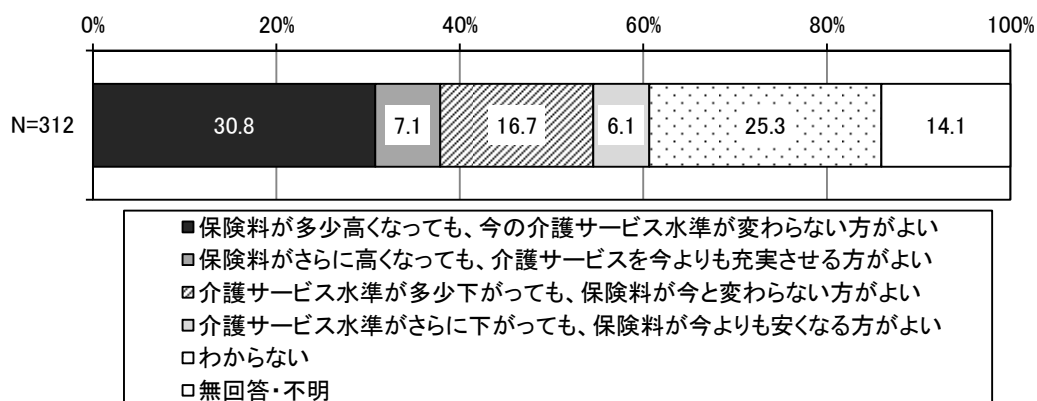
### (2) 現在の介護保険料の負担について(問 35)

現在の介護保険料の負担については、負担を感じないという回答(「あまり負担を感じない」と「まったく負担を感じない」の合計)が 13.8%であるのに対し、負担を感じるという回答(「かなり負担を感じる」と「まあまあ負担を感じる」の合計)は 50.7%となっています。



### (3) これからの介護保険料の負担と介護サービスについて(問 36)

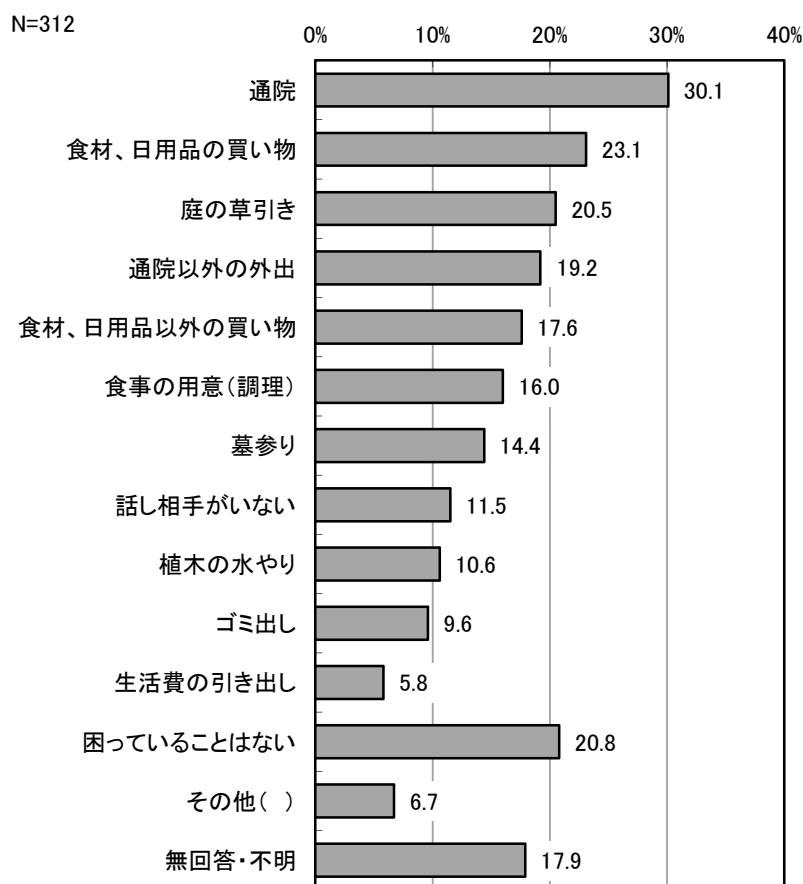
これからの介護保険料の負担と介護サービスについては、「わからない」を除くと「保険料が多少高くなっても、今の介護サービス水準が変わらない方がよい」が 30.8%で最も多く、次いで「介護サービス水準が多少下がっても、保険料が今と変わらない方がよい」が 16.7%となっています。全体として、保険料負担が増加しないことよりも、介護サービスの維持・充実を求める回答が多くなっています。



## 7.その他

### (1)日常生活で困っていること(複数回答)(問 37)

日常生活で困っていることについては、「通院」が 30.1%で最も多く、次いで「食材、日用品の買い物」が 23.1%、「庭の草引き」が 20.5%となっています。

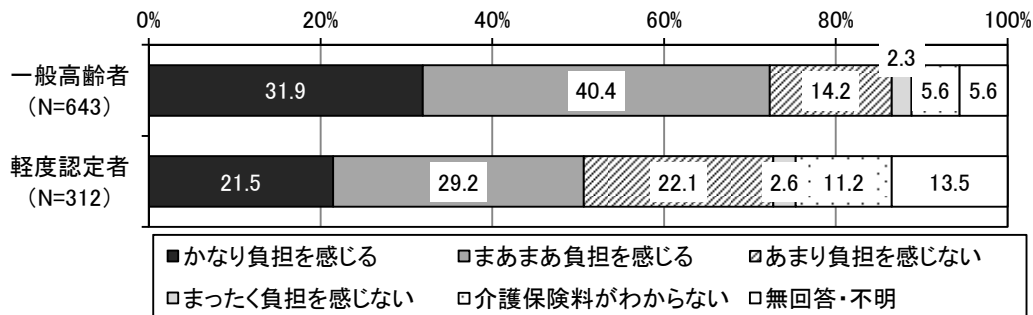


## IV. 調査間比較

ここでは、一般高齢者調査と軽度認定者調査に共通する設問について、それぞれの回答を併記して比較することで、一般高齢者と軽度認定者の意識や状況の違いについて分析します。

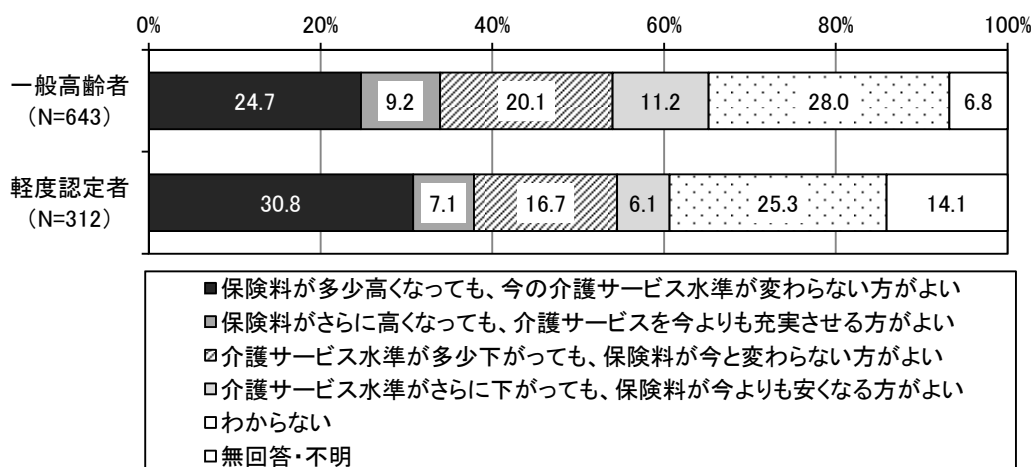
### (1) 現在の介護保険料の負担について

介護保険料に対する負担感をみると、実際に介護保険サービスを利用している人が多い軽度認定者の方が、一般高齢者と比較して、介護保険料の負担を感じているという比率が少なく、あまり負担を感じないという回答が多くなっています。



### (2) これからの介護保険料の負担と介護サービスについて

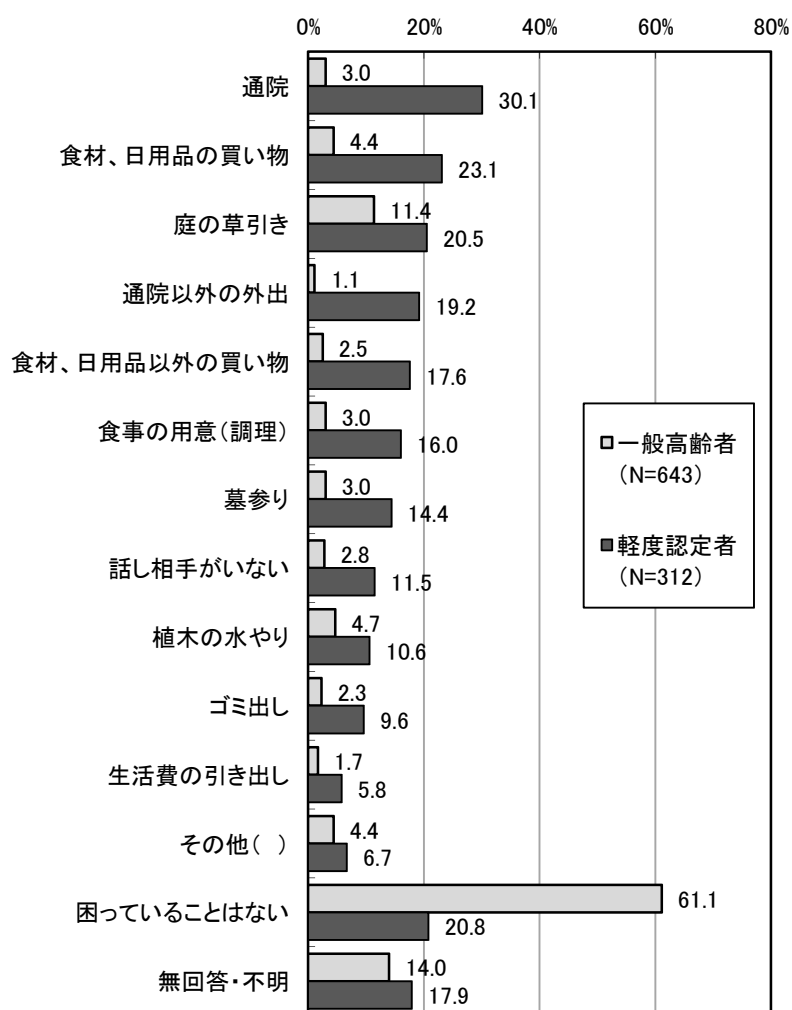
これからの介護保険料の負担と介護サービスの水準についての意識については、「保険料が多少高くなっても、今の介護サービス水準が変わらない方がよい」は軽度認定者の方が多く、介護サービス水準が多少下がってもよいとする回答は、一般高齢者にやや多くなっています。



### (3) 日常生活で困っていること(複数回答)

日常生活で困っていることについては、一般高齢者ではほとんどの項目で1割以下となっているのに対し、軽度認定者では全体的に回答が多くなっています。一方で、「困っていることはない」という回答は、一般高齢者の3分の1にとどまっています。

要支援・要介護状態にある人については、生活のさまざまな場面で困難を感じる事が、より多くなっていることがうかがえます。



# 自由回答・その他回答まとめ

## (1) 一般高齢者調査

### 外出を控えている理由(問 17)

その他	件数
家族の介護・看護のため	5
骨折	1
足腰の弱さ	1
外出する用件が減った	1
暑い時は疲れる	1

### 心配事や愚痴を聞いてくれる人(問37(1))

その他	件数
子の妻(嫁)	3
愚痴は言わない	3
職場の人	2
姪	1

### 心配事や愚痴を聞いてあげる人(問37(2))

その他	件数
職場の人	2
子の妻	1
会の仲間	1

### 病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人(問37(3))

その他	件数
寝込んだことがない	2
子の妻(嫁)	2
姪	1

### 看病や世話をしてあげる人(問37(4))

その他	件数
義母	2
子の妻	1

現在治療中、または後遺症のある病気(問42)

その他	件数
甲状腺	3
通風	3
めまい	3
リウマチ	3
花粉病、ぜんそく	2
歯周病	2
自律神経失調症	2
歯	2
肺気腫	2
皮膚病	2
腰痛	2
3年程前から耳が遠くなった。治療は受けていない	1
足	1
後従靭帯骨化症気味、股関節	1
頸椎	1
高尿酸	1
肛門、痔の病気	1
腰・膝・狭窄症	1
五十肩	1
三叉神経痛	1
すい臓	1
すべり症	1
前立腺	1
尿漏れ	1
橋本病	1
鼻	1
膝関節炎	1
不整脈	1

### 日常生活で困っていること(問53)

その他	件数
店・スーパーが近くにない	3
お金・年金の減額	2
畑の手入れ	2
空き家の処理が出来ていない場合、所有者がわからない!	1
今の所困っていませんが、今後よろしくお願ひ致します	1
親の介護	1
介護者がいる為自由に外出出来ない事	1
車の運転出来ない。自転車も	1
仕事	1
主人が車に乗れなくなると外出や日常生活が困難になる	1
所有地(田畑、山林)維持管理	1
全体的には困っているが、他人の手を借りる事に消極的です	1
タクシーを利用せねばならないので、料金が高くてつき外しづらい	1

### これからの人生をどのように過ごしたいか(問54)

その他	件数
家族に迷惑をかけない様に	1
読書	1
体力の続くかぎり、家事、庭仕事を続けたいと思っている	1
時々弁当等で食事をし、その時間はやりたい事をしたい	1
夫婦共に元気でゆったり(時間)生活していきたい	1
体力の許すかぎり家族知人を喜ばせたい。(主に健康食品等作って)	1

### 自分に介護・介助が必要になった時にどこで過ごしたいか(問55)

その他	件数
自分が貰っている年金で受けられる施設	3
その時の状況により判断する	2
自宅だけど家族は大変だと思う	1



介護・介助・医療上の療養を在宅で受ける場合に不安を感じること(問56)

その他	件数
まだ考えていない・今は考えられない	2
年金で入れる老人ホームがない	1
特養に入れないとの事	1
年金が少いで持金なしが一番不安です	1
一番世話をかける人が弱いから世話をさせられない	1
非常に不安です	1

地元の公民館などで、「こんなサービスがあれば」と思うもの(問58)

自由回答	件数
・強い不満を感じる…会合等何かにつけて新庄地域への動員(参加)がなされているが、こちら当麻でも実施出来ないのか。	1
・こんなセミナーを開催してほしい…有料、予約制でもいいので、「減塩食事のサンプル(実際に食する)」「適正カロリーの食事サンプル(実際に食する)」	1
・介護保険等の説明をきっちり受けたことがない。パンフレット等を送りっぱなしにして、税金を取るばかりではなく、利用方法等を関係者を集めて一度くらい説明しないといけないのでは。”	1
脳の健康の為、頭の体操的な講座があればいいかなと思います	1
手芸サークル、歌のサークル等を講師を招いて行なってほしい。(公民館にピアノが必要ですが…)	1
特にサービスでなくてよいのですが、気楽に集まったり老人の動く事が出来ればいいといつも思っています。これは介護を必要のない方々の事になりますが…	1
自分に時間が出来た時、近くの公民館で同世代が集い楽しみを見つけ皆で気軽に参加出来る何かを…と考えています	1
今の所特にお願いする件はありません	1
カラオケ、トレーニング教室	1
長男	1
今はわからない	1
コーヒーを飲みながら雑談の出来る場所。	1
今は週1回のサロンがあるが増やしたい”	1
毎日の開館→①新聞各紙の閲覧 ②ステレオのある部屋(CDは持込み) ③喫茶室”	1
健康に取り組む定期的講習会の実施外広報の通知	1
葛城号の回数を増やしてほしい。新庄図書館やマルベリーホールで催しの時不便	1
現在の居住地は、車を運転出来なくなったらとても不便な場所です。買い物、通院の足が必要になります	1

足田公民館、長尾公民館等よく利用しますが、八川公民館で(閉館している事が多い)趣味の会や習い事等して頂ければ	1
マイクロバスでもよいのですが、お墓参り、買い物時、町内を順回するバスを出してほしい。足がない	1
困難な事が起きた時や不安な事がある時等、相談が出来る窓口の開設を希望します	1
地域に貢献出来るような仕事があれば進んでやりたいです	1
もっと気楽に集える場をいっぱい作ってほしい	1
高齢者が楽しく集える、例えば月 1 回でもお弁当食べながら近所の人と顔を合わせる公民館	1
公民館ですが、利用する事が多い(老人)トイレが和式ですので、足が立ち座りが大変です。様式のトイレであればと願っています	1
コンビニを造ってほしい	1
お金を必要としないサービスを望みます	1
記入漏れは記入したくないのでしませんでした。70 才迄働く事を社会がすすめている時代なので、このアンケートはまだ年齢的に 10 年は早いと思いました。年寄りよりもこれからの健全な社会の為に子供を産み育てやすい計画をよろしく!!!	1
各大字の公民館で 1ヶ月に 2 回程、老人向けの体操教室があれば参加したい	1
介護予防教室、ゆうあいふれあい教室等が近くで行なってくれれば助かります。バスの回数が少なく、バス停までの距離と待ち時間がかかってしまいせっかく色々な案内を頂いてもつい億劫になってしまいます	1
健康器具を置いてほしい。血圧計、マッサージ器	1
日常的に利用出来る喫茶ルームのような場所	1
歩いて行ける場所に図書室のようなものが欲しい	1
健康器具を据え付け住民が近くで使える様にする事により、健康増進につながると思う	1
ウォーキング活動等に参加しています	1
やさしい手作りのもの	1
各種趣味の会及び健康相談の開催	1
無理をせずに、手軽に出来る楽しい体操	1
もっと年配者さんが集まって、趣味で何かを作ったり体操したりして会話をする集会有れば良いと思う。地区の公民館で出来たら歩いて行く事が出来る	1
今の所思い付くものがありませんが、数年先になると多分あるのではと思います	1
食事のサービス。	1
公民館等は、床が板なのでなかなかなじめない為、畳の古い物でもあればいいですね”	1
簡単に出来る小物手芸、料理等の教室。	1
地域に公園が無いので、散歩の出来る公園を作ってほしい。節に願います”	1
・戸別にゴミ出しを収集して欲しい!!	1
・アンケートはもっと簡単にして下さい”	1

高齢者向けの体操教室	1
組織・団体が多すぎてよく解からない。少し整理して活動を充実して下さい。住民依存の活動が多すぎる。プロの行政の支援を拡大乞う	1
公立的な介護施設の建設を望む。将来益々高齢者が増えるし、私的な施設に益々入所出来ない事が多くなる	1
公民館をもっと自治会がみんなで使用する様にしたらよい。現在は常に鍵がかかっている状態です。皆んなで寄って話をする場を作ればよいと思う	1
最近の市行事予定表の掲示(3ヶ月程度)	1
小中学生への学習指導。集団生活・活動のサポート等の基本と拠点としての機能を持たせる。老人パワーの活用	1
場所が遠すぎる？	1
ローソン染野店に市のバスの停留所を作って欲しい。二上神社口駅、当麻寺駅、市役所、長尾郵便局、当麻の家等に行けるようになれば嬉しい。出来ればスーパー(オークワ香芝南店)にも行きたい。お願いします。生活に楽しみが出来ると思う	1
同居してない老人が一番困っているのが足です。だから空の巡回バスを走らせるより、小型の乗り合いタクシーみたいなので小回りのきく足を考えて頂けませんか？沢山の老人の願いです	1
人々の助け合い、生き甲斐をたくましく感じられる様な映画(スライドを含む)の上映等があれば、皆で和気あいあいと鑑賞出来るのではないのでしょうか	1
公民館にAEDの設置	1
公民館には年に1回の掃除のみなのでよくわからない	1
巡回健康診断を行なってほしい	1
現在ふれあいサロン、寿幸会とお世話になっています。サービスも十分です	1
寿連合会北花内支部会 JR地区ふれあいの会	1
半年に1会位素人の慰問が欲しいです。 老人が1ヶ月に1回食事会をしたり、おしゃべりをしたいです(500円~1000円出して)	1
家の近くにいつでも自由に計れる血圧計を置いてほしい	1
家が一番ですので思っていません	1
車の無い家は、役所その他に出かける時は困っています。巡回バスの回数や回る場所を増やしてもらえば助かります	1
認知症の老人対策相談窓口を開く。皆んな困っている事を出し合って、話し合い考えていく場にしたい	1

①奈良交通バスが廃止になる。今は車が運転出来るが、将来、巡回バス(有料でOK)で、役場、病院、駅、BK、買い物スーパー等を巡るバスの運行を望む(イトーピア)	1
②朝、ラジオ体操等をして体力向上とお互いの親睦を深める事を考えてもらいたい。	
③買い物が不便になってきた。人口増になっているので、日常品の買えるスーパーを誘致して欲しい	
今現在集会所を解放していますが、今後多くの区民が交流の場所となる様に思っています	1
今は何もありません	1
午後が自由時間なので、この時間帯にイベント・教室が揃っていると有難いです。今は何も利用していません。	1
夜は早く主人が休みます。私もその様になりつつあります	
気の合った友人達と気楽にお茶等が出来たり、お話しが出来たりする事が出来る場所を提供して頂きたい	1
健康体操	1
近くに老人ホームがあったら良いのになぁと思います	1
炊き出し。食事の事	1
公民館でカラオケが出来ればよい。 卓球等の軽いスポーツが出来る様にしてほしい(いきいきセンターで)	1
・高齢者の自助努力を支援出来るような活動 ・国の限られた税金又は保険料を高齢者に使うよりも、これからの日本を創る若者の育成に使う事が筋ではないか？	1
自治会が車を出して、公民館でみんな楽しく話が出来ればうつ病の人も少なくなると思っていますので、やってほしいです	1
脳ハラハラ教室が月1回でもあればいいなぁと思います	1
サービスがあっても公民館が遠いので出席出来ません	1
現在は介護等受けていないので、イメージが難しい	1
公民館活動以外に近所の仲間や趣味仲間達と自由に公民館を使われたらいいなぁと常々思っています	1

## (2) 軽度認定者調査

### 悩みや心配事を相談する相手(問 12)

その他	件数
ケアマネジャー	3
何にも人と言わない	1

### 介護保険サービスを利用するようになってよかったこと(問16)

その他	件数
住宅改修で暮らしやすくなりました	1

### サービスを利用していることで、困ったり不満に思ったりしていること(問 17)

その他	件数
デイサービスと通所リハビリを同時に利用することが出来ない	1
幼稚園の子供がするようなサービスを7時間椅子に座ってすることが疲れる	1
利用者本人が瞬時に忘れるのでどんな事しているのか話さない。認知症に適した事柄をしてきているのか知りたい	1
本人がわからない	1
認知症のためか意欲がなく、リハビリに積極的でない	1

### ケアマネジャーの対応への不満(問 19)

その他	件数
介護者の不安や要求を話すが無明確な答えを得られない時がある	1
朝訪問して下さるが、訪問の時間が長いので疲れる	1
目線がいつも上からで不快なことがある	1
マネジャーさんにはお願いしたいこともある。病院とかタクシーを利用しているが	1

### 希望する今後の介護(問 21)

その他	件数
自宅で介護サービスを受けながらを希望しているが、要介護度が進めば特養や医療施設になると思う	1
できるだけ今の状態で、週 4 回リハビリして家で家族と暮らしたい	1
筋肉トレーニングが必要なので現状のままで良い	1
ケアハウスがあれば、と思う	1
父が高齢のため特養の施設にはいずれ入所させたいと考えている。が、父が今のところははっきりしていない	1
金の件で入所できないため	1

### 介護保険サービスを利用していない、利用をやめた理由(問 25)

その他	件数
腰椎狭窄症・5 年前に大腿骨折をしたもので何かあった時にはお願いしたい。	1
利用できないみたいです。何か利用できるものがあれば教えて欲しいです。	1
今のところ自分で何とかできますので	1

### 介護保険施設への入所申込みの理由(問 28)

その他	件数
妻が糖尿病を患っているため	1
夜間、老夫婦だけになってしまうから	1

### 1日あたりの家族介護者に介護を受ける時間(問 33)

その他	件数
週 1 回買い物	1
目的によって変わる	1
24 時間、介護しています	1

日常生活で困っていること(問 37)

その他	件数
子どもとの仲が悪い	2
困ったときは子供に手伝ってもらおう	2
家で閉じこもりがちになる	1
家の敷地が広いので管理に困る。雨漏りで困る(畳が上げられない)、車がない、体力がない。配食サービスを受け、見守りサービスを受けているが、それ以外の時間の見守りが必要と思います。	1
今のところ家族でしている	1
大きい物、重い物の準備が出来ない	1
体の調子が夫婦とも悪い	1
現在は運転できるが、80 過ぎると運転できなくなる可能性あるのでそうなると困る	1
高齢者の家は家の前にゴミを出せるようにして欲しい	1
視力の衰え	1
親戚への付き合い	1
税金の使用目的を再考して欲しい	1
掃除	1
高田駅からのバスが無くなる不便	1
何かと主人の助けが必要	1
日常生活の全てに世話をかけている	1
母が何も出来なくて父の負担が大きい	1
ふとん干しなど。力のいる作業	1
ぼちぼち自分でできるから	1
補聴器を使用しているが、益々聴こえにくくなった気がする。何をするにも億劫に感じる	1

## 葛城市高齢者の生活と介護に関する調査

### 【結果報告書】

---

発行年月 平成 27 年3月

発行者 葛城市 長寿福祉課

**【當麻庁舎】**

〒639-2197

奈良県葛城市長尾 85 番地

T E L 0745-48-2811

F A X 0745-48-3200

**【新庄庁舎】**

〒639-2195

奈良県葛城市柿本 166 番地

T E L 0745-69-3001

F A X 0745-69-6456

---